

Printia LASER

B5WY-1461-02 Z2



Printia LASER XL-4280

ソフトウェアガイド

FUJITSU

このマニュアルの表記について

安全にお使いいただくための絵記号について

このマニュアルでは、いろいろな絵表示を使用しています。これは本製品を安全に正しく使用していただき、あなたや他の人々に加えられるおそれのある危害や損害を、未然に防止するための目印となるものです。その表示と意味は次のようになっています。内容をよくご理解のうえ、お読みください。

表：安全にお使いいただくための絵記号

記号	内容
⚠ 警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡する可能性または重傷を負う可能性があることを示しています。
⚠ 注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性があること、物的損害が発生する可能性があることを示しています。

また、危害や損害の内容がどのような種類のものかを区別するために、上記の表示と同時に次のような記号を使っています。

表：危害や損害の内容を示す絵記号

記号	内容
⚠	△で示した記号は、警告・注意をうながす内容であることを告げるものです。記号の中やその脇には、具体的な警告内容が示されています。
🚫	🚫で示した記号は、してはいけない行為（禁止行為）であることを告げるものです。記号の中やその脇には、具体的な禁止内容が示されています。
●	●で示した記号は、必ず従っていただく内容であることを告げるものです。記号の中やその脇には、具体的な指示内容が示されています。

画面例、イラストについて

- このマニュアルに掲載されている画面例のIPアドレスやホスト名などは一例であり、実際の入力内容を表すものではありません。
- 画面例でプリンタ名を「XL-XXXX」と表示している箇所があります。このときは、お使いのプリンタ名で読み替えてください。
- 機種、ソフトウェアのバージョン、OSによっては、画面例とは表示内容が一部異なることがあります。
- このマニュアルに掲載されているイラストは、説明の都合上、本来接続されているケーブル類を省略していることがあります。

クリック操作について

このマニュアルは、マウスのクリック操作をダブルクリックで記述しています。お使いのパソコンの設定によっては、シングルクリックに読み替えてください。

本文中の記号について

本文中に記載されている記号には、次のような意味があります。

表：本文中で使用する記号

記号	内容
	お使いになるときに注意していただきたいことや、してはいけないことを記述しています。必ずお読みください。
	操作に関連することを記述しています。必要に応じてお読みください。
→	参照先を記述しています。
	印刷されたマニュアル（紙のマニュアル）を表しています。
	CD-ROM/DVD-ROM を表しています。

製品などの呼び方について

このマニュアルでは製品名称などを、次のように略して表記しています。

表：製品名称の表記

製品名称	このマニュアルでの表記
Windows® 7 Ultimate (64 ビット版／32 ビット版)	7
Windows® 7 Enterprise (64 ビット版／32 ビット版)	
Windows® 7 Professional (64 ビット版／32 ビット版)	
Windows® 7 Home Premium (64 ビット版／32 ビット版)	
Windows® 7 Starter	
Microsoft® Windows Server® 2008 R2 Standard	2008 R2
Microsoft® Windows Server® 2008 R2 Enterprise	
Microsoft® Windows Server® 2008 Standard (64-bit/32-bit)	
Microsoft® Windows Server® 2008 Standard without Hyper-V™ (64-bit/32-bit)	(R2 以外)
Microsoft® Windows Server® 2008 Enterprise (64-bit/32-bit)	
Microsoft® Windows Server® 2008 Enterprise without Hyper-V™ (64-bit/32-bit)	
Windows Vista® Ultimate (64 ビット版／32 ビット版)	Vista
Windows Vista® Enterprise (64 ビット版／32 ビット版)	
Windows Vista® Business (64 ビット版／32 ビット版)	
Windows Vista® Home Premium (64 ビット版／32 ビット版)	
Windows Vista® Home Basic (64 ビット版／32 ビット版)	
Microsoft® Windows Server® 2003 R2, Standard x64 Edition	2003
Microsoft® Windows Server® 2003 R2, Enterprise x64 Edition	
Microsoft® Windows Server® 2003 R2, Standard Edition	
Microsoft® Windows Server® 2003 R2, Enterprise Edition	
Microsoft® Windows Server® 2003, Standard x64 Edition	
Microsoft® Windows Server® 2003, Enterprise x64 Edition	
Microsoft® Windows Server® 2003, Standard Edition	
Microsoft® Windows Server® 2003, Enterprise Edition	
Microsoft® Windows® XP Professional x64 Edition	XP
Microsoft® Windows® XP Professional	
Microsoft® Windows® XP Home Edition	
Microsoft® Windows® 2000 Professional	2000 または 2000 Server
Microsoft® Windows® 2000 Server	
Windows® Internet Explorer® 8	Internet Explorer
Windows® Internet Explorer® 7	
Microsoft® Internet Explorer 6.0 以前	

商標および著作権について

Microsoft、Windows、Windows Vista、Windows Server、Internet Explorer は、米国 Microsoft Corporation および / またはその関連会社の商標です。

Citrix、MetaFrame、MetaFrame XP、Citrix Presentation Server、Citrix XenDesktop は、Citrix Systems, Inc. の米国およびその他の国における登録商標、または商標です。

QR コードは (株) デンソーウェーブの登録商標です。

その他の製品名、会社名は各社の登録商標または商標です。

搭載ソフトウェアの IPv6 対応について

本製品は、IPv6 Ready Logo Phase1 テストに合格しています。



目次

このマニュアルの表記について	1
搭載ソフトウェアのIPv6対応について	4

セットアップ編

第1章 お使いになる前に

1 添付 CD-ROM のご紹介	10
2 ソフトウェアの機能概要	12
XL-4280 プリンタドライバ	12
ネットワーク関連のソフトウェア	13

第2章 ネットワークを利用したプリンタの接続

1 印刷方法と作業の流れについて	16
印刷方法	16
作業の流れ	17
2 IP アドレスを設定する	19
3 「プリンタユーティリティセットアップ」でインストールする	21
インストール	22
4 OS 標準のインストーラでインストールする (RAW 印刷／LPR 印刷)	28
7/2008/Vista の場合	28
2003/XP/2000 の場合	35
5 OS 標準のインストーラでインストールする (IPP 印刷)	42
7/2008 (R2 以外) /Vista の場合	42
2003/XP/2000 の場合	48
IPP 印刷を行うユーザーを制限する	51

第3章 ネットワークを利用しないプリンタの接続

1 接続インターフェースについて	54
2 USB インターフェースで接続する	55
7/2008 R2 の場合	55
2008 (R2 以外) /Vista の場合	58
2003/XP の場合	62
2000 の場合	64
3 パラレルインターフェースで接続する	67
7/2008 R2 の場合	67
2008 (R2 以外) /Vista の場合	67
2003/XP の場合	68
2000 の場合	68

第4章 プリンタ共有の設定

1 設定の概要	70
2 サーバ側を設定する	71
3 クライアント側を設定する	75
ネットワークインストール	75
CD-ROM からのインストール	76

運用編

第5章 プリンタドライバの機能と利用方法

1 印刷するには	82
2 印刷を中止するには	84
3 プリンタドライバで設定できる内容	86
プリンタの「印刷設定」、または「プロパティ」を表示するには	86
設定内容の概要	87
「設定」タブの設定項目	88
プリンタドライバの設定を保存する	91
任意の用紙サイズを設定する	92
複数ページを1枚にまとめて印刷する（N-up 印刷）	95
「印刷オプション」タブの設定項目	97
スタンプを印刷する	100
「イメージ」タブの設定項目	104
「デバイスオプション」タブの設定項目	105
4 プリンタドライバを更新／削除するには	106
更新する場合	106
削除する場合	106
5 プリンタドライバのバージョンを確認するには	112

第6章 ネットワーク関連ソフトウェアの機能と利用方法

1 LPR 印刷の管理（FUJITSU LPR ユーティリティ）（2003/XP/2000 のみ）	114
「FUJITSU LPR ユーティリティ」をインストールする	114
「FUJITSU LPR ユーティリティ」の機能	118
「FUJITSU LPR ユーティリティ」を削除する	127
2 プリンタ情報の管理（Network Extension）	128
「Network Extension」をインストールする	128
「Network Extension」の機能	129
「Network Extension」を削除する	130

第7章 Web ブラウザによるプリンタの管理（Printia LASER Internet Service）

1 Web サーバ機能の概要	132
「Printia LASER Internet Service」とは	132
動作環境	132
2 Web サーバ機能の操作方法	133
使用前の準備	133
「Printia LASER Internet Service」画面を起動する	133
管理者モードとユーザーモードの切り替え	137
情報の参照や設定の変更	139
「Printia LASER Internet Service」で設定できる項目と初期値	140
3 各画面の詳細	147
「Printia LASER Internet Service」のカテゴリ	147
「ステータス」カテゴリ	148
プリンタステータス	149
プリンタ情報（ユーザーモードのみ）	152
プリンタ詳細情報（管理者モードのみ）	153
ネットワーク情報（ユーザーモードのみ）	155
ネットワーク詳細情報（管理者モードのみ）	156
「プリンタ」カテゴリ（管理者モードのみ）	159
一般プリンタ設定	160
印刷メニュー	161
用紙メニュー	162
プリンタ構成メニュー	162

インターフェースメニュー	164
HEX ダンプ	166
設定印刷	166
「ネットワーク」カテゴリ（管理者モードのみ）	167
一般ネットワーク設定	168
TCP/IP	168
Email	171
SNMP	181
IPP	183
「ジョブリスト」カテゴリ	185
「セキュリティ」カテゴリ（管理者モードのみ）	187
プロトコル ON/OFF	188
IP フィルタリング	189
パスワード設定	196
「メンテナンス」カテゴリ（管理者モードのみ）	196
再起動 / 初期化	197
LAN の規模の設定	198
「リンク」カテゴリ	198
リンク	199
リンク編集メニュー（管理者モードのみ）	199
第 8 章 こんなときには	
1 ソフトウェアに関するトラブルシューティング	202
セットアップ時のトラブルシューティング	202
運用時のトラブルシューティング	207
「FUJITSU LPR ユーティリティ」使用時のトラブルシューティング	213
「Printia LASER Internet Service」使用時のトラブルシューティング	214
2 ソフトウェアに関する留意事項	219
Windows をアップグレードする場合	219
その他の留意事項	219
3 Citrix 製品、および Windows ターミナルサービス環境での利用について	220
プリンタ接続形態	220
その他の留意事項	220
第 9 章 用語解説およびお試しソフトウェアの概要	
1 用語解説	222
2 PrintBarrier の概要	225
3 RepoAgent の概要	226
4 かんたんバーコード Lite の概要	228
索引	231

1 セットアップ編

第1章

お使いになる前に

この章では、添付 CD-ROM に格納されているソフトウェアの概要について説明します。

1 添付 CD-ROM の紹介	10
2 ソフトウェアの機能概要	12

1 添付 CD-ROM のご紹介

本製品には「Printia LASER プリンタユーティリティ」CD-ROM が添付されています。この CD-ROM には、プリンタドライバ、ネットワークに接続して使用するため必要なソフトウェア、プリンタをより快適に使用するためのソフトウェアが格納されています。

「Printia LASER プリンタユーティリティ」のメニュー

◎「Printia LASER プリンタユーティリティ」をパソコンにセットすると、次の「Printia LASER プリンタユーティリティ セットアップ」ウィンドウが自動的に表示されます。ウィンドウのメニューから、ソフトウェアのインストールなどが行えます。



(画面は OS により異なります)

1 はじめにお読みください

CD-ROM に格納されているソフトウェアの留意事項が表示されます。

2 便利機能ご紹介

XL-4280 プリンタドライバの便利な機能を紹介するコンテンツが表示されます。

3 プリンタドライバ

本製品を使い始めるための設定を、このメニューから行います（USB インターフェースでパソコンと直接接続し、プラグアンドプレイで設定を行う場合は除きます）。次の設定を行うことができます。

- ・プリンタドライバのインストール

ネットワークプリンタとして使用する場合の設定やインストール方法については、「ネットワークを利用したプリンタの接続」（→ P.15）をご覧ください。

ローカルプリンタとして使用する場合の設定やインストール方法については、「ネットワークを利用しないプリンタの接続」（→ P.53）をご覧ください。

更新方法については、「プリンタドライバを更新／削除するには」（→ P.106）をご覧ください。

- ・共有プリンタの設定

設定方法やインストール方法については、「プリンタ共有の設定」(→P.69)をご覧ください。

4 FUJITSU LPR ユーティリティ (2003/XP/2000 専用)

LPR 印刷時に、プリンタの状態を確認したり、ジョブを管理したりするためのツールをインストールします。「FUJITSU LPR ユーティリティ」については、「LPR 印刷の管理 (FUJITSU LPR ユーティリティ) (2003/XP/2000 のみ)」(→P.114)をご覧ください。

5 Network Extension

本製品に取り付けられたオプションの情報やプリンタの情報を取得し、プリンタの「プロパティ」ウィンドウ内に反映するためのツールをインストールします。「Network Extension」については、「プリンタ情報の管理 (Network Extension)」(→P.128)をご覧ください。

6 PrintBarrier お試し版 (Vista/XP/2000 専用)

「PrintBarrier お試し版」をインストールします。「PrintBarrier お試し版」の概要については、「PrintBarrier の概要」(→P.225)をご覧ください。

7 RepoAgent お試し版 (Vista/2003/XP/2000 専用)

「RepoAgent お試し版」をインストールします。「RepoAgent お試し版」の概要については、「RepoAgent の概要」(→P.226)をご覧ください。

8 かんたんバーコード Lite (Vista/2003/XP/2000 専用)

「かんたんバーコード Lite」をインストールします。「かんたんバーコード Lite」の概要については、「かんたんバーコード Lite の概要」(→P.228)をご覧ください。

9 画面で見るマニュアル

「画面で見るマニュアル」を選択するウィンドウが表示されます。

10 終了

「Printia LASER プリンタユーティリティ セットアップ」ウィンドウを閉じます。

POINT

- ・「Printia LASER プリンタユーティリティ セットアップ」ウィンドウが自動的に表示されない場合は、「エクスプローラ」などを使用して CD-ROM を開き、一番上の階層にある「XLSTART.EXE」をダブルクリックしてください。「Printia LASER プリンタユーティリティ セットアップ」ウィンドウが表示されます。
- ・Vista をお使いの場合、インストール前に管理者権限でログオンしてください。
- ・7/2008/Vista の場合、自動再生時や「XLSTART.EXE」をダブルクリックしたときに、次の「自動再生」ウィンドウが表示されます。実行されるプログラムが「XLSTART.EXE」であることを確認し、「Xlstart.exe の実行」をクリックしてください。



2 ソフトウェアの機能概要

◎「Printia LASER プリンタユーティリティ」には、XL-4280 プリンタドライバとネットワーク関連のソフトウェアが格納されています。

ここでは、XL-4280 プリンタドライバとネットワーク関連のソフトウェアの機能概要を説明します。

XL-4280 プリンタドライバ

動作環境

表：XL-4280 プリンタドライバの動作環境

項目	内容
OS	7/2008/Vista/2003/XP/2000
パソコン	FMV シリーズおよび PC/AT 互換機
メモリ	OS が動作可能なメモリ
解像度	800 × 600 以上 (1024 × 768 以上を推奨)
ハードディスク容量	空き容量 8MB (印刷時には、データ作成のため、さらに空き容量が必要です。)
サポートポート	<ul style="list-style-type: none">・パラレルポート (LPT* :)・USB ポート・FUJITSU LPR Port (2003/XP/2000 のみ)・Standard TCP/IP Port

機能

機能について詳しくは、ヘルプまたは「プリンタドライバの機能と利用方法」(→ P.81) をご覧ください。

ネットワーク関連のソフトウェア

FUJITSU LPR ユーティリティ

プリントサーバを介さずに、直接ネットワーク上のプリンタに印刷できるユーティリティです。また、プリンタ検索、ジョブ転送、同報印刷も行えます。

■動作環境

表：「FUJITSU LPR ユーティリティ」の動作環境

項目	内容
OS	2003/XP/2000
パソコン	FMV シリーズおよび PC/AT 互換機
メモリ	OS が動作可能なメモリ
解像度	800 × 600 以上
ハードディスク容量	5MB

■機能

表：「FUJITSU LPR ユーティリティ」の機能

機能	概要
LAN 直結印刷	プリントサーバを介さずに直接ネットワーク上のプリンタに印刷できます。 LAN (TCP/IP) 環境での印刷をサポートしています。
ポートの管理	プリンタ検索、ジョブ転送、同報印刷などが行えます。

「FUJITSU LPR ユーティリティ」について詳しくは、「LPR 印刷の管理（FUJITSU LPR ユーティリティ）（2003/XP/2000 のみ）」（→ P.114）をご覧ください。

■セットアップ

「プリンタドライバ」メニューでセットアップを行うと、同時にインストールされます（→ P.21）。

Network Extension

本製品に取り付けられたオプションの情報やプリンタの情報を取得し、プリンタの「プロパティ」ウィンドウ内に反映するためのツールをインストールします。

■動作環境

表：「Network Extension」の動作環境

項目	内容
OS	7/2008/Vista (IPv4 アドレス環境のみ) /2003/XP/2000
パソコン	FMV シリーズおよび PC/AT 互換機
メモリ	OS が動作可能なメモリ
解像度	800 × 600 以上
ハードディスク容量	5MB

■機能

表：「Network Extension」の機能

機能	概要
ステータス表示	本製品に取り付けたオプションなどの情報を取得し、プリンタの「プロパティ」ウィンドウ内に表示します。

「Network Extension」について詳しくは、「プリンタ情報の管理（Network Extension）」（→ P.128）をご覧ください。

■セットアップ

「プリンタドライバ」メニューでセットアップを行うと、同時にインストールされます（→ P.21）。

2

第 2 章

ネットワークを利用したプリンタの接続

この章では、プリンタをネットワークに接続し、XL-4280 プリンタドライバをインストールする方法を説明します。

1 印刷方法と作業の流れについて	16
2 IP アドレスを設定する	19
3 「プリンタユーティリティセットアップ」でインストールする	21
4 OS 標準のインストーラでインストールする (RAW 印刷／LPR 印刷)	28
5 OS 標準のインストーラでインストールする (IPP 印刷)	42

プリンタを LAN ケーブルでネットワークに接続した場合、お使いの OS や印刷方法によりインストールや設定の方法などが異なります。ここでは、印刷方法ごとの作業の流れを説明します。

印刷方法

プリンタに LAN ケーブルを直接接続して印刷する場合は、次の方法があります。

- **RAW 印刷**

「RAW」と呼ばれるプロトコルを使用し、LAN (TCP/IP) に直接接続されたプリンタに印刷します。LPR 印刷と比較すると、一般的に RAW 印刷のほうが印刷速度は速くなります。

「Printia LASER プリンタユーティリティ セットアップ」を使用してインストールする方法と、OS 標準のインストーラでインストールする方法があります。

- **LPR 印刷**

「LPR」と呼ばれるプロトコルを使用し、LAN (TCP/IP) に直接接続されたプリンタに印刷します。

- 7/2008/Vista の場合

OS 標準のインストーラでインストールします。

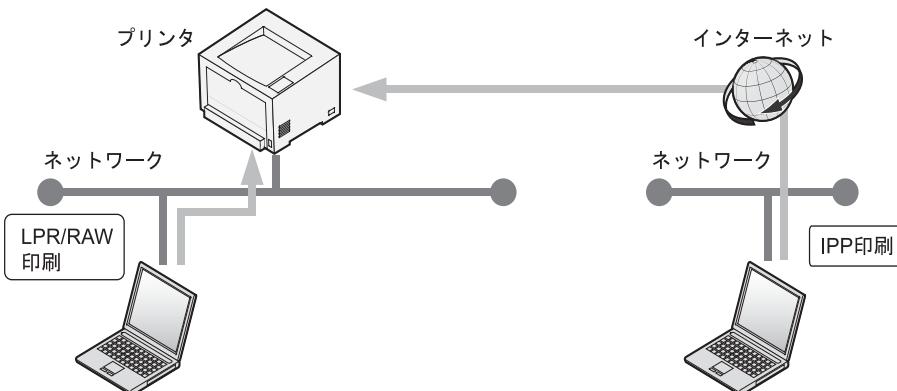
- 2003/XP/2000 の場合

「Printia LASER プリンタユーティリティ セットアップ」を使用してインストールする方法と、OS 標準のインストーラでインストールする方法があります。

- **IPP 印刷**

インターネットを経由して、遠隔地のプリンタ（社外などプロキシサーバの先にあるプリンタ）に印刷することができます。

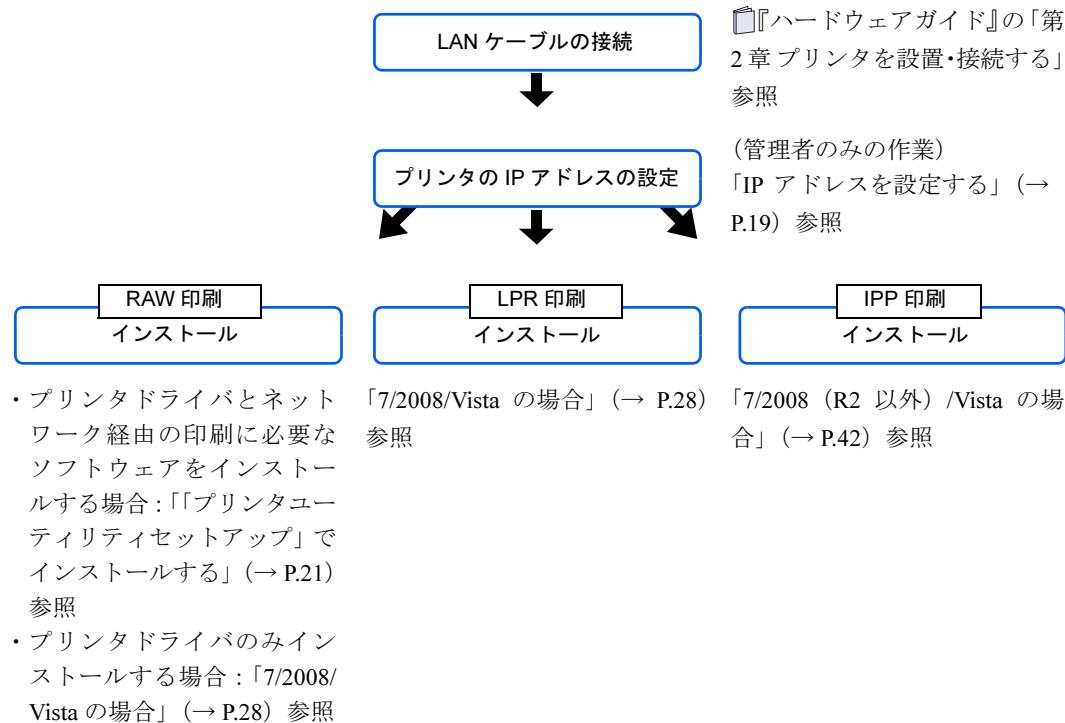
OS 標準のインストーラでインストールします。



作業の流れ

お使いの OS や印刷方法により、一部の作業が異なります。作業の流れをご確認のうえ、該当ページをご覧ください。

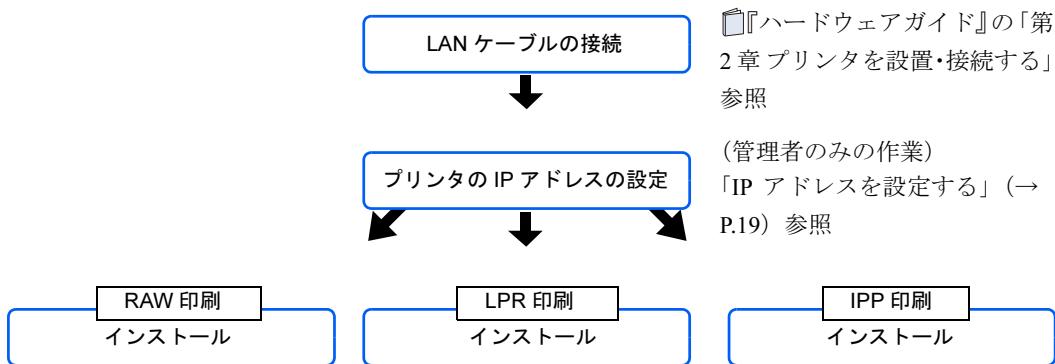
7/2008/Vista の場合



POINT

- ・ Vista では、IPv6 アドレスを利用できます。
IPv6 アドレスで接続している場合、「Printia LASER プリンタユーティリティセットアップ」を使用したインストールはできません。OS 標準のインストーラで、Standard TCP/IP ポート、または IPP ポートでのインストールを行います。インストール方法については、それぞれ次をご覧ください。
 - ・ Standard TCP/IP ポートでのインストールの場合
「OS 標準のインストーラでインストールする (RAW 印刷／LPR 印刷)」(→ P.28)
 - ・ IPP ポートでのインストールの場合
「OS 標準のインストーラでインストールする (IPP 印刷)」(→ P.42)

2003/XP/2000 の場合



- ・プリンタドライバとネットワーク経由の印刷に必要なソフトウェアをインストールする場合：「『プリンタユーティリティセットアップ』でインストールする」（→ P.21）参照
- ・プリンタドライバのみインストールする場合：「2003/XP/2000 の場合」（→ P.35）参照
- ・プリンタドライバとネットワーク経由の印刷に必要なソフトウェアをインストールする場合：「『プリンタユーティリティセットアップ』でインストールする」（→ P.21）参照
- ・プリンタドライバのみインストールする場合：「2003/XP/2000 の場合」（→ P.48）参照

2 IP アドレスを設定する

プリンタに IP アドレスを設定する方法を説明します。設定方法は、IPv4 アドレス環境か、IPv6 アドレス環境かにより異なります。

なお、IP アドレスの設定はプリンタの管理者が 1 回行えば良く、一般ユーザーの作業は必要ありません。

IPv4 アドレスの設定方法

IPv4 アドレスを設定する方法には、次の 2 種類があります。

- ・手動設定

固定の IP アドレスをプリンタに直接設定します。

パソコン側が次の方法でプリンタドライバをインストールする場合は、手動設定で、固定の IP アドレスを設定してください。

- 「OS 標準のインストーラでインストールする (RAW 印刷／LPR 印刷)」(→ P.28)

- 「OS 標準のインストーラでインストールする (IPP 印刷)」(→ P.42)

- ・自動取得設定

ネットワークが DHCP で運用されている場合は、プリンタの電源を入れたときに、DHCP サーバから IP アドレスを自動的に取得するように設定します。

ご使用の環境に合わせて、いずれかの方法を選択してください。

■ 設定手順

IPv4 アドレス環境の設定は、プリンタ本体のオペレータパネルから行います。

オペレータパネルを使った設定手順については、『ハードウェアガイド』の「第 5 章 オペレータパネルの操作」→「代表的な設定項目とその操作方法」→「IP アドレスの設定」をご覧ください。

IPv6 アドレスの設定方法

IPv6 アドレスには、次の 2 種類があります。

- ・グローバルアドレス

グローバルアドレスを利用する場合は、IPv6 アドレスをルーターから取得します (RA : Router Advertisement と呼ばれるパケットを送信できるルーターが必要です)。IPv6 アドレスの取得方法について詳しくは、お使いのルーターのマニュアルをご覧ください。

- ・リンクローカルアドレス

ルーターを経由しないネットワークでは、リンクローカルアドレス (IPv6 アドレス全 128 ビットのうち、前半 64 ビットが「fe80:0000:0000:0000」のアドレス) を使用できます。リンクローカルアドレスは、自動的に設定されます。

ご使用の環境に合わせて、いずれかの方法を選択してください。

■ 設定手順

IPv6 アドレス環境の設定は、プリンタ本体のオペレータパネルのメニュー モードで、「ネットワークメニュー」→「IP バージョン」を設定します。

オペレータパネルを使った設定手順については、『ハードウェアガイド』の「第 5 章 オペレータパネルの操作」→「代表的な設定項目とその操作方法」→「IP アドレスの設定」をご覧ください。

※ 重要

- ・ IPv6 アドレス使用時の留意事項
 - ・ IPv6 アドレスでの印刷は、Vista のみ可能です。
 - ・ 本製品は IPv4 の DNS 情報で動作します（IPv6 の DNS 情報には未対応です）。
 - ・ マルチプレフィックス環境（IPv6 グローバルアドレスを複数扱う環境）には未対応です。
 - ・ 自動設定される IPv6 アドレスには、運用上使用できないアドレス（サイトローカルアドレス (fec0::...) や文書作成用アドレス空間 (2001:db8::/32)）が設定されることがあります。

3 「プリンタユーティリティセットアップ」でインストールする

「Printia LASER プリンタユーティリティセットアップ」を使用して、プリンタドライバとネットワーク経由で印刷するために必要なソフトウェアをインストールします。なお、プリンタに IP アドレスをまだ設定していない場合は、「IP アドレスを設定する」(→ P.19) をご覧になり、設定しておいてください。

2

■作業の概要

「Printia LASER プリンタユーティリティセットアップ」を使用して、プリンタドライバとソフトウェアをインストールします。

- ・ 7/2008/Vista の場合

RAW 印刷の設定を行います。

プリンタドライバと、ネットワーク経由で印刷するために必要なソフトウェア「Network Extension」がインストールされます。

- ・ 2003/XP/2000 の場合

インストール手順の中で、印刷方法として「Fujitsu LPR ユーティリティ」または「Standard TCP/IP Port」を選択できます。選択した印刷方法によって、次のように設定されます。

- 「Fujitsu LPR ユーティリティ」を選択した場合

LPR 印刷の設定を行います。

プリンタドライバと、ネットワーク経由で印刷するために必要なソフトウェア「FUJITSU LPR ユーティリティ」と「Network Extension」がインストールされます。

- 「Standard TCP/IP Port」を選択した場合

RAW 印刷の設定を行います。

プリンタドライバと、ネットワーク経由で印刷するために必要なソフトウェア「Network Extension」がインストールされます。

POINT

- ・ 「FUJITSU LPR ユーティリティ」について詳しくは、「LPR 印刷の管理 (FUJITSU LPR ユーティリティ) (2003/XP/2000 のみ)」(→ P.114) をご覧ください。
- ・ 「Network Extension」について詳しくは、「プリンタ情報の管理 (Network Extension)」(→ P.128) をご覧ください。
- ・ Vista では、IPv6 アドレスを利用できますが、「Printia LASER プリンタユーティリティセットアップ」や「Network Extension」は、IPv6 アドレスに対応していません。
IPv6 アドレスでの接続は、OS 標準のインストーラで、Standard TCP/IP ポート、または IPP ポートでのインストールを行ってください。インストール方法については、それぞれ次をご覧ください。
 - ・ Standard TCP/IP ポートでのインストールの場合
「OS 標準のインストーラでインストールする (RAW 印刷／LPR 印刷)」(→ P.28)
 - ・ IPP ポートでのインストールの場合
「OS 標準のインストーラでインストールする (IPP 印刷)」(→ P.42)

インストール

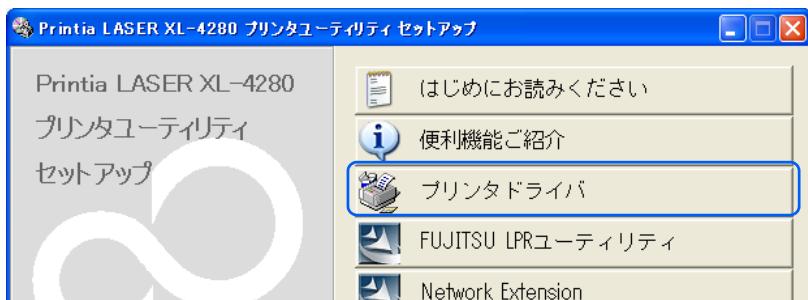
「Printia LASER プリンタユーティリティ セットアップ」を使用して、プリンタドライバをインストールします。ネットワーク経由で印刷するために必要なソフトウェアも同時にインストールされます。

- 1** プリンタの電源を入れます。
- 2** 管理者権限を持ったユーザーでログオンします。
- 3** ④「Printia LASER プリンタユーティリティ」をパソコンにセットします。
「Printia LASER プリンタユーティリティ セットアップ」ウィンドウが自動的に表示されます。

POINT

- ・「Printia LASER プリンタユーティリティ セットアップ」ウィンドウが自動的に表示されない場合は、「エクスプローラ」などを使用して CD-ROM を開き、一番上の階層にある「xlsetup.exe」をダブルクリックしてください。「Printia LASER プリンタユーティリティ セットアップ」ウィンドウが表示されます。
- ・7/2008/Vista の場合、自動再生時や「xlsetup.exe」をダブルクリックしたときに、「自動再生」ウィンドウが表示されます。実行されるプログラムが「xlsetup.exe」であることを確認し、「Xlsetup.exe の実行」をクリックしてください。

- 4** メニューから「LAN でプリンタを使用する」または「プリンタドライバ」をクリックします。



(画面は OS により異なります)

■ 7/2008 R2 の場合

メニューから「LAN でプリンタを使用する」をクリックします。

「ユーザーアカウント制御」画面が表示されたら、「はい」をクリックします。インストーラが起動し、「ローカル / ネットワーク」ウィンドウが表示されます。

■ 2008 (R2 以外) / Vista の場合

メニューから「プリンタドライバ」をクリックします。

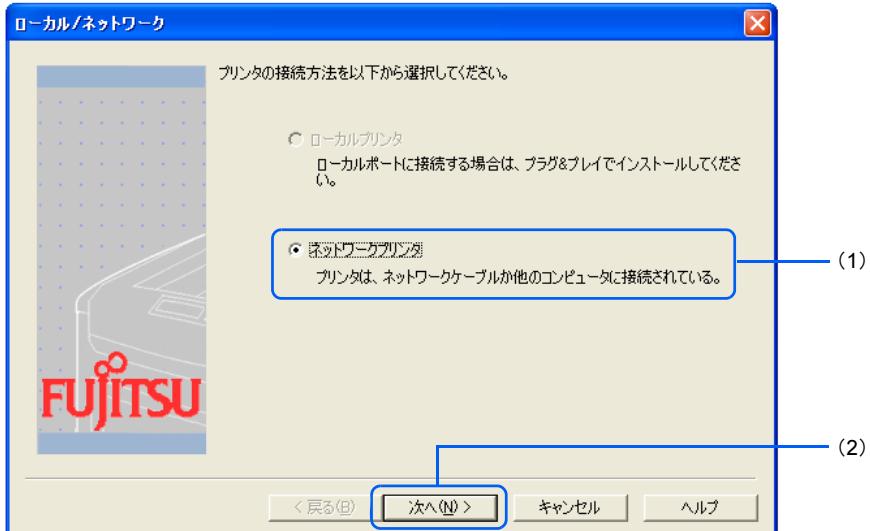
「プログラムを実行するにはあなたの許可が必要です」と表示されたら、「続行」をクリックします。インストーラが起動し、「ローカル / ネットワーク」ウィンドウが表示されます。

■ 2003/XP/2000 の場合

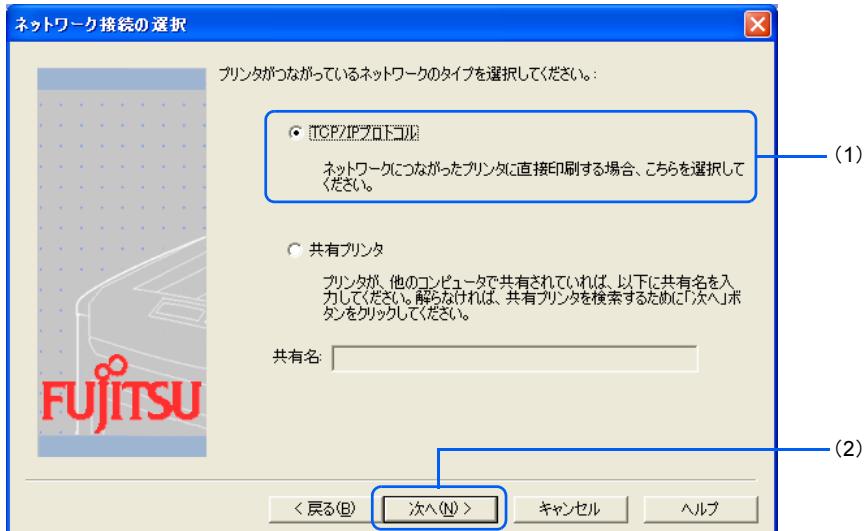
メニューから「プリンタドライバ」をクリックします。

インストーラが起動し、「ローカル / ネットワーク」ウィンドウが表示されます。

5 (1) 「ネットワークプリンタ」を選択して、(2) 「次へ」をクリックします。



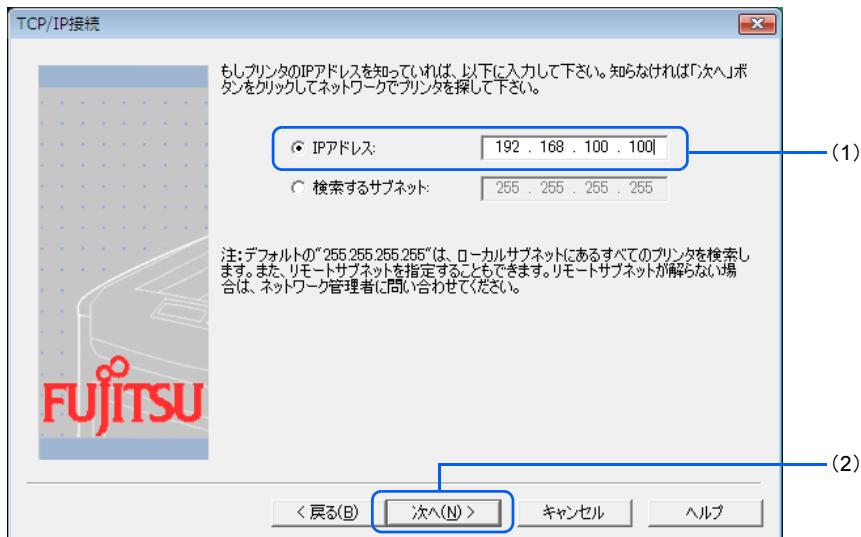
6 (1) 「TCP/IP プロトコル」を選択して、(2) 「次へ」をクリックします。



7 次のように操作します。

■ 7/2008/Vista の場合

(1) 「IP アドレス」に、プリンタの IP アドレスを入力して、(2) 「次へ」をクリックします。プリンタドライバと、ネットワーク経由で印刷するために必要なソフトウェア「Network Extension」がインストールされます。また、RAW ポートの設定が自動的に行われます。



■ 2003/XP/2000 の場合

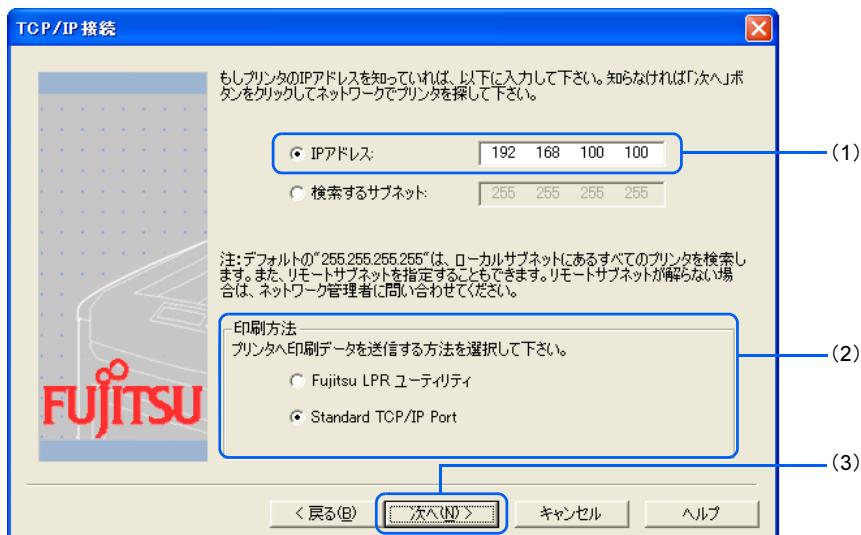
(1) 「IP アドレス」に、プリンタの IP アドレスを入力し、(2) 「印刷方法」を選択して、(3) 「次へ」をクリックします。

・ LPR 印刷を行う場合

「印刷方法」で「Fujitsu LPR ユーティリティ」を選択します。プリンタドライバと、ネットワーク経由で印刷するために必要なソフトウェア「FUJITSU LPR ユーティリティ」と「Network Extension」がインストールされます。

・ RAW 印刷を行う場合

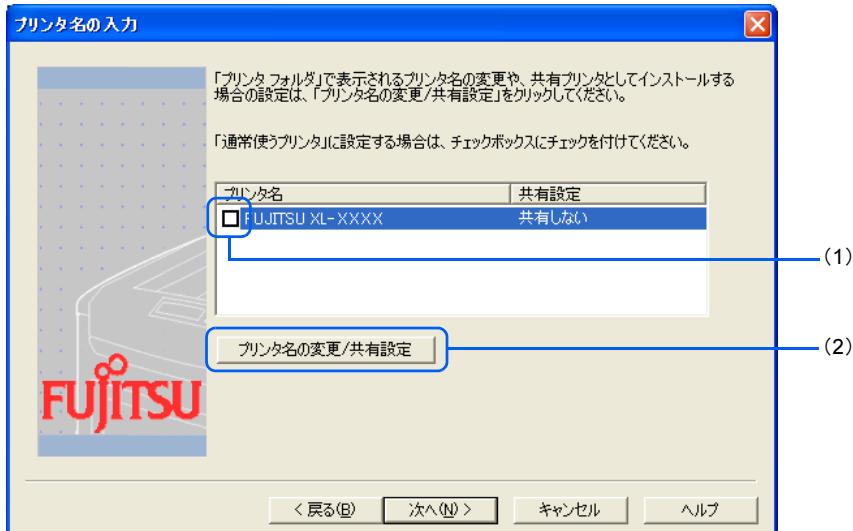
「印刷方法」で「Standard TCP/IP Port」を選択します。プリンタドライバと、ネットワーク経由で印刷するために必要なソフトウェア「Network Extension」がインストールされます。



POINT

- ・「検索するサブネット」を使用して検索を行う場合は、次のアドレスを入力します。
- ・プリンタがローカルサブネットにある場合 : 255.255.255.255
- ・プリンタが別のサブネットにある場合: サブネットのブロードキャストアドレスを入力します。ブロードキャストアドレスはネットワーク管理者にご確認ください。

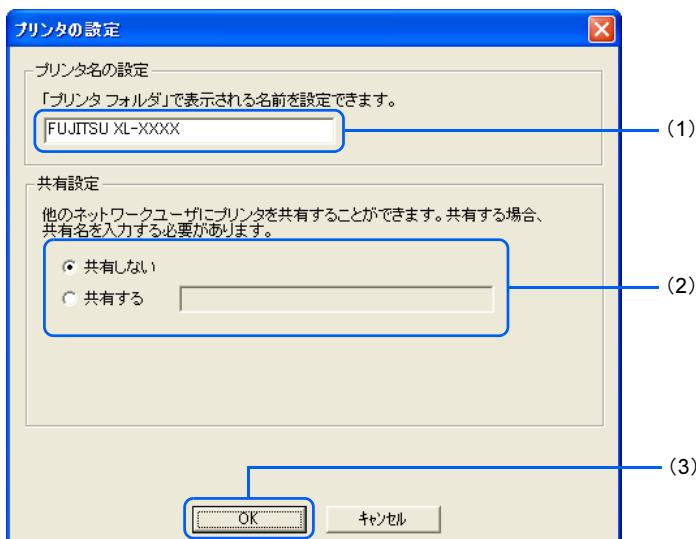
8 (1) 通常使うプリンタにするかどうかを選択し、(2) 「プリンタ名の変更 / 共有設定」をクリックします。



POINT

- ・プリンタドライバを初めてインストールする場合、このドライバが「通常使うプリンタ」になります。

9 (1) プリンタ名を入力し、(2) プリンタを共有するかどうかを選択してから、(3) 「OK」をクリックします。



POINT

- ・プリンタ名に、次の文字は使用できません。
!、、￥、：、/、*、?、"、>、<、|、@

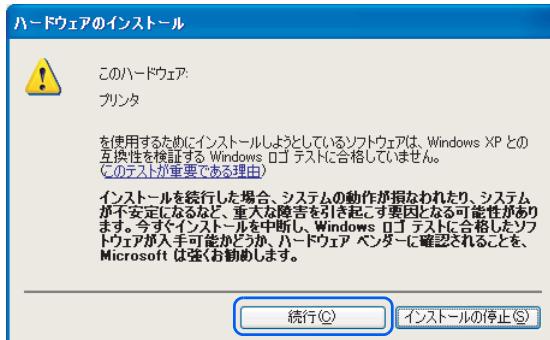
「プリンタ名の入力」 ウィンドウが表示されます。

10 設定内容を確認し、「次へ」をクリックします。

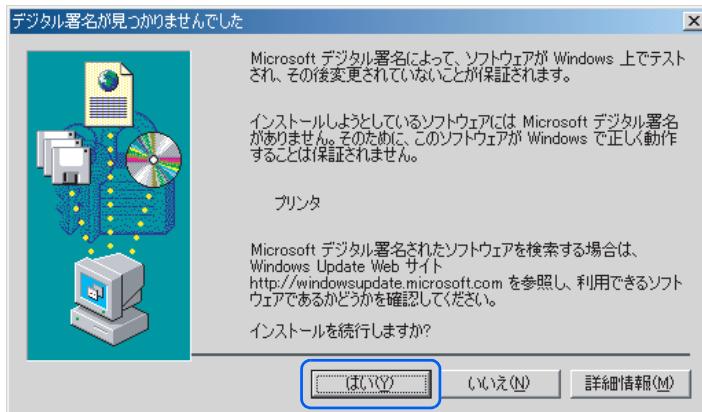
ファイルのコピーが開始されます。

POINT

- ・次のウィンドウが表示された場合は、「続行」をクリックしてください。



- ・2000 で次のウィンドウが表示された場合は、「はい」をクリックしてください。



11 必要なソフトウェアがインストールされたことを確認して、「完了」をクリックします。

RAW 印刷の場合は、引き続き「RAW 印刷のみの設定」(→ P.27) に進んでください。

LPR 印刷の場合は、以上で設定は終了です。

POINT

- ・2003/XP/2000 の場合は、「FUJITSU LPR ユーティリティ」でプリンタポートを設定することにより、LPR 印刷ができます。
「FUJITSU LPR ユーティリティ」について、詳しくは「LPR 印刷の管理（FUJITSU LPR ユーティリティ）(2003/XP/2000 のみ)」(→ P.114) をご覧ください。
プリンタポートの設定について、詳しくは、「プリンタの登録」(→ P.116) をご覧ください。

RAW 印刷のみの設定

1 Windows を再起動した場合は、管理者権限を持ったユーザーでログオンします。

2 印刷を行うプリンタを選択します。

■ 7/2008 R2 の場合

(スタート) → 「デバイスとプリンター」の順にクリックします。

■ 2008 (R2 以外) / Vista の場合

「スタート」ボタンまたは(スタート) → 「コントロールパネル」 → 「ハードウェアとサウンド」の「プリンタ」の順にクリックし、RAW 印刷を行うプリンタを選択します。

■ 2003/XP の場合

「スタート」ボタン → 「プリンタと FAX」の順にクリックし、RAW 印刷を行うプリンタを選択します。

■ 2000 の場合

「スタート」ボタン → 「設定」 → 「プリンタ」の順にクリックし、RAW 印刷を行うプリンタを選択します。

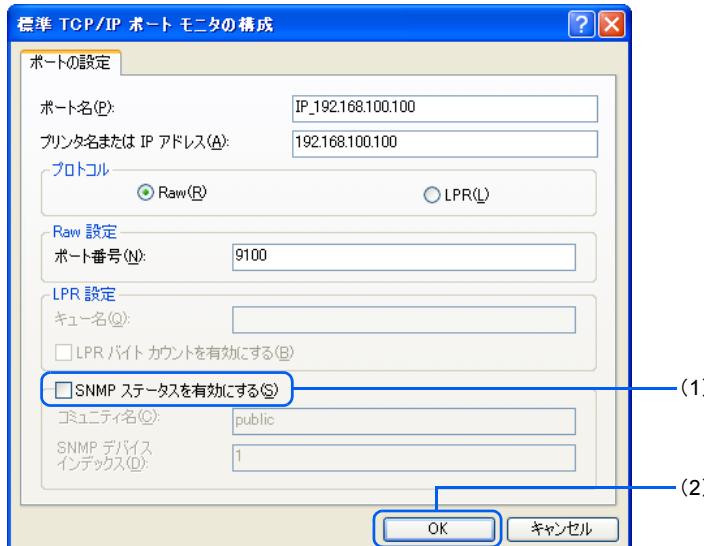
3 「ファイル」メニュー → 「プロパティ」の順にクリックします。

プリンタの「プロパティ」ウィンドウが表示されます。

4 「ポートの構成」をクリックします。

「標準 TCP/IP ポートモニタの構成」ウィンドウが表示されます。

5 (1) 「SNMP ステータスを有効にする」を□にして、(2) 「OK」をクリックします。



以上で RAW 印刷の設定は完了です。

4 OS 標準のインストーラでインストールする (RAW 印刷／LPR 印刷)

OS 標準のインストーラを使用して、プリンタ ドライバをインストールし、RAW 印刷、または LPR 印刷の設定を行います。

なお、プリンタに IP アドレスをまだ設定していない場合は、「IP アドレスを設定する」(→ P.19) をご覧になり、設定しておいてください。

- ・「7/2008/Vista の場合」(→ P.28)
- ・「2003/XP/2000 の場合」(→ P.35)

7/2008/Vista の場合

プリンタ ドライバのインストールとポートの設定を行います。

- 1 プリンタの電源を入れます。
- 2 管理者権限を持ったユーザーでログオンします。
- 3 次の手順で「プリンタの追加」ウィンドウを開きます。

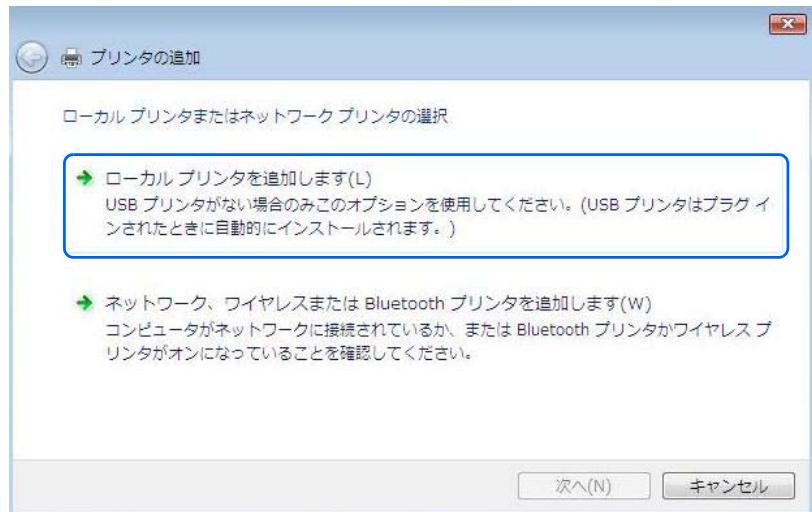
■ 7/2008 R2 の場合

1.  (スタート) → 「デバイスとプリンター」の順にクリックします。
2. 「プリンターの追加」をクリックします。

■ 2008 (R2 以外) /Vista の場合

1. 「スタート」ボタンまたは (スタート) → 「コントロールパネル」の順にクリックします。
2. 「ハードウェアとサウンド」の「プリンタ」をクリックします。
3. 「プリンタのインストール」をクリックします。

4 「ローカルプリンタを追加します」をクリックします。



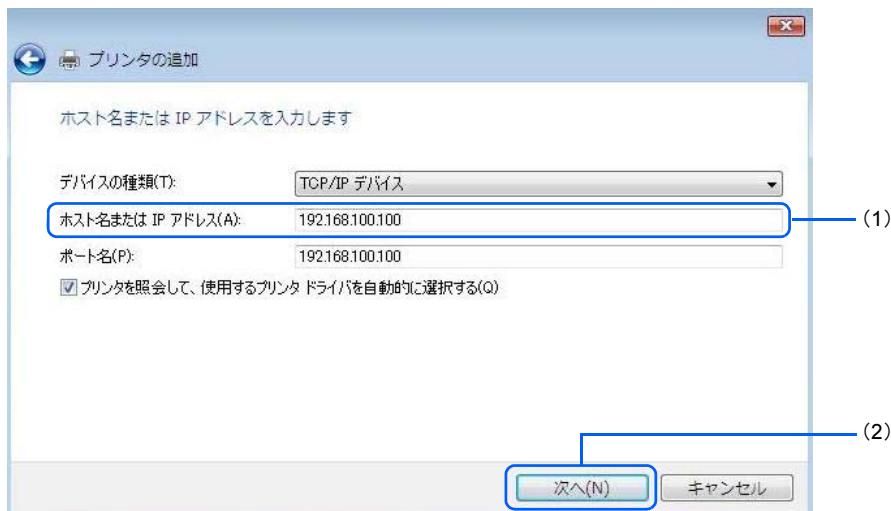
5 (1)「新しいポートの作成」を にし、「ポートの種類」で「Standard TCP/IP Port」を選択し、(2)「次へ」をクリックします。



6 (1) 「ホスト名または IP アドレス」にプリンタの IP アドレスを入力し、 (2) 「次へ」をクリックします。

- ・IPv4 アドレスの例（プリンタの IPv4 アドレスが 192.168.100.100 の場合）
192.168.100.100
- ・IPv6 アドレスの例（プリンタの IPv6 アドレスが fe80:0000:0000:0000:0280:87ff:fe9b:1234 の場合）
fe80::0280:87ff:fe9b:1234

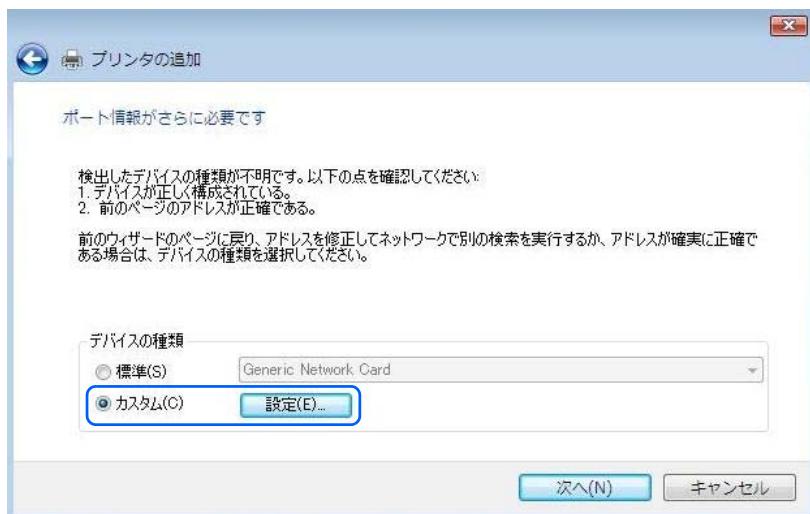
IP アドレスを入力すると、「ポート名」にも IP アドレスが自動的に反映されます。



POINT

- ・IPv6 アドレスは、Vista でのみ設定できます。

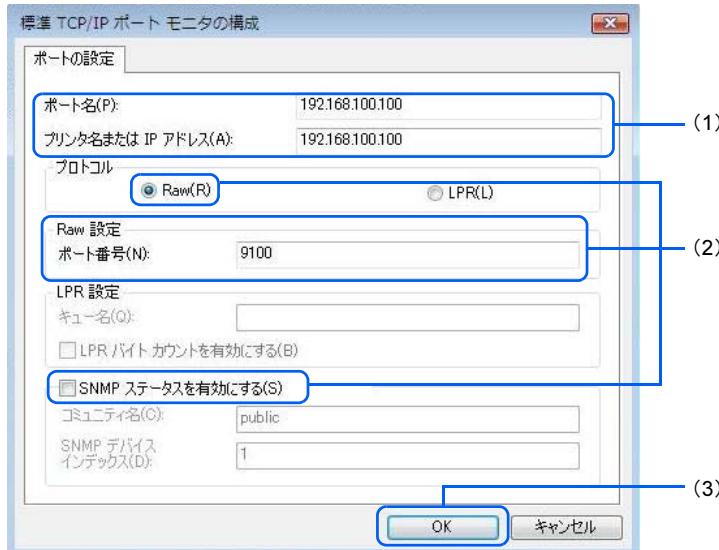
7 「カスタム」を選択し、「設定」をクリックします。



8 印刷プロトコルによって、次のように設定します。

■ RAW 印刷の場合

- (1) 「ポート名」「プリンタ名または IP アドレス」を確認し、(2) 「プロトコル」を「Raw」、「ポート番号」を「9100」、「SNMP ステータスを有効にする」を にし、(3) 「OK」をクリックします。



■ LPR 印刷の場合

- (1) 「ポート名」「プリンタ名または IP アドレス」を確認し、(2) 「プロトコル」を「LPR」、「キュー名」を「LP」、「LPR バイトカウントを有効にする」を 、「SNMP ステータスを有効にする」を にし、(3) 「OK」をクリックします。



手順 7 の画面に戻ります。

9 「次へ」をクリックします。

「プリンタ ドライバのインストール」 ウィンドウが表示されます。

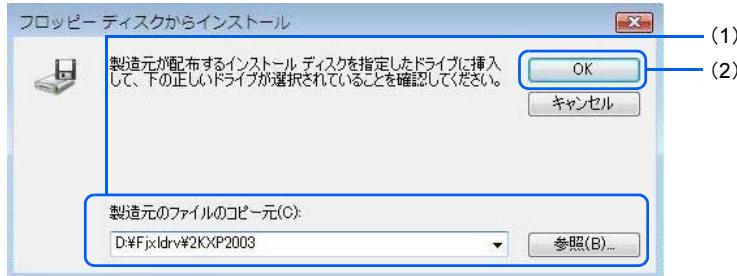
10 「ディスク使用」をクリックします。



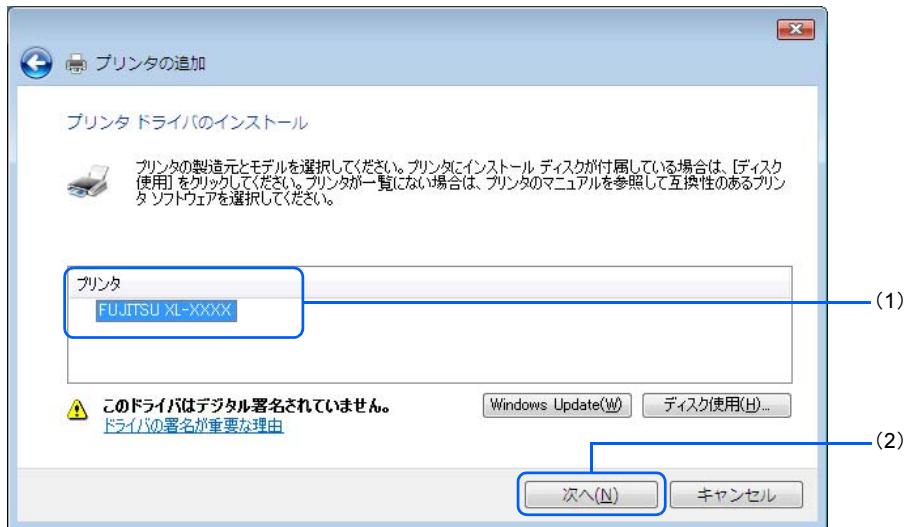
11 ②「Printia LASER プリンタユーティリティ」をパソコンにセットします。 「Printia LASER プリンタユーティリティ セットアップ」ウィンドウが自動的に表示されます。

12 メニューから「終了」をクリックします。

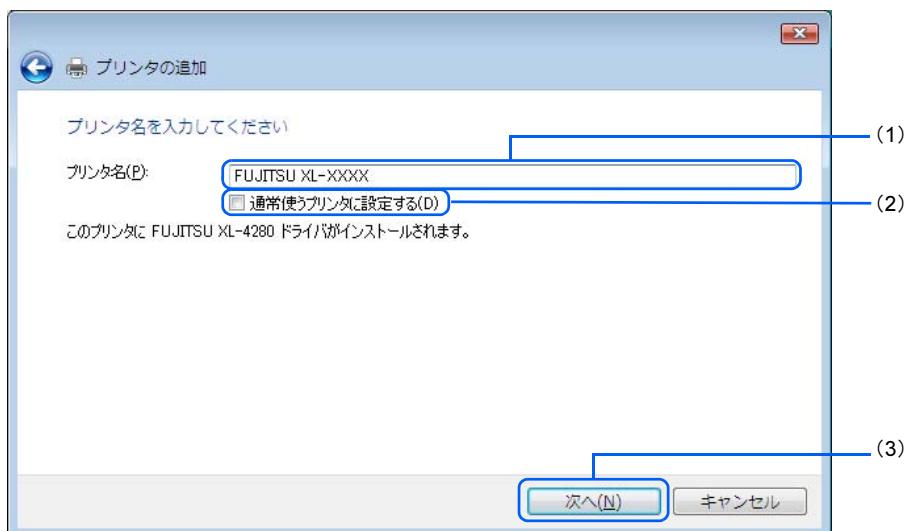
13 (1) 「製造元のファイルのコピー元」に、プリンタドライバが格納されている「D:\FJXLDRV\2KXP2003 (2008 の 64-bit, Vista の 64 ビット版の場合は D:\FJXLDRV\x64)」(CD-ROM ドライブが D: の場合) を入力し、(2) 「OK」をクリックします。



14 (1) プリンタを選択し、(2)「次へ」をクリックします。

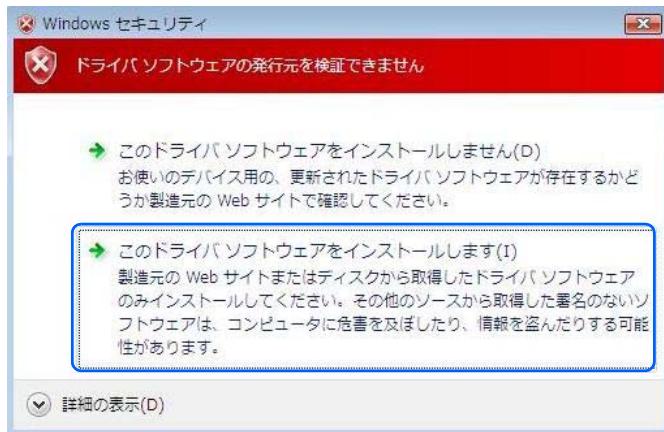


15 (1) 「プリンタ名」を入力し、(2) 通常使うプリンタに設定するかどうかを選択し、(3) 「次へ」をクリックします。

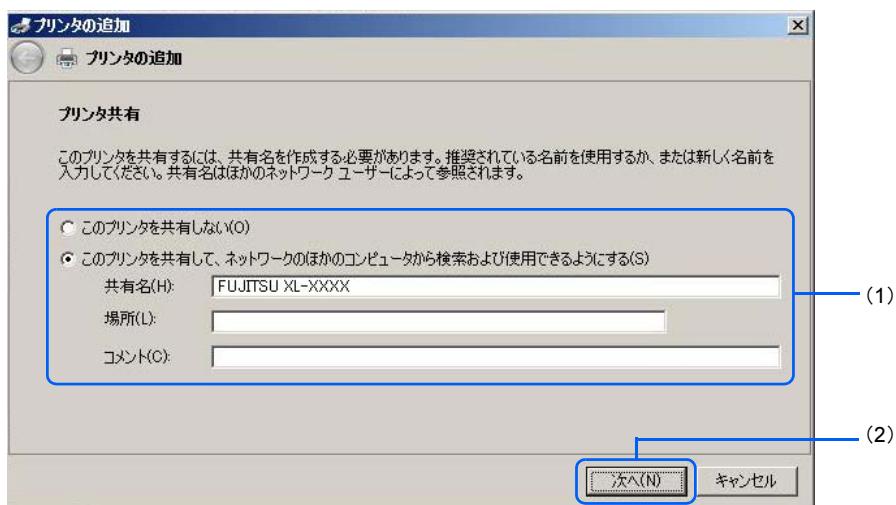


Vista の場合は、「続行するにはあなたの許可が必要です」と表示されます。Printia XL シリーズのプリンタドライバであることを確認し、「続行」をクリックしてください。

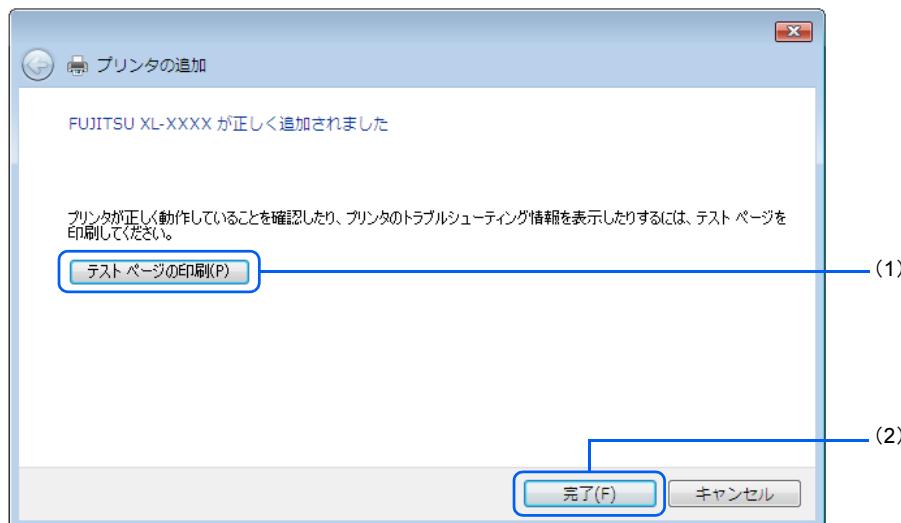
16 「このドライバソフトウェアをインストールします」をクリックします。



17 2008 の場合は、(1) プリンタを共有するかどうかを設定し、(2) 「次へ」をクリックします。



- 18** (1) テストページを印刷する場合は「テストページの印刷」をクリックし、
 (2) 「完了」をクリックします。



以上で設定は完了です。

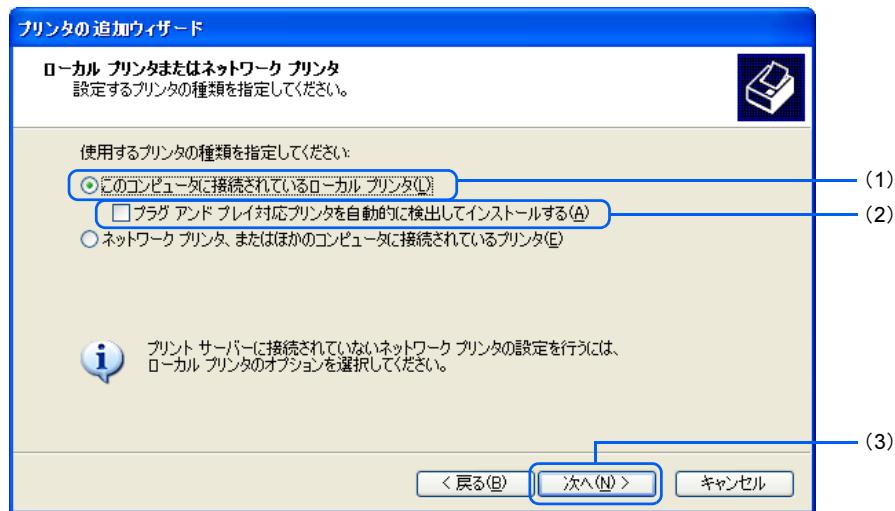
IPv4 アドレス環境の場合は、「Network Extension」をインストールします。インストール方法については、「「Network Extension」をインストールする」(→ P.128) をご覧ください。

2003/XP/2000 の場合

プリンタドライバのインストールとポートの設定を行います。

- 1** プリンタの電源を入れます。
- 2** 管理者権限を持ったユーザーでログオンします。
- 3** 次の手順で、「プリンタの追加」ウィンドウを表示します。
 - 2003/XP の場合
 1. 「スタート」ボタン→「プリンタと FAX」の順にクリックします。
 2. 「プリンタのインストール」をクリックします。
 - 2000 の場合
 1. 「スタート」ボタン→「設定」→「プリンタ」の順にクリックします。
 2. 「プリンタの追加」をダブルクリックします。
 「プリンタの追加 ウィザード」ウィンドウが表示されます。
- 4** 「次へ」をクリックします。

- 5** (1) 「このコンピュータに接続されているローカルプリンタ」を○にし、(2)「プラグアンドプレイ対応プリンタを自動的に検出してインストールする」が□になっていることを確認し、(3)「次へ」をクリックします。



- 6** (1)「新しいポートの作成」を○にし、(2)「ポートの種類」で「Standard TCP/IP Port」を選択して、(3)「次へ」をクリックします。

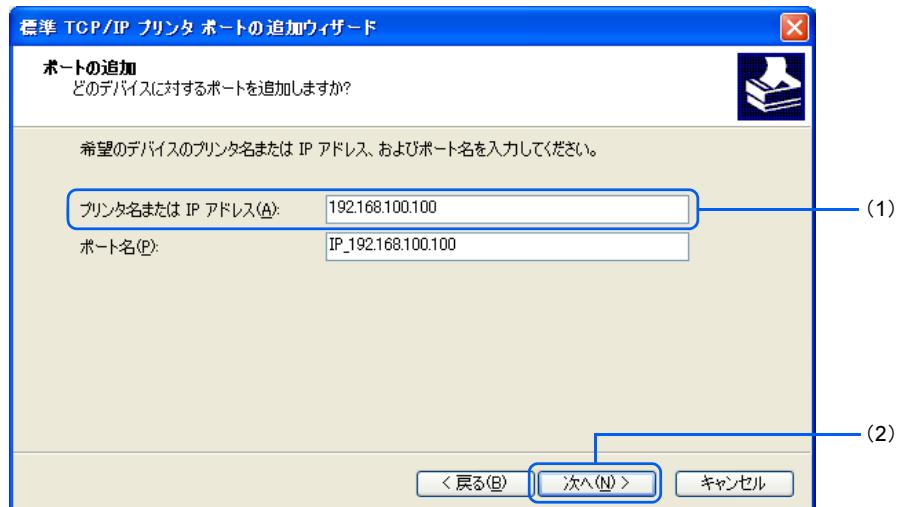


「標準 TCP/IP プリンタポートの追加ウィザード」 ウィンドウが表示されます。

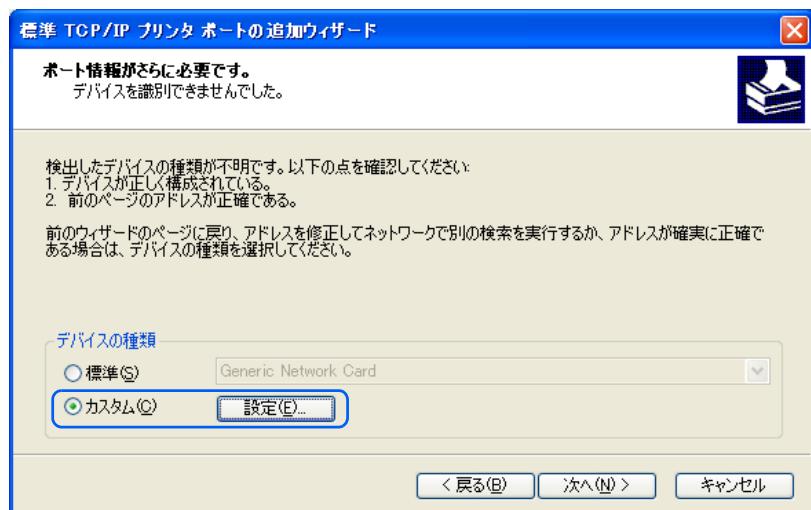
- 7** 「次へ」をクリックします。

8 (1) 「プリンタ名または IP アドレス」にプリンタの IP アドレスを入力し、(2) 「次へ」をクリックします。

IP アドレスを入力すると、「ポート名」にも IP アドレスが自動的に反映されます。



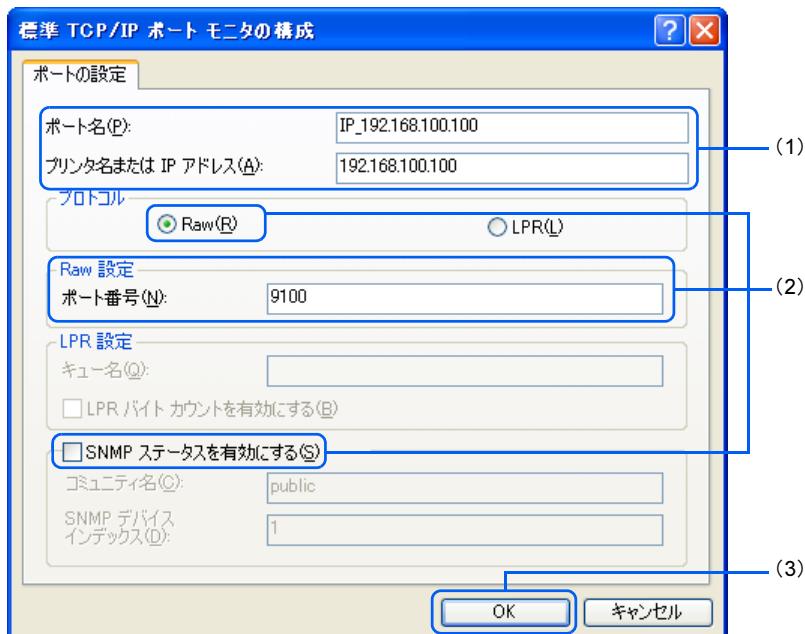
9 「カスタム」を選択し、「設定」をクリックします。



10 印刷プロトコルによって、次のように設定します。

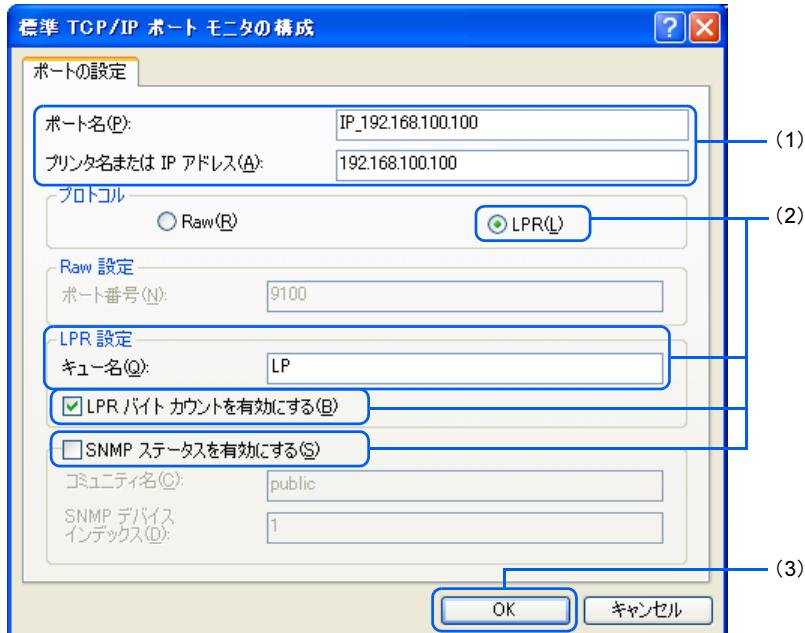
■ RAW 印刷の場合

(1) 「ポート名」「プリンタ名または IP アドレス」を確認し、(2) 「プロトコル」を「Raw」、「ポート番号」を「9100」、「SNMP ステータスを有効にする」を□にし、(3) 「OK」をクリックします。



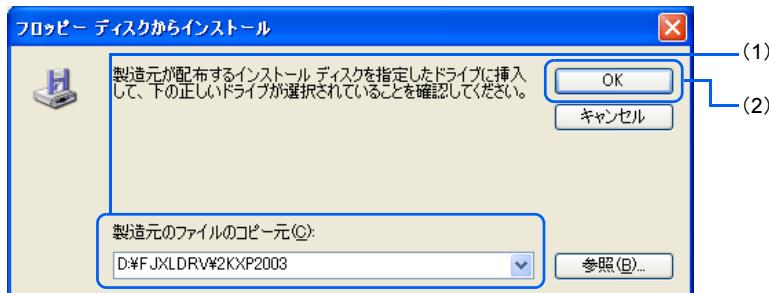
■ LPR 印刷の場合

(1) 「ポート名」「プリンタ名または IP アドレス」を確認し、(2) 「プロトコル」を「LPR」、「キュー名」を「LP」、「LPR バイトカウントを有効にする」を□にし、「SNMP ステータスを有効にする」を□にし、(3) 「OK」をクリックします。



手順 9 の画面に戻ります。

- 11** 「次へ」をクリックします。
- 12** 「標準 TCP/IP プリンタポートの追加ウィザードの完了」ウィンドウで、「完了」をクリックします。
- 13** 「プリンタの追加ウィザード」ウィンドウで、「ディスク使用」をクリックします。
- 14** ⑤「Printia LASER プリンタユーティリティ」をパソコンにセットします。
「Printia LASER プリンタユーティリティ セットアップ」ウィンドウが自動的に表示されます。
- 15** メニューから「終了」をクリックします。
- 16** 「フロッピーディスクからインストール」ウィンドウで、(1)「製造元のファイルのコピー元」に「D:\FJXLDRV\2KXP2003 (x64 Edition の場合は D:\FJXLDRV\x64)」(CD-ROM ドライブが D: の場合)と入力し、(2)「OK」をクリックします。



- 17** プリンタを選択し、「次へ」をクリックします。

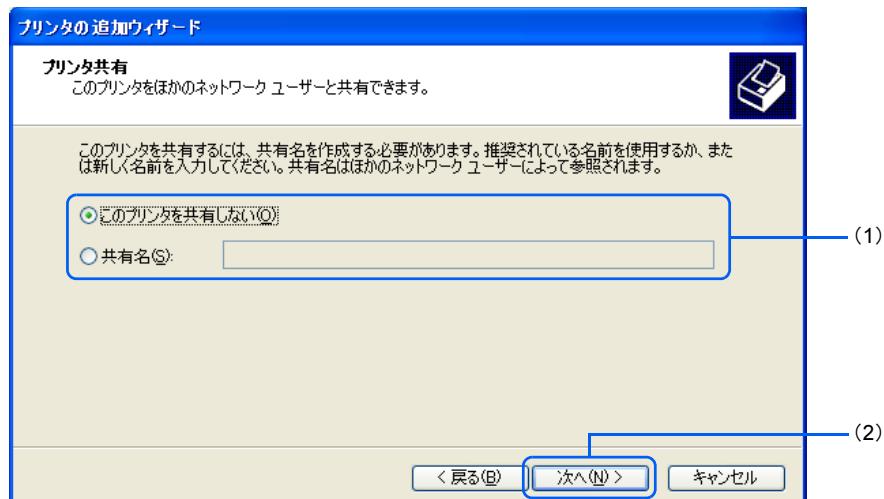
18 (1) 「プリンタ名」を入力し、(2) 通常使うプリンタに設定するかどうかを選択し、(3) 「次へ」をクリックします。



POINT

- ・プリンタドライバを初めてインストールする場合、「このプリンタを通常使うプリンタとして使いますか？」は表示されません。本製品が「通常使うプリンタ」になります。

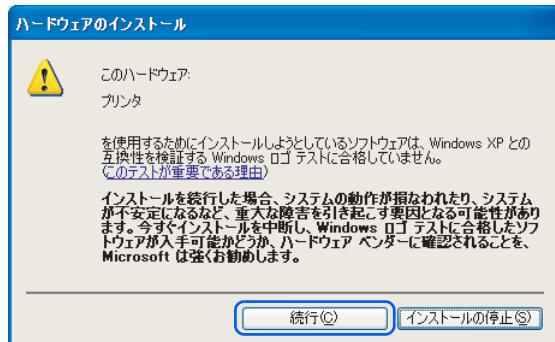
19 (1) プリンタを共有するかどうかを設定し、(2) 「次へ」をクリックします。



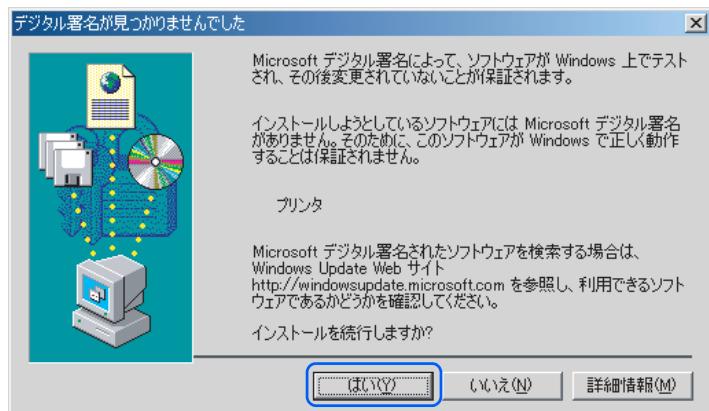
20 テストページの印刷をするかどうかを設定し、「次へ」をクリックします。 ファイルのコピーが開始されます。

POINT

- ・次のウィンドウが表示された場合は、「続行」をクリックしてください。



- 2000 で次のウィンドウが表示された場合は、「はい」をクリックしてください。



- 「ファイルの上書き確認」ウィンドウが表示された場合は、「はい」をクリックしてください。

21 「完了」をクリックします。

以上で設定は完了です。

次に、「Network Extension」をインストールします。

インストール方法については、「「Network Extension」をインストールする」(→ P.128) をご覧ください。

5 OS 標準のインストーラでインストールする (IPP 印刷)

OS 標準のインストーラを使用して、プリンタ ドライバをインストールし、IPP 印刷の設定を行います。

なお、プリンタに IP アドレスをまだ設定していない場合は、「IP アドレスを設定する」(→ P.19) をご覧になり、設定しておいてください。

- ・「7/2008 (R2 以外) /Vista の場合」(→ P.42)
- ・「2003/XP/2000 の場合」(→ P.48)
- ・「IPP 印刷を行うユーザーを制限する」(→ P.51)

POINT

- ・2008 R2 では、プリンタの追加ウィザードから「ネットワークプリンタを追加します」で共有プリンタの URL を指定して印刷を行なう「IPP 印刷」を使用することができません。

7/2008 (R2 以外) /Vista の場合

プリンタ ドライバのインストールとポートの設定を行います。

1 プリンタの電源を入れます。

2 管理者権限を持ったユーザーでログオンします。

3 次の手順で、「プリンタの追加」ウィンドウを表示します。

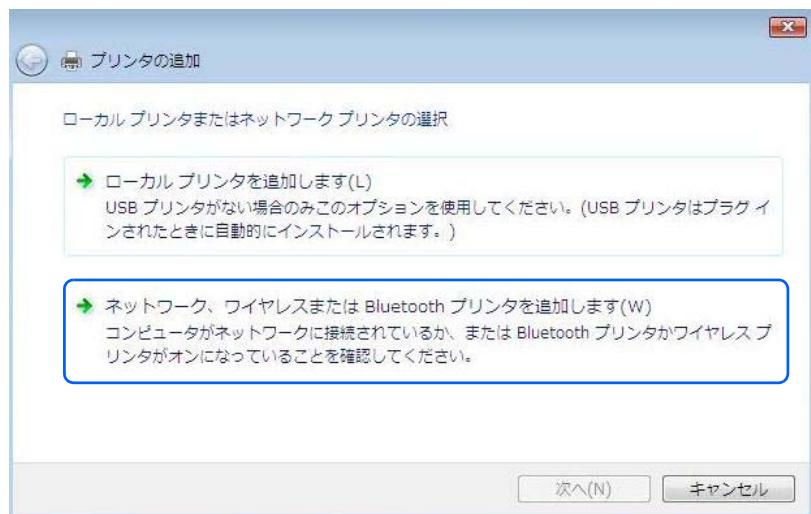
■ 7 の場合

1.  (スタート) → 「デバイスとプリンター」の順にクリックします。
2. 「プリンターの追加」をクリックします。

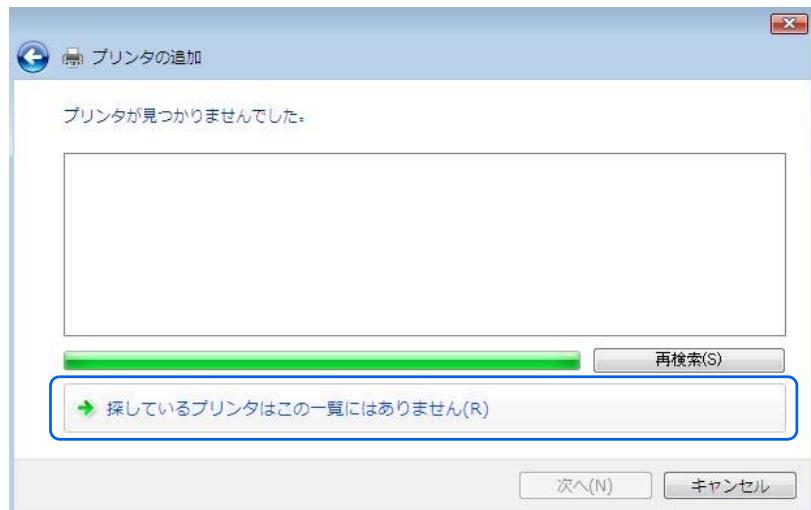
■ 2008 (R2 以外) /Vista の場合

1. 「スタート」ボタンまたは (スタート) → 「コントロールパネル」の順にクリックします。
2. 「ハードウェアとサウンド」の「プリンタ」をクリックします。
3. 「プリンタのインストール」をクリックします。

4 「ネットワーク、ワイヤレスまたは Bluetooth プリンタを追加します」をクリックします。



5 「探しているプリンタはこの一覧にはありません」をクリックします。



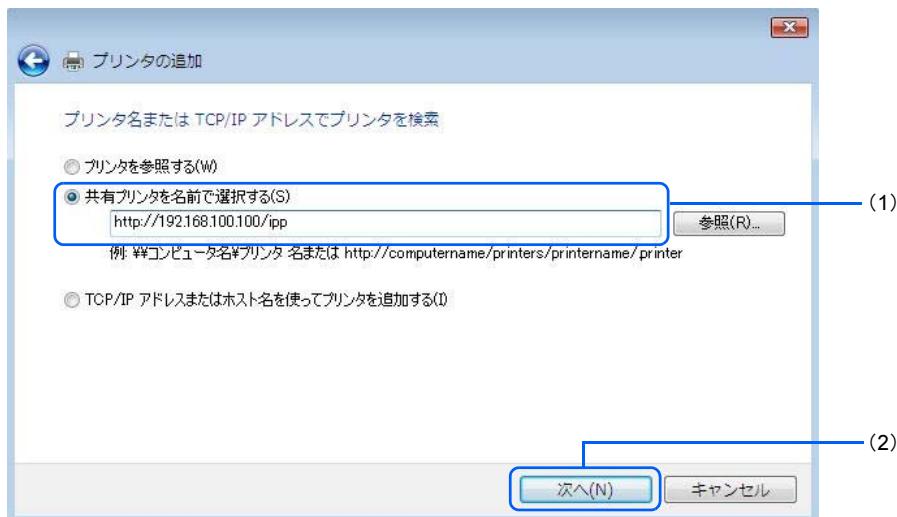
6 (1) 「共有プリンタを名前で選択する」を選択して「URL」に次のように URL を入力して、(2) 「次へ」をクリックします。

- ・IPv4 の場合

http:// [プリンタの IP アドレス] /ipp (例 : http://192.168.100.100/ipp)

- ・IPv6 の場合

http:// [プリンタの IP アドレス] /ipp (例 : http://[fe80::0280:87ff:fe9b:49d9]/ipp)



POINT

- ・IPv6 アドレスは、Vista でのみ設定できます。
- ・プリンタに DNS 設定がされていれば、IP アドレスの代わりにホスト名を入力することもできます。

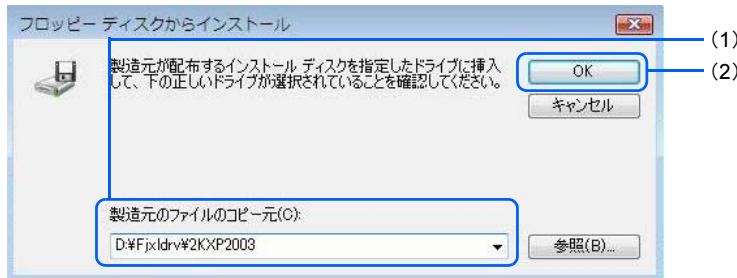
7 「ディスク使用」をクリックします。



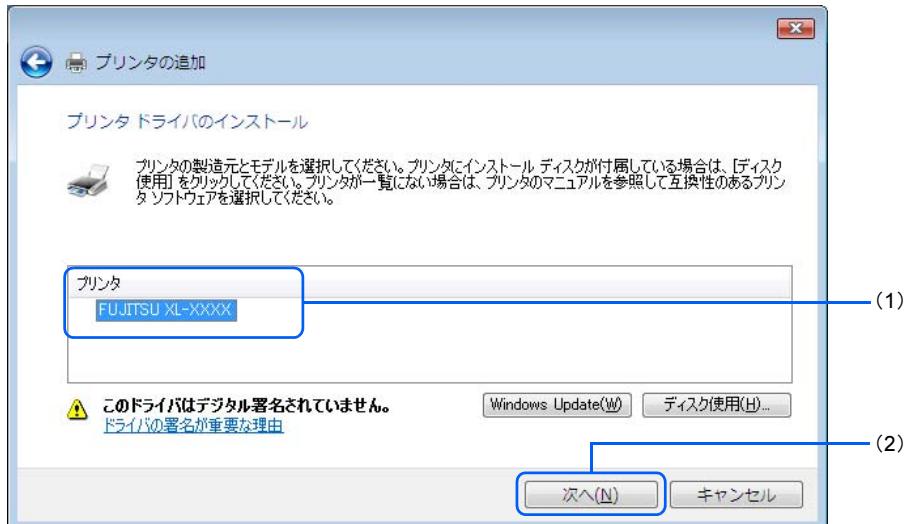
8 ⑧「Printia LASER プリンタユーティリティ」をパソコンにセットします。
「Printia LASER プリンタユーティリティ セットアップ」ウィンドウが自動的に表示されます。

9 メニューから「終了」をクリックします。

10 (1) 「製造元のファイルのコピー元」に、プリンタドライバが格納されている「D:\FJXLDRV\2KXP2003 (2008 の 64-bit, Vista の 64 ビット版の場合は D:\FJXLDRV\x64)」(CD-ROM ドライブが D: の場合) を入力し、(2) 「OK」をクリックします。

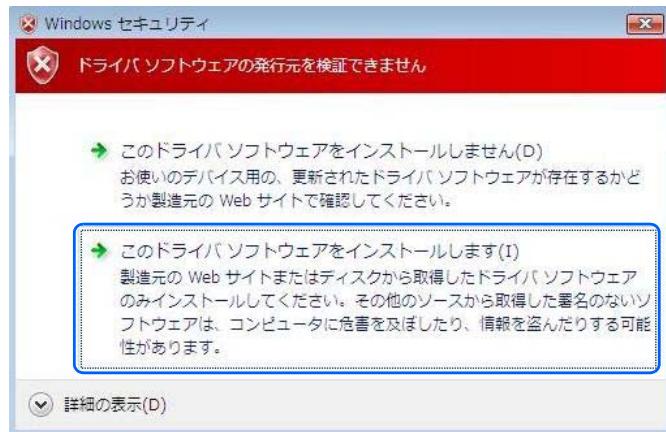


11 (1) プリンタを選択し、(2) 「次へ」をクリックします。

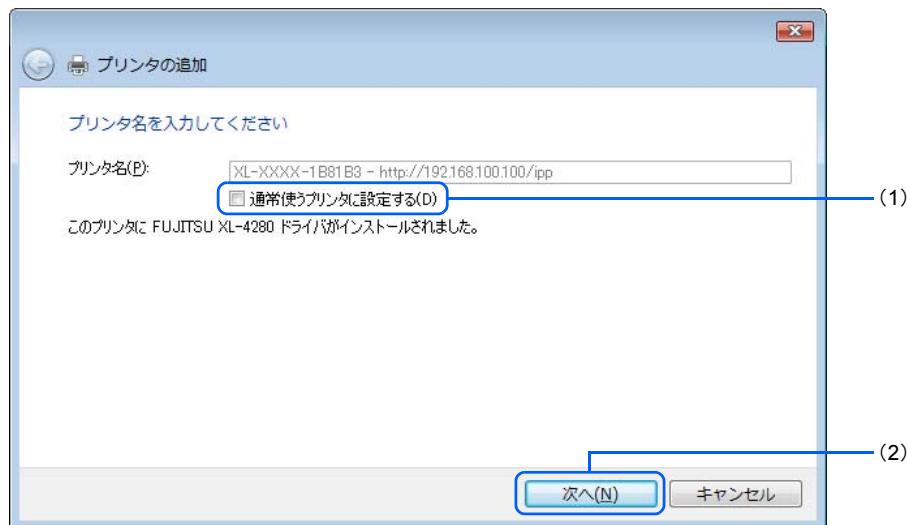


Vista の場合は、「続行するにはあなたの許可が必要です」と表示されます。Printia XL シリーズのプリンタドライバであることを確認し、「続行」をクリックしてください。

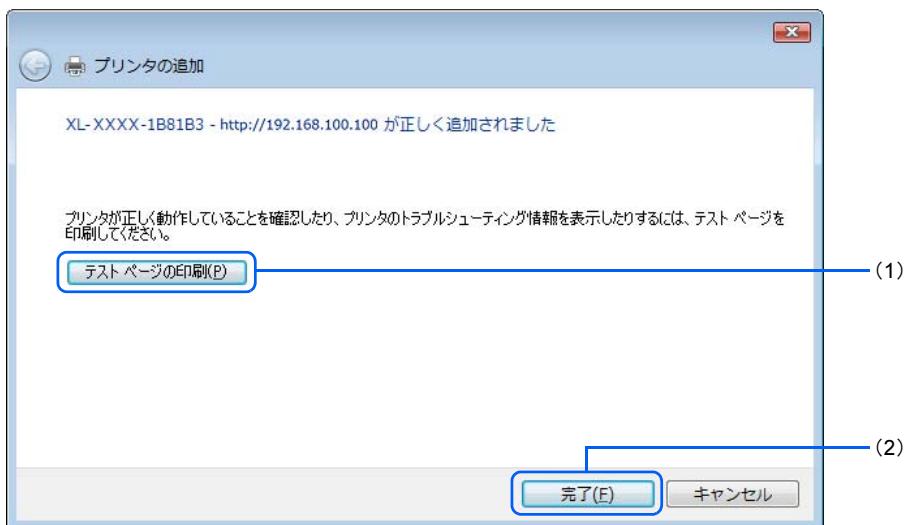
12 「このドライバソフトウェアをインストールします」をクリックします。



13 (1) 通常使うプリンタに設定するかどうかを選択し、(2)「次へ」をクリックします。



- 14** (1) テストページを印刷する場合は「テストページの印刷」をクリックし、
(2) 「完了」をクリックします。



以上で設定は完了です。

IPv4 アドレス環境の場合は、「Network Extension」をインストールします。

インストール方法については、「「Network Extension」をインストールする」(→ P.128) をご覧ください。

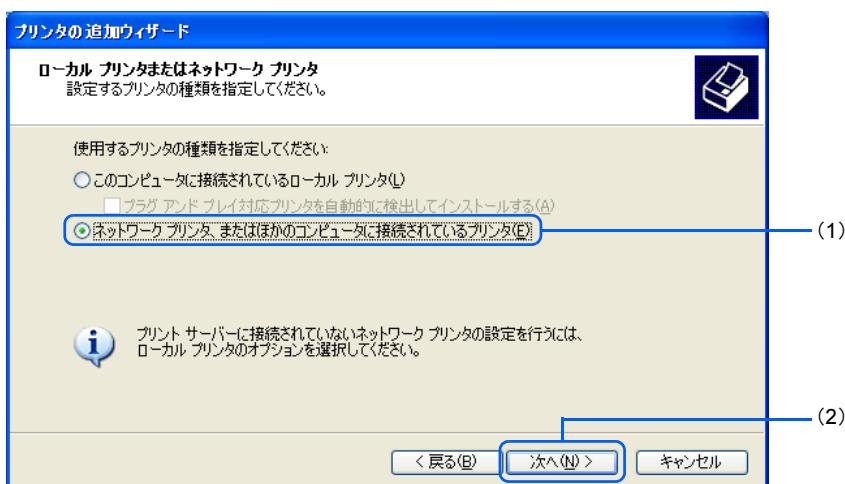
POINT

- IPP 印刷を行うユーザーを制限することができます。
設定方法については、「IPP 印刷を行うユーザーを制限する」(→ P.51) をご覧ください。

2003/XP/2000 の場合

プリンタドライバのインストールとポートの設定を行います。

- 1** プリンタの電源を入れます。
- 2** 管理者権限を持ったユーザーでログオンします。
- 3** 次の手順で、「プリンタの追加」ウィンドウを表示します。
 - 2003/XP の場合
 1. 「スタート」ボタン→「プリンタとFAX」の順にクリックします。
 2. 「プリンタのインストール」をクリックします。
 - 2000 の場合
 1. 「スタート」ボタン→「設定」→「プリンタ」の順にクリックします。
 2. 「プリンタの追加」をダブルクリックします。「プリンタの追加 ウィザード」 ウィンドウが表示されます。
- 4** 「次へ」をクリックします。
- 5** (1) 「ネットワークプリンタ、または他のコンピュータに接続されているプリンタ」を にし、(2) 「次へ」をクリックします。



- 6** (1) 「インターネット上または自宅 / 会社のネットワーク上のプリンタに接続する」を選択し、「URL」に次のように URL を入力して、(2) 「次へ」をクリックします。

http:// [プリンタの IP アドレス] /ipp (例 : http://192.168.100.100/ipp)



POINT

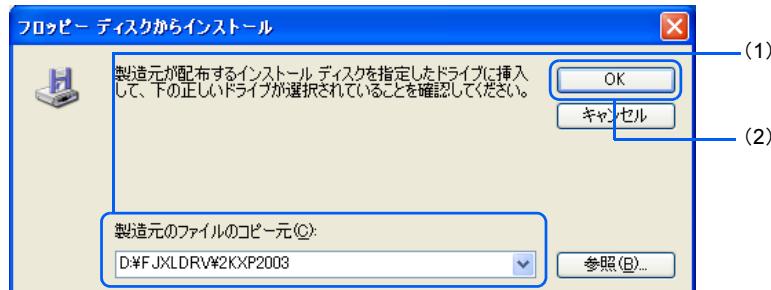
- ・プリンタに DNS 設定がされていれば、IP アドレスの代わりにホスト名を入力することもできます。

- 7** 「プリンタの追加ウィザード」ウィンドウで、「ディスク使用」をクリックします。

- 8** ⑧「Printia LASER プリンタユーティリティ」をパソコンにセットします。
「Printia LASER プリンタユーティリティ セットアップ」ウィンドウが自動的に表示されます。

- 9** メニューから「終了」をクリックします。

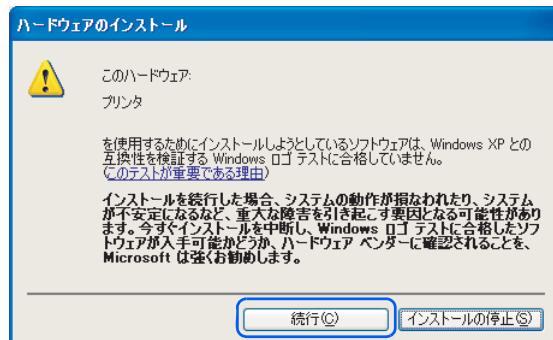
- 10** 「フロッピーディスクからインストール」ウィンドウで、(1)「製造元のファイルのコピー元」に「D:\FJXLDRV\2KXP2003」(CD-ROM ドライブが D: の場合)と入力し、(2)「OK」をクリックします。



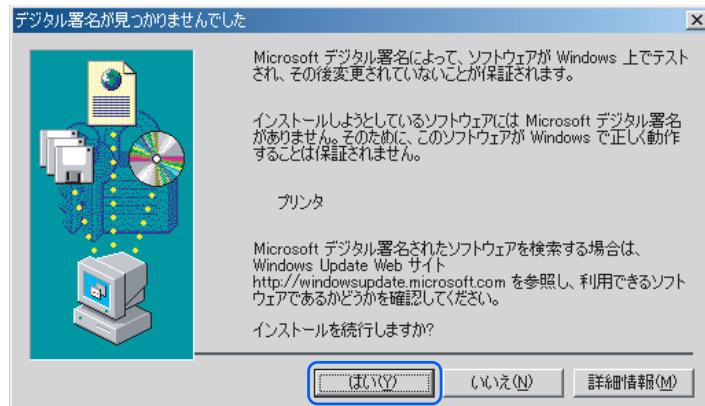
11 プリンタを選択し、「OK」をクリックします。

POINT

- 次のウィンドウが表示された場合は、「続行」をクリックしてください。

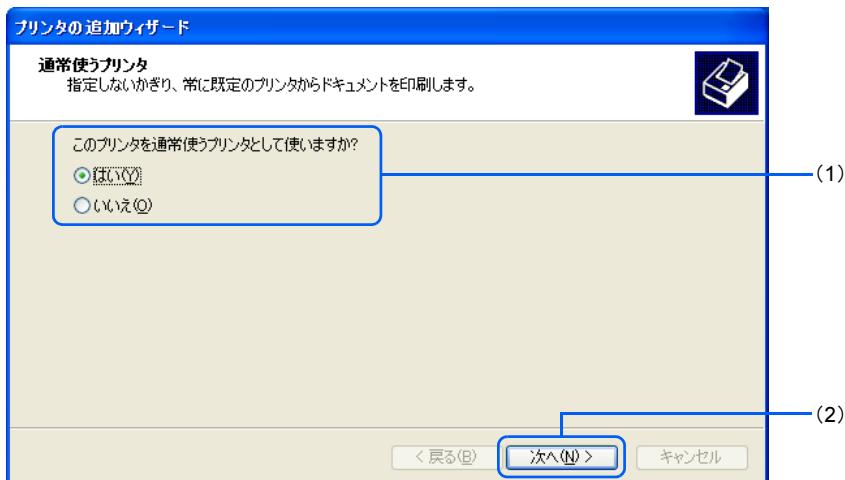


- 2000 で次のウィンドウが表示された場合は、「はい」をクリックしてください。



- 「ファイルの上書き確認」ウィンドウが表示された場合は、「はい」をクリックしてください。

12 (1) 通常使うプリンタに設定するかどうかを選択し、(2)「次へ」をクリックします。



13 「完了」をクリックします。

以上で設定は完了です。

次に、「Network Extension」をインストールします。

インストール方法については、「「Network Extension」をインストールする」(→ P.128) をご覧ください。

POINT

- IPP 印刷を行うユーザーを制限することができます。

設定方法については、「IPP 印刷を行うユーザーを制限する」(→ P.51) をご覧ください。

2

IPP 印刷を行うユーザーを制限する

「Printia LASER Internet Service」の管理者モードを利用して、あらかじめプリンタにユーザー名とパスワードを登録しておくことで、IPP印刷を行うユーザーを制限することができます。

重要

- 2000 ではアカウント機能をサポートしていないため、設定を変更しないでください。設定を変更すると印刷ができなくなります。

プリンタの設定（管理者のみ）

プリンタに、IPP 印刷を許可するユーザーのユーザー名とパスワードを登録します。登録には、「Printia LASER Internet Service」を利用します。

「Printia LASER Internet Service」の使い方について詳しくは、「Web ブラウザによるプリンタの管理（Printia LASER Internet Service）」(→ P.131) をご覧ください。

ユーザー名とパスワードの登録については、「認証」(→ P.184) をご覧ください。

パソコンの設定

1 印刷を行うプリンタを選択します。

■ 7 の場合

 (スタート) → 「デバイスとプリンター」の順にクリックします。

■ 2008 (R2 以外) / Vista の場合

「スタート」ボタンまたは (スタート) → 「コントロールパネル」→ 「ハードウェアとサウンド」の「プリンタ」の順に選択し、IPP 印刷を行うプリンタを選択します。

■ 2003/XP の場合

「スタート」ボタン→「プリンタとFAX」の順に選択し、IPP 印刷を行うプリンタを選択します。

2 「印刷設定」ウィンドウ、または「プロパティ」ウィンドウを開きます。

■ 7 の場合

使用するプリンタのアイコンを右クリックし、表示されるメニューから「プリンターのプロパティ」をクリックします。

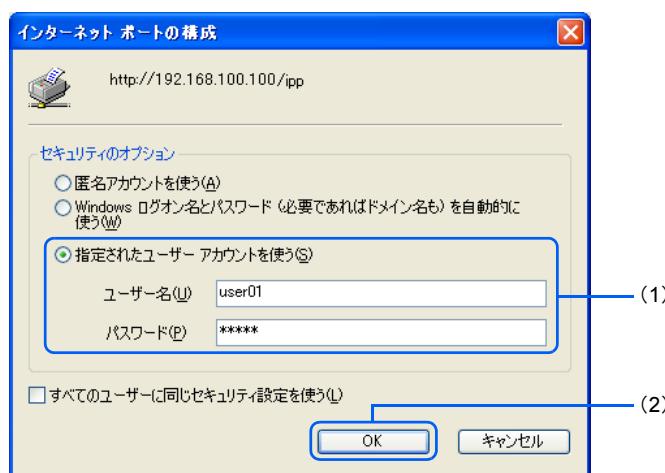
■ 2008(R2 以外)/Vista/2003/XP の場合

使用するプリンタのアイコンをクリックし、表示されるメニューから「ファイルメニュー」→「プロパティ」の順にクリックします。

3 「ポート」タブをクリックして、「印刷するポート」(<http://xxx.xxx.xxx.xxx/ipp>) を選択し、「ポートの構成」をクリックします。

4 (1) 「指定されたユーザー アカウントを使う」を選択して、「ユーザー名」と「パスワード」を入力し、(2) 「OK」をクリックします。

「Printia LASER Internet Service」の「IPP」の「認証」(→ P.184) に登録してある「ユーザー名」と「パスワード」を入力してください。



POINT

- ・「匿名アカウントを使う」「Windows ログオン名とパスワード（必要であればドメイン名も）を自動的に使う」の設定は、本製品ではサポートしていません。

プリンタの「プロパティ」ウィンドウに戻ります。

5 「OK」をクリックします。

3

第3章

ネットワークを利用しないプリンタ の接続

この章では、ネットワークを利用せずにプリンタを接続し（プリンタとパソコンを直接接続し）、プリンタドライバをインストールする方法を説明します。

1 接続インターフェースについて	54
2 USBインターフェースで接続する	55
3 パラレルインターフェースで接続する	67

パソコンとプリンタを直接接続する場合、USBインターフェース、またはパラレルインターフェースを利用します。お使いのパソコンが備えるインターフェースに合わせて、接続方法を選択してください。

プリンタが備えるインターフェースおよび接続方法については、『ハードウェアガイド』の「第2章 プリンタを設置・接続する」をご覧ください。お使いのパソコンが備えるインターフェースについては、パソコンに添付のマニュアルをご覧ください。

USBインターフェースによる接続

表：USBインターフェース接続のための動作条件、およびインストール方法

項目	内容
パソコン	USBインターフェースを搭載しているPC/AT互換機
OS	7/2008/Vista/2003/XP/2000
インストール方法	プラグアンドプレイによって、インストールを行います。

パラレルインターフェースによる接続

表：パラレルインターフェース接続のための動作条件、およびインストール方法

項目	内容
パソコン	双方向パラレルインターフェースをサポートするPC/AT互換機
OS	7/2008/Vista/2003/XP/2000
インストール方法	プラグアンドプレイによって、インストールを行います。

2 USB インターフェースで接続する

プラグアンドプレイでプリンタドライバをインストールします。

- ・「7/2008 R2 の場合」(→ P.55)
- ・「2008 (R2 以外) /Vista の場合」(→ P.58)
- ・「2003/XP の場合」(→ P.62)
- ・「2000 の場合」(→ P.64)

7/2008 R2 の場合

3

◎「Printia LASER プリンタユーティリティ」からプリンタドライバのインストーラを起動してインストールを行います。

インストール手順は、USB 接続の場合と、パラレルインターフェース接続の場合で、共通です。

重要

- ・プリンタとパソコンを接続する前に、プリンタドライバをインストールする必要があります。セットアッププログラムで「プリンタをインストールする準備ができました。」と表示されてから、プリンタとパソコンを接続してください。
- ・プリンタドライバのインストール前にプリンタとパソコンを接続してしまった場合、セットアッププログラムによるプリンタドライバのインストールはできません。この場合は、「USB インターフェースのときにはプリンタが検出されない」(→ P.203) の手順で、インストールを行ってください。

1 管理者権限を持ったユーザーでログオンします。

2 ◎「Printia LASER プリンタユーティリティ」をパソコンにセットします。

「Printia LASER プリンタユーティリティ セットアップ」ウィンドウが自動的に表示されます。

POINT

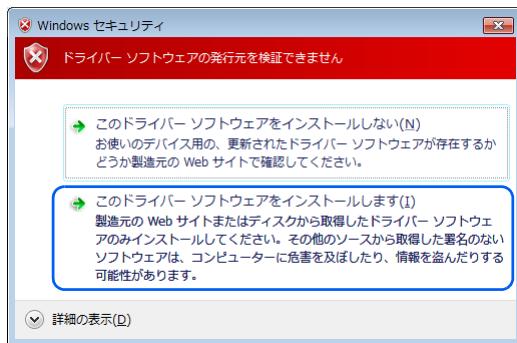
- ・「Printia LASER プリンタユーティリティ セットアップ」ウィンドウが自動的に表示されない場合は、「エクスプローラ」などを使用して CD-ROM を開き、一番上の階層にある「XLSTART.EXE」をダブルクリックしてください。
- ・自動再生時や「XLSTART.EXE」をダブルクリックしたときに、「自動再生」ウィンドウが表示されます。実行されるプログラムが「XLSTART.EXE」であることを確認し、「Xlstart.exe の実行」をクリックしてください。
- ・「次の不明な発行元からのプログラムにこのコンピュータへの変更を許可しますか?」と表示されたら、「はい」をクリックします。

3 メニューから「USB/ パラレルでプリンタを使用する」をクリックします。

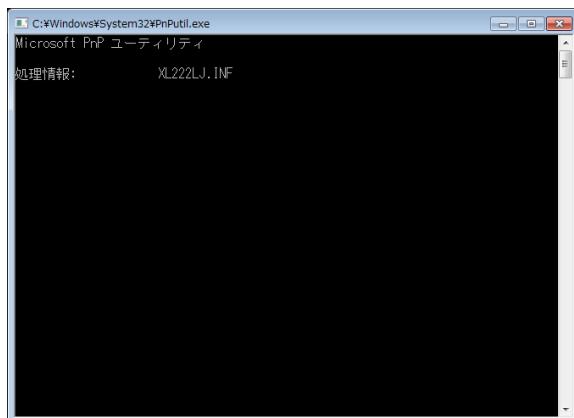


「ユーザーアカウント制御」画面が表示されたら、「はい」をクリックします。

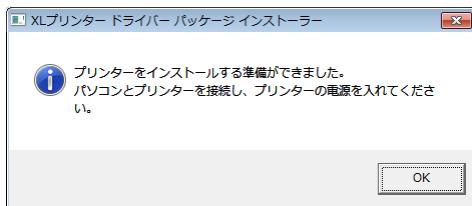
4 「Windows セキュリティ」ウィンドウが表示された場合には、「このドライバー ソフトウェアをインストールします」をクリックします。



5 インストール処理が完了するまで（コマンドプロンプトの画面が閉じるまで）待ちます。



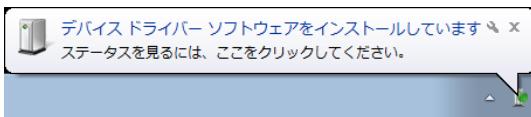
- 6** プラグアンドプレイの準備が完了したことを示すメッセージが表示されます。



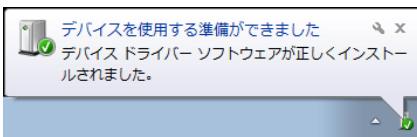
- 7** プリンタの電源を入れてから、パソコンとプリンタをプリンタ USB ケーブルで接続します。

プリンタにプリンタ USB ケーブルを接続する方法については、『ハードウェアガイド』の「第2章 プリンタを設置・接続する」をご覧ください。

- 8** 画面右下の通知領域に「デバイス ドライバー ソフトウェアをインストールしています」と表示されます。



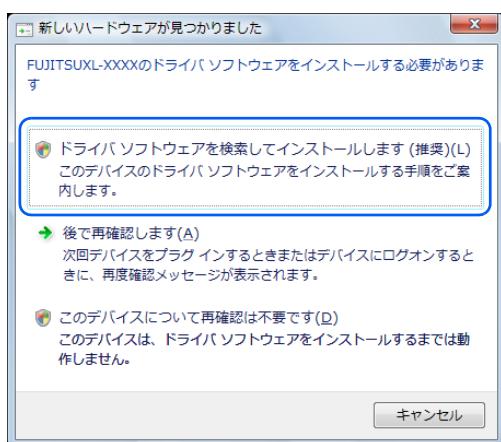
- 9** しばらくすると、「デバイス ドライバー ソフトウェアが正しくインストールされました」と表示されます。



- 10** 「デバイスとプリンター」フォルダーにプリンターアイコンが追加されていれば、プリンタードライバーのインストールは完了です。

2008 (R2 以外) /Vista の場合

- 1** 管理者権限を持ったユーザーでログオンします。
- 2** プリンタの電源を入れてから、パソコンとプリンタをプリンタ USB ケーブルで接続します。
プリンタにプリンタ USB ケーブルを接続する方法については、『ハードウェアガイド』の「第2章 プリンタを設置・接続する」をご覧ください。
- 3** 「ドライバソフトウェアを検索してインストールします（推奨）」をクリックします。

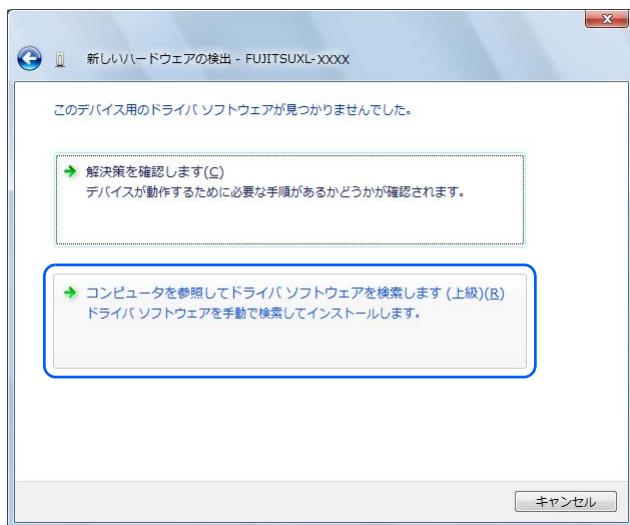


Vista の場合は、「続行するにはあなたの許可が必要です」と表示されます。Printia XL シリーズのプリンタドライバであることを確認し、「続行」をクリックしてください。

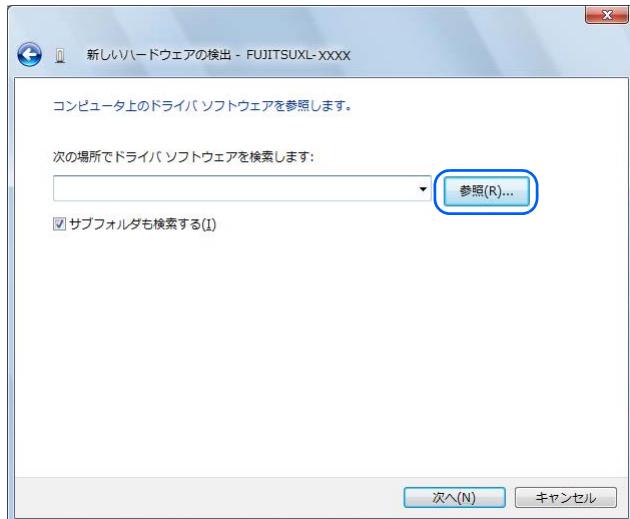
- 4** 「ディスクはありません。他の方法を試します」をクリックします。



5 「コンピュータを参照してドライバソフトウェアを検索します（上級）」をクリックします。



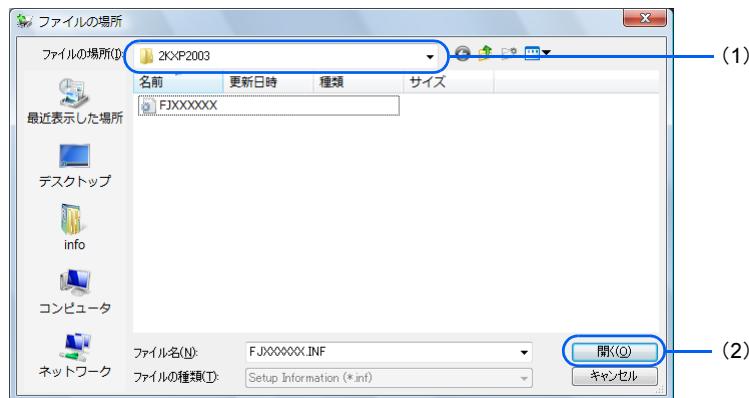
6 「参照」をクリックします。



7 ◎「Printia LASER プリンタユーティリティ」をパソコンにセットします。
「Printia LASER プリンタユーティリティ セットアップ」ウィンドウが自動的に表示されます。

8 メニューから「終了」をクリックします。

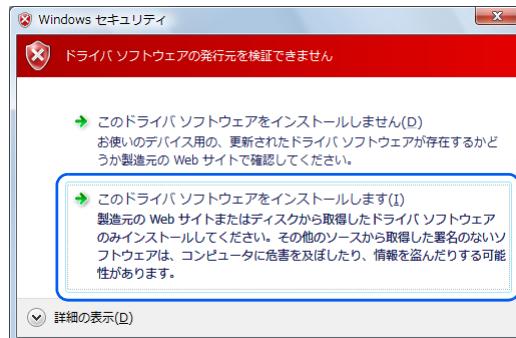
- 9** (1) プリンタドライバが格納されているフォルダ「D:\FJXLDRV\2KXP2003 (2008 の 64-bit、Vista の 64 ビット版の場合 D:\FJXLDRV\x64)」(CD-ROM ドライブが D: の場合) を選択し、(2) 「開く」をクリックします。



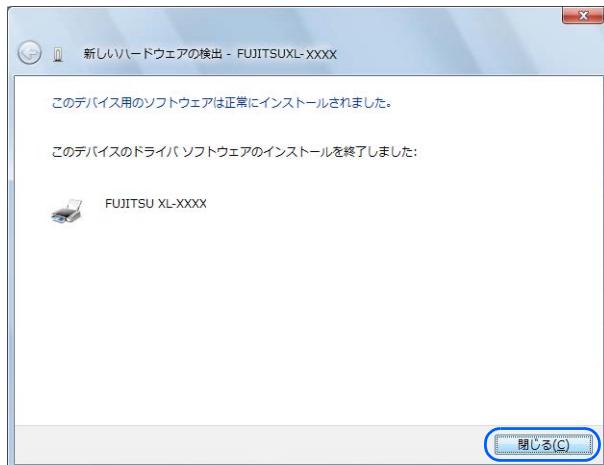
「新しいハードウェアの検出」ウィンドウに戻ります。

- 10** 「次の場所でドライバソフトウェアを検索します」に選択したフォルダが入力されていることを確認し、「次へ」をクリックします。

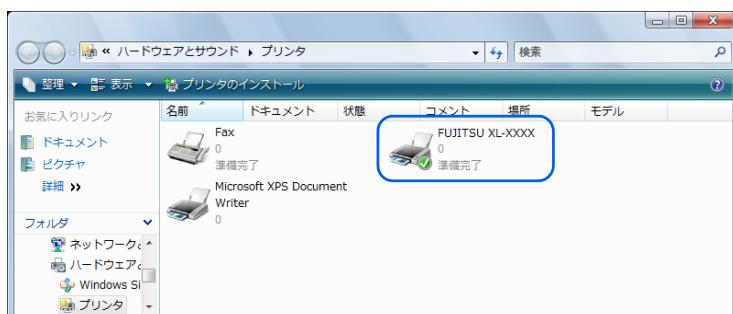
- 11** 「このドライバソフトウェアをインストールします」をクリックします。



12 「閉じる」をクリックします。



「プリンタ」フォルダにプリンタアイコンが追加されれば、プリンタドライバのインストールは完了です。



13 Windows を再起動します。

■ 2008 (R2 以外) の場合

「スタート」ボタン → | | の → 「再起動」の順にクリックし、「シャットダウンイベントの追跡ツール」でオプションを選択して「OK」をクリックします。

■ Vista の場合

(スタート) → | | の → 「再起動」の順にクリックします。

以上で、プリンタドライバのインストールは完了です。

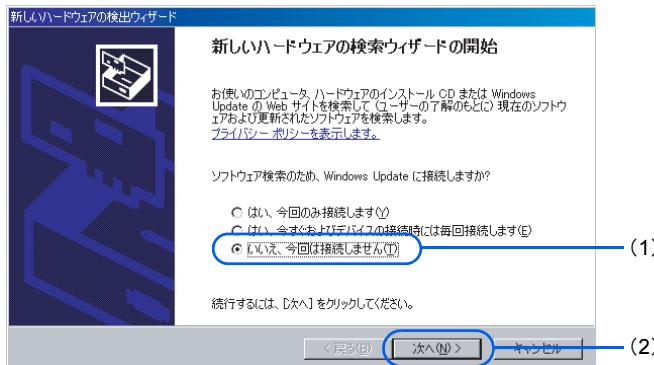
2003/XP の場合

- 1 管理者権限でログオンします。**
- 2 プリンタの電源を入れてから、パソコンとプリンタをプリンタ USB ケーブルで接続します。**

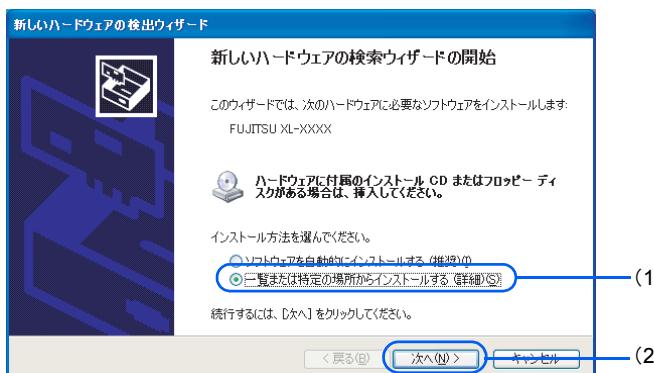
プリンタにプリンタ USB ケーブルを接続する方法については、『ハードウェアガイド』の「第2章 プリンタを設置・接続する」をご覧ください。

画面右下の通知領域に「新しいハードウェアが見つかりました」と表示された後、「新しいハードウェアの検出ウィザード」ウィンドウが表示されます。なお、環境によっては、「新しいハードウェアの検出ウィザード」ウィンドウが表示されない場合があります。この場合は、手順4(→P.62)に進んでください。

- 3 (1)「いいえ、今回は接続しません」を選択し、(2)「次へ」をクリックします。**

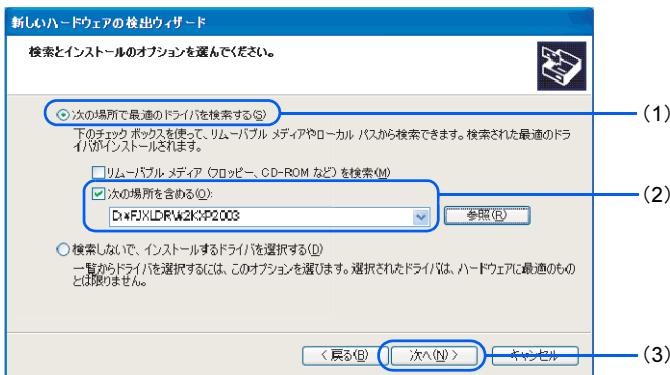


- 4 (1)「一覧または特定の場所からインストールする(詳細)」を選択し、(2)「次へ」をクリックします。**



- 5 ④「Printia LASER プリンタユーティリティ」をパソコンにセットします。**
「Printia LASER プリンタユーティリティ セットアップ」ウィンドウが自動的に表示されます。
- 6 メニューから「終了」をクリックします。**

- 7 (1) 「次の場所で最適のドライバを検索する」を選択し、(2) 「次の場所を含める」を にして「D:\FJXLDRV\2KXP2003 (x64 Edition の場合は D:\FJXLDRV\x64)」(CD-ROM ドライブが D: の場合) と入力して、(3) 「次へ」をクリックします。

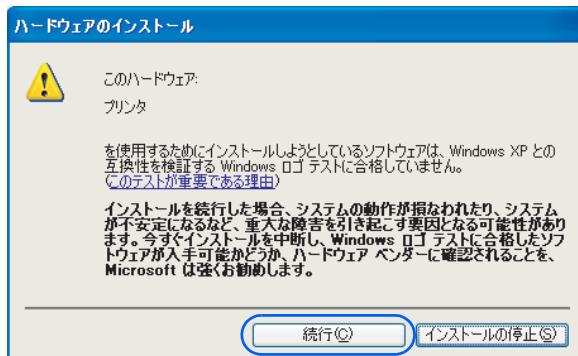


POINT

- 環境によっては、次のウィンドウが表示される場合があります。
- 次のウィンドウが表示されたときは、「バージョン」が新しいほうをクリックし、「次へ」をクリックしてください。



- 次のウィンドウが表示されたときは、「続行」をクリックしてください。



- 「ファイルが必要」ウィンドウが表示されたときは、「コピー元」に「D:\Fjxldrv\2KXP2003 (x64 Edition の場合は D:\FJXLDRV\x64)」(CD-ROM ドライブが D: の場合) を入力し、「OK」をクリックしてください。

8 必要なソフトウェアがインストールされたことを確認し、「完了」をクリックします。

9 Windows を再起動します。

■ 2003 の場合

「スタート」ボタン→「シャットダウン」の順にクリックし、「シャットダウンイベントの追跡ツール」でオプションを選択して「OK」をクリックします。

■ XP の場合

「スタート」ボタン→「シャットダウン」または「終了オプション」の順にクリックして、Windows を再起動します。

以上で、プリンタドライバのインストールは完了です。

2000 の場合

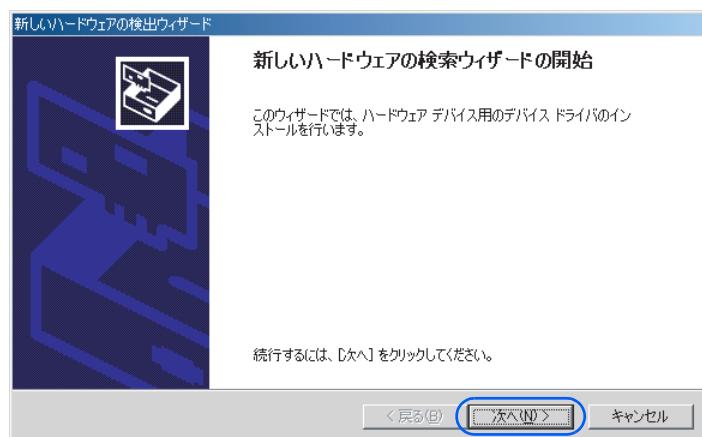
1 Windows を起動し、管理者権限でログオンします。

2 プリンタの電源を入れてから、パソコンとプリンタをプリンタ USB ケーブルで接続します。

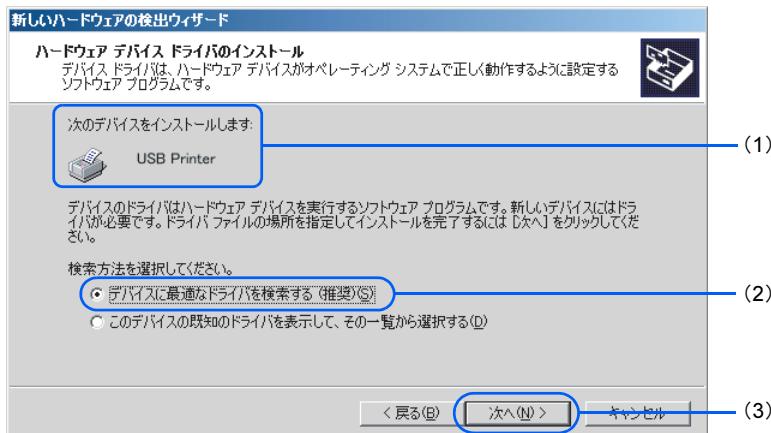
プリンタにプリンタ USB ケーブルを接続する方法については、『ハードウェアガイド』の「第 2 章 プリンタを設置・接続する」をご覧ください。

「新しいハードウェアの検出ウィザード」ウィンドウが表示されます（表示されるまでに 1 ~ 2 分かかることがあります）。

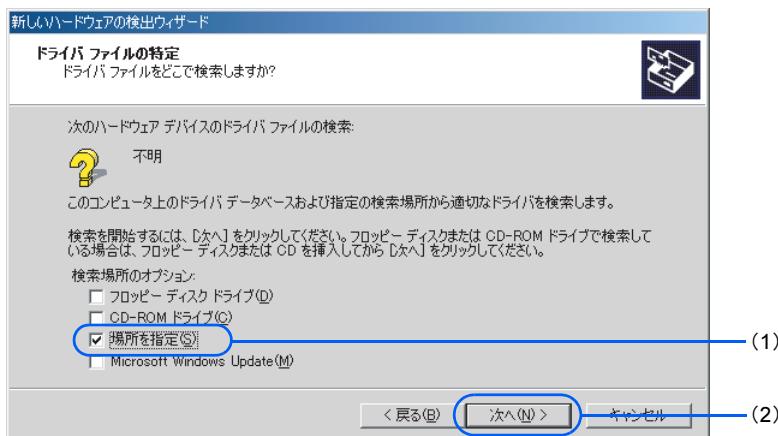
3 「次へ」をクリックします。



- 4** (1) 「次のデバイスをインストールします」と表示されていることを確認し、(2)「デバイスに最適なドライバを検索する（推奨）」を選択して、(3)「次へ」をクリックします。



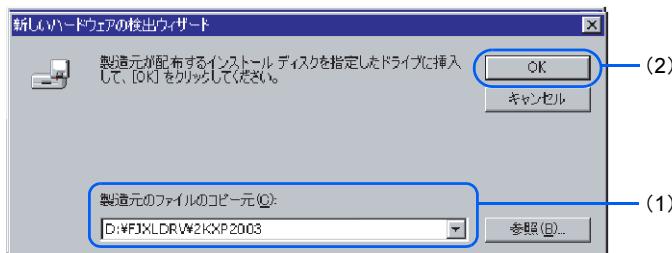
- 5** (1) 「場所を指定」を にし、(2) 「次へ」をクリックします。



- 6** ⑤「Printia LASER プリンタユーティリティ」をパソコンにセットします。
「Printia LASER プリンタユーティリティ セットアップ」ウィンドウが自動的に表示されます。

- 7** メニューから「終了」をクリックします。

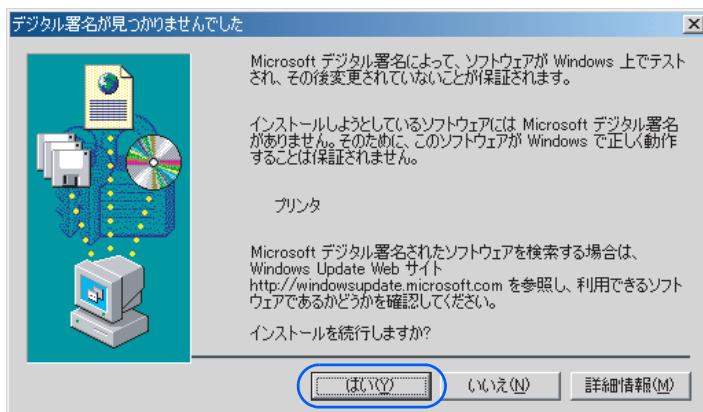
- 8** (1) 「製造元のファイルのコピー元」に「D:\FJXLDRV\2KXP2003」(CD-ROM ドライブが D: の場合) と入力して、(2) 「OK」をクリックします。



- 9** 「ドライバファイルの検索」ウィンドウで「次のデバイスのドライバが検索されました」と表示されていることを確認し、「次へ」をクリックします。

POINT

- 次のウィンドウが表示されたときは、「はい」をクリックしてください。



- 10** 必要なソフトウェアがインストールされたことを確認し、「完了」をクリックします。

- 11** 「スタート」ボタン→「シャットダウン」の順にクリックし、Windows を再起動します。

以上で、プリンタドライバのインストールは完了です。

3 パラレルインターフェースで接続する

プラグアンドプレイでプリンタドライバをインストールします。

- ・「7/2008 R2 の場合」(→ P.67)
- ・「2008 (R2 以外) /Vista の場合」(→ P.67)
- ・「2003/XP の場合」(→ P.68)
- ・「2000 の場合」(→ P.68)

7/2008 R2 の場合

3

◎「Printia LASER プリンタユーティリティ」からプリンタドライバのインストーラを起動してインストールを行います。

インストール手順については、「USB インターフェースで接続する」の「7/2008 R2 の場合」(→ P.55) をご覧ください。

重要

- ・プリンタとパソコンを接続する前に、プリンタドライバをインストールする必要があります。セットアッププログラムで「プリンタをインストールする準備ができました。」と表示されてから、プリンタとパソコンを接続してください。
- ・プリンタドライバのインストール前にプリンタとパソコンを接続してしまった場合、セットアッププログラムによるプリンタドライバのインストールはできません。この場合は、「パラレルインターフェースのときにプリンタが検出されない」(→ P.206) の手順で、インストールを行ってください。

2008 (R2 以外) /Vista の場合

- 1 パソコンとプリンタの電源を切ります。
 - 2 パソコンとプリンタをパラレルケーブルで接続します。
 - 3 プリンタの電源を入れます。
 - 4 パソコンの電源を入れ、管理者権限を持ったユーザーでログオンします。
- プリンタにパラレルケーブルを接続する方法については、『ハードウェアガイド』の「第2章 プリンタを設置・接続する」をご覧ください。
以降の手順は、USB インターフェースで接続する場合と同じです。「2008 (R2 以外) /Vista の場合」の手順 3 (→ P.58) 以降をご覧ください。

2003/XP の場合

- 1** パソコンとプリンタの電源を切ります。
- 2** パソコンとプリンタをパラレルケーブルで接続します。
- 3** プリンタの電源を入れます。
- 4** パソコンの電源を入れ、管理者権限を持ったユーザーでログオンします。
プリンタにパラレルケーブルを接続する方法については、『ハードウェアガイド』の「第2章 プリンタを設置・接続する」をご覧ください。
以降の手順は、USB インターフェースで接続する場合と同じです。「2003/XP の場合」の手順 3 (→ P.62) 以降をご覧ください。

2000 の場合

- 1** パソコンとプリンタの電源を切ります。
- 2** パソコンとプリンタをパラレルケーブルで接続します。
- 3** プリンタの電源を入れます。
- 4** パソコンの電源を入れ、管理者権限を持ったユーザーでログオンします。
プリンタにパラレルケーブルを接続する方法については、『ハードウェアガイド』の「第2章 プリンタを設置・接続する」をご覧ください。
以降の手順は、USB インターフェースで接続する場合と同じです。「2000 の場合」の手順 3 (→ P.64) 以降をご覧ください。

4

第4章 プリンタ共有の設定

この章では、プリンタをサーバ上で共有し、他のパソコンから印刷するために必要な設定について説明します。

1 設定の概要	70
2 サーバ側を設定する	71
3 クライアント側を設定する	75

1

設定の概要

サーバに接続したプリンタを共有プリンタとして設定し、ネットワーク上の他のパソコンから印刷できるようにします。

共有プリンタを利用するためには、サーバとクライアントのそれぞれで設定が必要です。また、クライアント側の設定方法には、「ネットワークインストール」と「CD-ROMからのインストール」の2種類があり、どちらの方法でも設定できます。

- ・ネットワークインストール

プリンタドライバのインストールを◎「Printia LASER プリンタユーティリティ」からではなく、サーバから行います。

- ・CD-ROMからのインストール

プリンタドライバのインストールを◎「Printia LASER プリンタユーティリティ」から行います。

2 サーバ側を設定する

ここでは、プリントサーバとして運用するパソコンで行う設定について説明します。

- 1 「ネットワークを利用しないプリンタの接続」(→ P.53) の手順で、プリンタドライバをインストールします。**
- 2 管理者権限を持ったユーザーでログオンします。**
- 3 次の手順で、プリンタの「プロパティ」ウィンドウを表示します。**

■ 7/2008 R2 の場合

1.  (スタート) → 「デバイスとプリンター」の順にクリックします。
2. 共有するプリンタを右クリックし、「プリンターのプロパティ」を選択します。
3. 「共有」タブを選択します。

■ 2008 (R2 以外) の場合

1. 「スタート」ボタン→「コントロールパネル」の順にクリックします。
2. 「ハードウェアとサウンド」の「プリンタ」をクリックします。
3. 共有するプリンタを選択し、「ファイル」メニュー→「共有」の順にクリックします。

■ Vista の場合

1.  (スタート) → 「コントロールパネル」の順にクリックします。
2. 「ハードウェアとサウンド」の「プリンタ」をクリックします。
3. 共有するプリンタを右クリックし、表示されるメニューから「共有」をクリックします。

■ 2003/XP の場合

1. 「スタート」ボタン→「プリンタとFAX」の順にクリックします。
2. 共有するプリンタを選択します。
3. 「ファイル」メニュー→「共有」の順にクリックします。

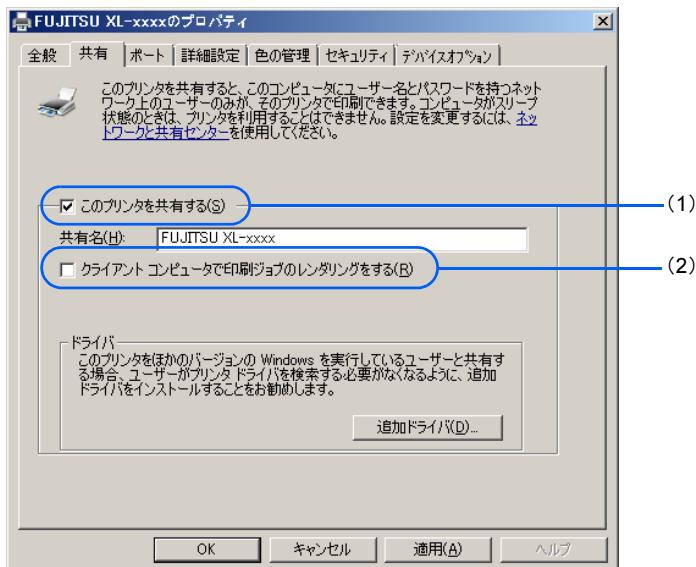
■ 2000 の場合

1. 「スタート」ボタン→「設定」→「プリンタ」の順にクリックします。
2. 共有するプリンタを選択します。
3. 「ファイル」メニュー→「共有」の順にクリックします。

4 共有設定を行います。

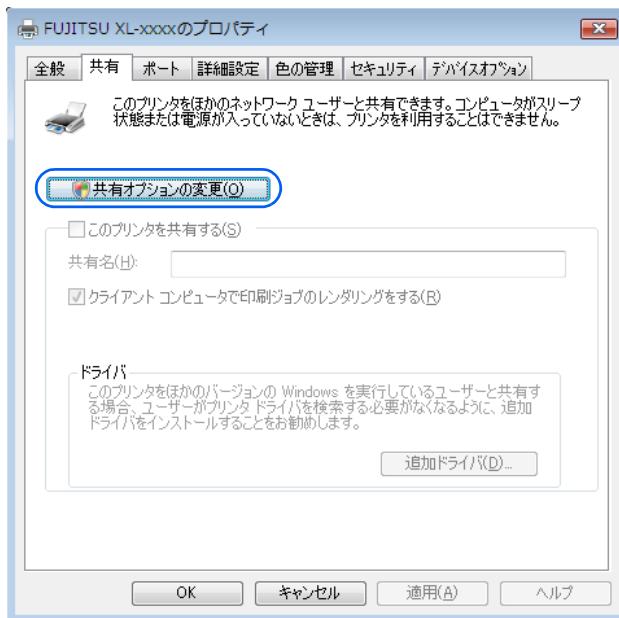
■ 2008 の場合

1. (1)「このプリンタを共有する」をクリックして にし、(2)「クライアントコンピュータで印刷ジョブのレンダリングをする」をクリックして にします。



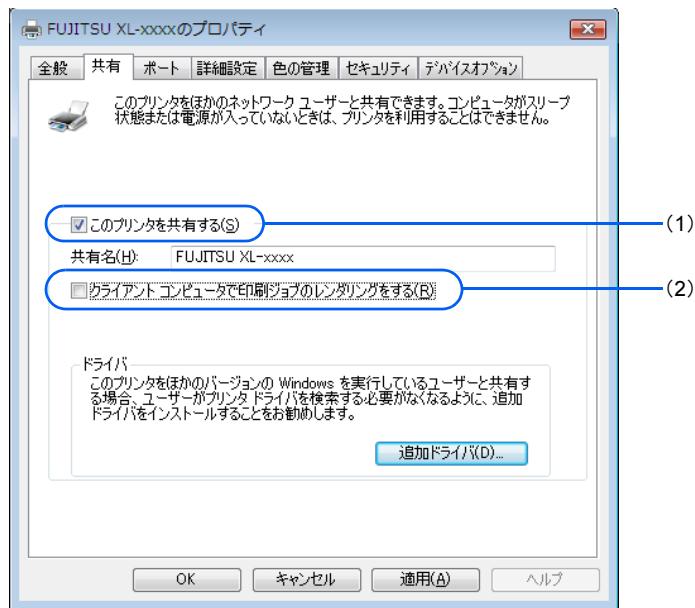
■ 7/Vista の場合

1. 「共有オプションの変更」をクリックします。



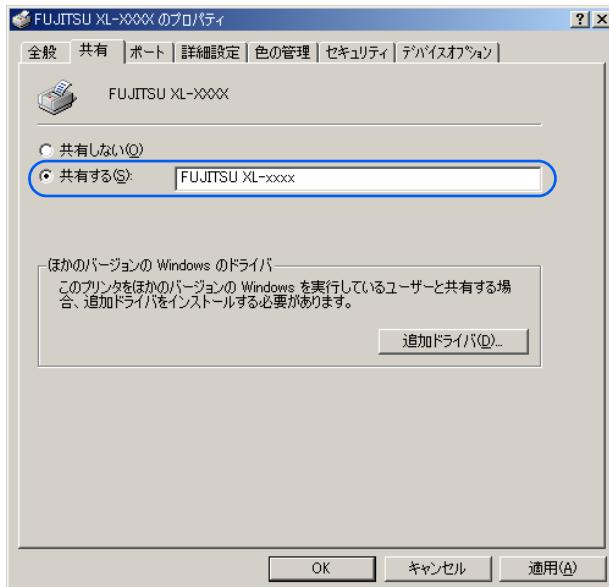
2. 「続行するにはあなたの許可が必要です」と表示されたら、印刷設定の変更であることを確認し、「続行」をクリックします。

3. (1)「このプリンタを共有する」をクリックして にし、(2)「クライアントコンピュータで印刷ジョブのレンダリングをする」をクリックして にします。



■ 2003/XP/2000 の場合

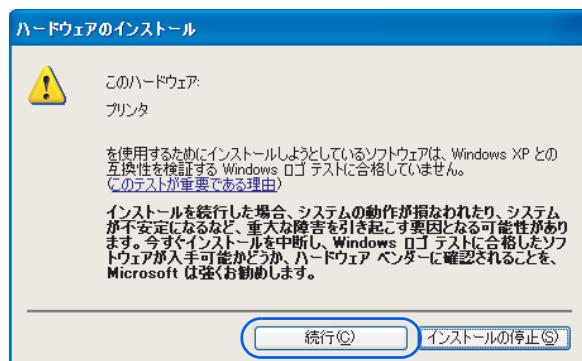
1. 「このプリンタを共有する」または「共有する」を選択し、共有プリンタ名を入力します。
共有プリンタ名は、他のユーザーがネットワークで情報を見るときに表示されます。



5 「OK」をクリックします。

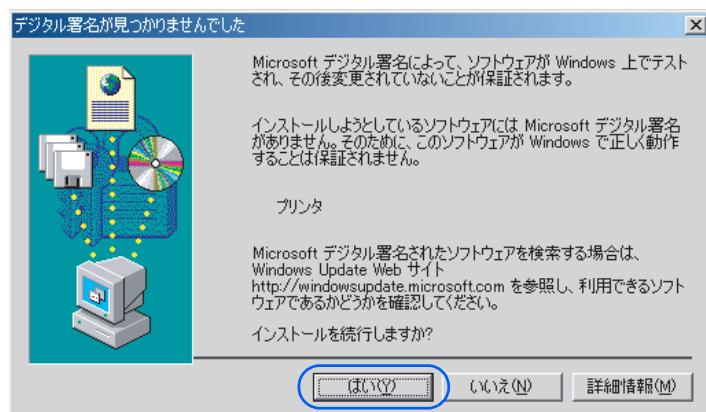
POINT

- 環境によっては、次のウィンドウが表示される場合があります。
- 2003/XP の場合
「ハードウェアのインストール」ウィンドウが表示されたときは、「続行」をクリックしてください。



- 2000 の場合

「デジタル署名が見つかりませんでした」ウィンドウが表示されたときは、「はい」をクリックしてください。



以上で、サーバ側の設定は完了です。

3 クライアント側を設定する

ここでは、クライアントとして運用するパソコンで行う設定について説明します。クライアント側の設定方法には、「ネットワークインストール」と「CD-ROM からのインストール」の2種類があり、どちらの方法でも設定できます。

- ・「ネットワークインストール」(→ P.75)
- ・「CD-ROM からのインストール」(→ P.76)

POINT

- ・クライアント側の設定を行う前に、サーバ側で共有プリンタの設定を行っておいてください。

ネットワークインストール

4

1 共有プリンタのサーバを検索します。

■ 7/2008 R2 の場合

1. 「エクスプローラー」を起動します。
2. 「ネットワーク」をクリックします。
3. ウィンドウ右上にある検索ボックスに共有プリンタのサーバ名を入力し、検索を行います。

■ 2008 (R2 以外) /Vista の場合

1. 「スタート」ボタンまたは (スタート) → 「ネットワーク」の順にクリックします。
2. ウィンドウ右上にある検索ボックスに共有プリンタのサーバ名を入力し、検索を行います。

■ 2003/XP/2000 の場合

1. 「エクスプローラー」を起動します。
2. 「マイネットワーク」を右クリックし、表示されるメニューから「コンピュータの検索」をクリックします。
3. 「コンピュータ名」に共有プリンタのサーバ名を入力し、「検索の開始」をクリックします。

2 検索結果から、共有プリンタのサーバをダブルクリックします。

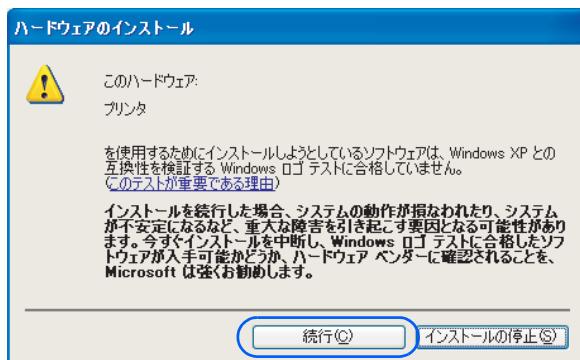
利用可能な共有プリンタが表示されます。

3 印刷を行いたい共有プリンタをダブルクリックし、ウィンドウの指示に従ってインストールを行います。

ファイルがコピーされ、「プリンタ」フォルダに新しくプリンタが追加されれば、プリンタドライバのインストールは完了です。

POINT

- ・環境によっては、次のウィンドウが表示される場合があります。
- ・次のウィンドウが表示されたときは、「続行」をクリックしてください。



以上で、ネットワークインストールによるクライアント側の設定は完了です。

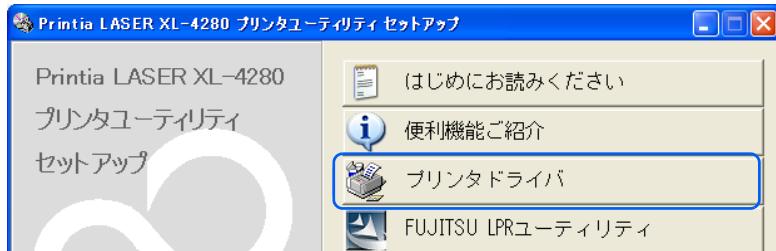
CD-ROM からのインストール

- ① 「Printia LASER プリンタユーティリティ」をパソコンにセットします。
「Printia LASER プリンタユーティリティ セットアップ」ウィンドウが自動的に表示されます。

POINT

- ・「Printia LASER プリンタユーティリティ セットアップ」ウィンドウが自動的に表示されない場合は、「エクスプローラ」などを使用して CD-ROM を開き、一番上の階層にある「XLSTART.EXE」をダブルクリックしてください。「Printia LASER プリンタユーティリティ セットアップ」ウィンドウが表示されます。
- ・2008/Vista の場合、自動再生時や「XLSTART.EXE」をダブルクリックしたときに、「自動再生」ウィンドウが表示されます。実行されるプログラムが「XLSTART.EXE」であることを確認し、「Xlstart.exe の実行」をクリックしてください。

- ② メニューから「LAN でプリンタを使用する」または「プリンタドライバ」をクリックします。



(画面は OS により異なります)

■ 7/2008 R2 の場合

メニューから「LAN でプリンタを使用する」をクリックします。

「ユーザー アカウント制御」画面が表示されたら、「はい」をクリックします。インストーラが起動し、「ローカル / ネットワーク」 ウィンドウが表示されます。

■ 2008 (R2 以外) / Vista の場合

メニューから「プリンタ ドライバ」をクリックします。

「プログラムを実行するにはあなたの許可が必要です」と表示されたら、「続行」をクリックします。インストーラが起動し、「ローカル / ネットワーク」 ウィンドウが表示されます。

■ 2003/XP/2000 の場合

メニューから「プリンタ ドライバ」をクリックします。

インストーラが起動し、「ローカル / ネットワーク」 ウィンドウが表示されます。

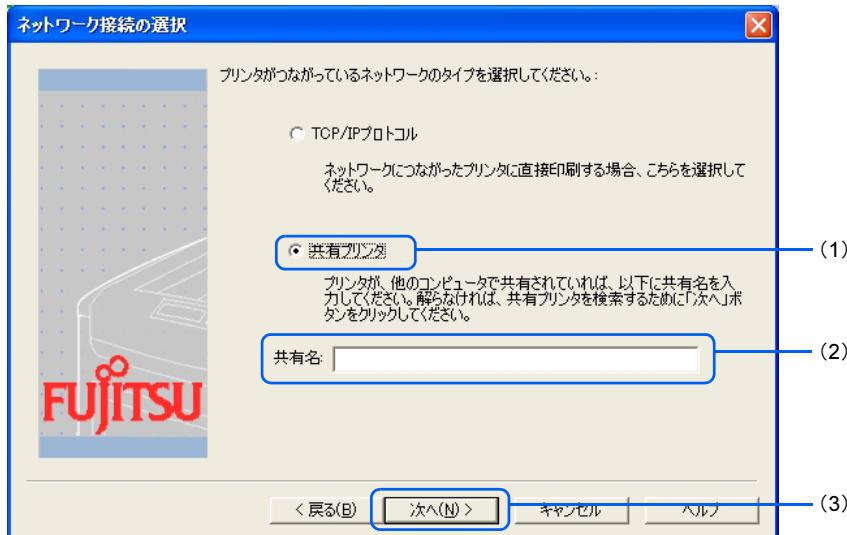
3 (1) 「ネットワークプリンタ」を選択して、(2) 「次へ」をクリックします。



4

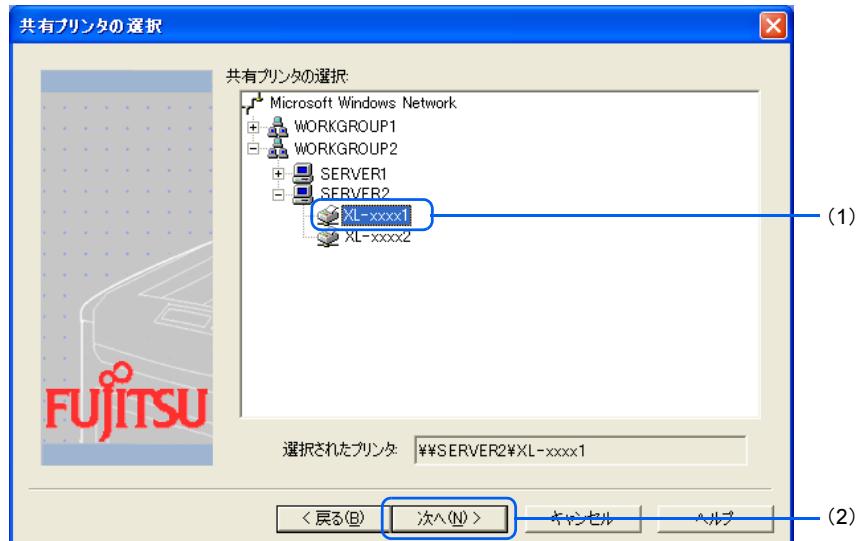
4 (1) 「共有プリンタ」を選択し、(2) 「共有名」を入力して、(3) 「次へ」をクリックします。

「共有名」がわからない場合は、何も入力しないで「次へ」をクリックしてください。



「共有プリンタの選択」 ウィンドウが表示されます。

5 (1) ネットワーク上の共有プリンタを選択し、(2) 「次へ」をクリックします。

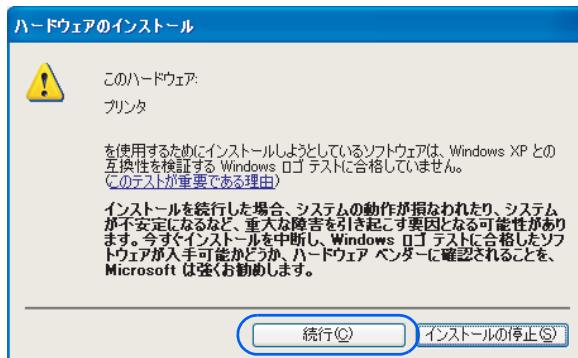


- 6** (1) 必要に応じてプリンタ名を変更し、(2) 通常使うプリンタにするかどうか選択し、(3) 「次へ」をクリックします。



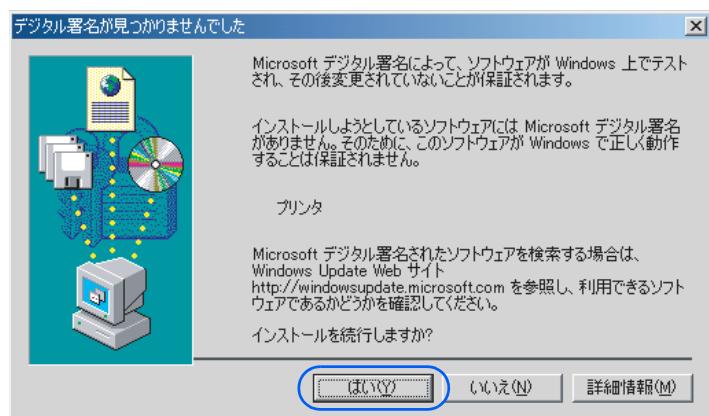
POINT

- 環境によっては、次のウィンドウが表示される場合があります。
- 2003/XP の場合
「ハードウェアのインストール」ウィンドウが表示されたときは、「続行」をクリックしてください。



・ 2000 の場合

「デジタル署名が見つかりませんでした」ウィンドウが表示されたときは、「はい」をクリックしてください。



7 「完了」をクリックします。

「コンピュータの再起動」ウィンドウが表示された場合は、「再起動する」を選択し、「完了」をクリックします。



以上で、CD-ROM からのインストールによるクライアント側の設定は完了です。

5 運用編

第5章

プリンタドライバの機能と利用方法

この章では、プリンタドライバがもつ機能と、その利用方法について説明します。

1 印刷するには	82
2 印刷を中止するには	84
3 プリンタドライバで設定できる内容	86
4 プリンタドライバを更新／削除するには	106
5 プリンタドライバのバージョンを確認するには	112

1 印刷するには

アプリケーションで作成したデータを実際に印刷するときの操作は、お使いのアプリケーションによって異なりますが、ここでは一例を説明します。

- 1 アプリケーションでデータを作成するか、開きます。
- 2 「ファイル」メニュー→「印刷」の順にクリックします。
「印刷」 ウィンドウが表示されます。
- 3 (1) プリンタが正しく選択されていることを確認し、(2) 「プロパティ」をクリックします。



POINT

- ・アプリケーションによっては、「プロパティ」が「詳細設定」と表示されたり、プロパティ ウィンドウのタブが「印刷」 ウィンドウ内に表示されたりします。詳しくは、お使いのアプリケーションのマニュアルをご覧ください。

4 各項目を設定し、「OK」をクリックします。



OSにより画面、表示内容は異なります。

- 各設定項目についての詳しい説明は、プリンタドライバの「ヘルプ」、または「プリンタドライバで設定できる内容」（→ P.86）をご覧ください。
- 用紙をセットする方法については、『ハードウェアガイド』の「第4章 日常の操作」をご覧ください。

5 「印刷」ウィンドウで「OK」をクリックします。

印刷が開始されます。

2 印刷を中止するには

オンラインランプが点滅し、印刷が開始された後に印刷を中止する方法を説明します。

印刷を中止する方法には、次の4つがあります。

- ・「プリンタ」フォルダまたは「プリンタとFAX」フォルダのアイコンから中止する
「デバイスとプリンター」フォルダ、「プリンタ」フォルダ、または「プリンタとFAX」フォルダのアイコンから中止する（→P.84）をご覧ください。
- ・「Printia Laser Internet Service」から中止する
「ジョブリストページ」（→P.186）をご覧ください。
- ・「FUJITSU LPR ユーティリティ」から中止する
LPR印刷を行っている場合は、「FUJITSU LPR ユーティリティ」で印刷を中止できます。「ジョブの表示、削除、転送」（→P.120）をご覧ください。
- ・オペレータパネルの「リセット」スイッチを押して中止する
オペレータパネルの「リセット」スイッチの位置については、『ハードウェアガイド』の「第5章 オペレータパネルの操作」をご覧ください。

「デバイスとプリンター」フォルダ、「プリンタ」フォルダ、または「プリンタとFAX」フォルダのアイコンから中止する

1 「プリンタ」フォルダ、または「プリンタとFAX」フォルダを開きます。

■ 7/2008 R2 の場合

1.  (スタート) → 「デバイスとプリンター」の順にクリックします。

■ 2008 (R2 以外) / Vista の場合

1. 「スタート」ボタンまたは (スタート) → 「コントロールパネル」の順にクリックします。
2. 「ハードウェアとサウンド」の「プリンタ」をクリックします。

■ 2003/XP の場合

1. 「スタート」ボタン → 「プリンタとFAX」の順にクリックします。

■ 2000 の場合

1. 「スタート」ボタン → 「設定」 → 「プリンタ」の順にクリックします。

2 印刷を行ったプリンタのアイコンをダブルクリックします。

3 削除したい文書をクリックし、[Delete] を押します。



5

3 プリンタドライバで設定できる内容

プリンタの「印刷設定」ウィンドウ、または「プロパティ」ウィンドウでは、プリンタドライバの各種機能を設定できます。ここでは、ウィンドウの表示方法と、各設定項目の詳細を説明します。

プリンタの「印刷設定」、または「プロパティ」を表示するには

印刷に関する設定は、プリンタの「印刷設定」ウィンドウ、または「プロパティ」ウィンドウで変更します。

2つのウィンドウの役割は、次のとおりです。

- ・「印刷設定」 ウィンドウ：本製品固有の機能を設定します。
 - 「「設定」タブの設定項目」 (→ P.88)
 - 「「印刷オプション」タブの設定項目」 (→ P.97)
 - 「「イメージ」タブの設定項目」 (→ P.104)
- ・「プロパティ」 ウィンドウ：オプションの拡張給紙ユニットを取り付けたときに、「プロパティ」 ウィンドウ内の「デバイスオプション」タブを設定します。
 - 「「デバイスオプション」タブの設定項目」 (→ P.105)

ウィンドウは、アプリケーションから表示する方法と、「プリンタ」フォルダまたは「プリンタとFAX」フォルダから表示する方法の2通りがあります。

アプリケーションから表示する場合

アプリケーションの「印刷」 ウィンドウから「印刷設定」 ウィンドウを表示します。

操作方法はアプリケーションによって異なりますが、標準的な表示方法は、次のとおりです。

POINT

- ・オプションの拡張給紙ユニットを取り付けたときに設定する「デバイスオプション」タブは、アプリケーションの「印刷」 ウィンドウからは表示できません。「「デバイスとプリンター」フォルダ、「プリンタ」フォルダ、または「プリンタとFAX」フォルダのアイコンから中止する」(→ P.84)の手順で開いてください。

1 「ファイル」メニュー→「印刷」の順にクリックします。

「印刷」 ウィンドウが表示されます。

2 「プロパティ」をクリックします。

「デバイスとプリンター」フォルダ、「プリンタ」フォルダ、または 「プリンタと FAX」フォルダから表示する場合

「プリンタ」フォルダ、または「プリンタと FAX」フォルダからウィンドウを表示して設定を行うと、その設定値は、アプリケーションからウィンドウを表示したときの初期設定となります。

1 「プロパティ」ウィンドウを表示する場合は、管理者権限を持ったユーザーでログオンします。

2 「プリンタ」フォルダ、または「プリンタと FAX」フォルダを開きます。

■ 7/2008 R2 の場合

1.  (スタート) → 「デバイスとプリンター」の順にクリックします。

■ 2008 (R2 以外) / Vista の場合

1. 「スタート」ボタンまたは  (スタート) → 「コントロールパネル」の順にクリックします。

2. 「ハードウェアとサウンド」の「プリンタ」をクリックします。

■ 2003/XP の場合

1. 「スタート」ボタン → 「プリンタと FAX」の順にクリックします。

■ 2000 の場合

1. 「スタート」ボタン → 「設定」 → 「プリンタ」の順にクリックします。

3 使用するプリンタのアイコンをクリックし、「ファイル」メニュー→「印刷設定」、または「プロパティ」の順にクリックします。

「印刷設定」 ウィンドウ、または「プロパティ」 ウィンドウが表示されます。

5

設定内容の概要

プリンタの「印刷設定」 ウィンドウ、または「プロパティ」 ウィンドウで設定できる内容の概要と、詳しく説明している参照先を説明します。各機能についての注意事項、設定条件によって使用できない機能については、プリンタドライバの「ヘルプ」をご覧ください。

設定

設定内容を保存するための「お気に入り」の設定、用紙に関する設定、および N-up 印刷に関する設定を行います。

- ・「「設定」タブの設定項目」 (→ P.88)
- ・「プリンタドライバの設定を保存する」 (→ P.91)
- ・「任意の用紙サイズを設定する」 (→ P.92)
- ・「複数ページを 1 枚にまとめて印刷する (N-up 印刷)」 (→ P.95)

印刷オプション

解像度、印刷の向き、部数などの印刷仕様を設定します。

- ・「「印刷オプション」タブの設定項目」 (→ P.97)

- ・「スタンプを印刷する」(→ P.100)

イメージ

イメージの印刷品質に関する設定を行います。

- ・「「イメージ」タブの設定項目」(→ P.104)

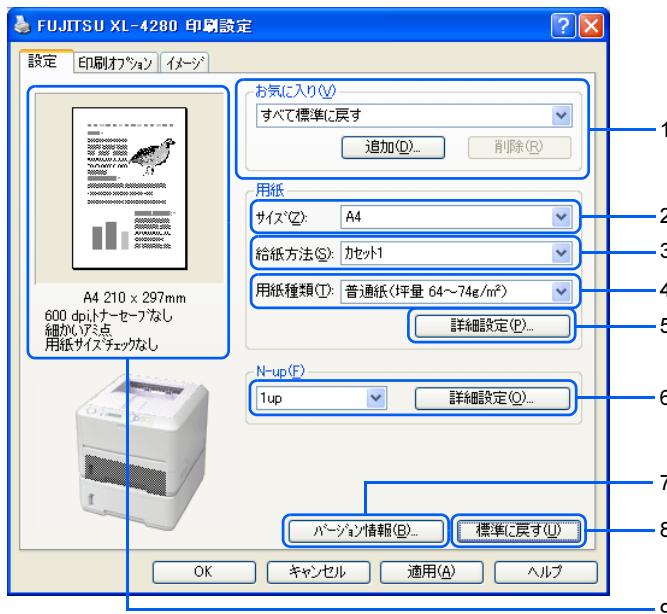
デバイスオプション

オプションの拡張給紙ユニットに関する設定や、プリンタ情報の取得を行います。なお、この項目は「プリンタ」フォルダまたは「プリンタと FAX」フォルダの「プロパティ」ウィンドウから設定します。

- ・「「デバイスオプション」タブの設定項目」(→ P.105)

「設定」タブの設定項目

「印刷設定」ウィンドウの「設定」タブ画面では、設定内容を保存するための「お気に入り」の設定、用紙に関する設定、および N-up 印刷に関する設定を行います。



1 お気に入り

プリンタドライバの設定値を、「お気に入り」に登録することで、使用頻度の高い印刷条件を簡単に選択できるようになります。「お気に入り」として登録可能な項目数は最大 14 個です（初期状態で登録されている「すべて標準に戻す」、「(名称未設定)」を含みます）。「お気に入り」の項目を使用する場合は、 をクリックし、表示されるリストから選択します。

・追加

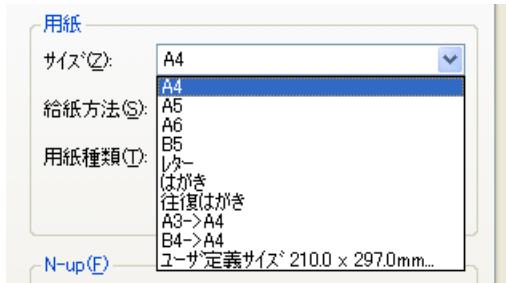
設定内容に名前を付けて、「お気に入り」として登録します。設定方法については、「プリンタドライバの設定を保存する」(→ P.91) をご覧ください。

・削除

をクリックして選択した「お気に入り」の項目を削除します。

2 サイズ（初期設定：A4）

アプリケーションで設定した用紙サイズを選択します。 をクリックし、表示されるリストから選択します。



POINT

- ・はがき、往復はがきに印刷する場合は、リストから「はがき」、または「往復はがき」を選択します。なお、印刷面を上にしてはがきを排出するため、プリンタ背面にフェイスアップ排紙トレイを事前に取り付けてから、印刷を実行してください。
- ・給紙トレイをはがき専用で使用する場合は、オペレータパネル、または「Printia Laser Internet Service」で、セットする用紙のサイズを設定しておくことをお勧めします。設定方法については、『ハードウェアガイド』の「第5章 オペレータパネルの操作」、または「Webブラウザによるプリンタの管理（Printia LASER Internet Service）」（→ P.131）をご覧ください。
- ・アプリケーションで設定した用紙サイズがA3またはB4の場合、A4に縮小して印刷できます。この場合は、「A3→A4」または「B4→A4」を選択してください。
- ・定型用紙以外のサイズに印刷するときは、「ユーザ定義サイズ」を選択します。「ユーザ定義サイズの設定」ウィンドウが表示され、任意の用紙サイズの設定ができます。ユーザ定義サイズの設定方法については、「任意の用紙サイズを設定する」（→ P.92）をご覧ください。

3 紙給り方法（初期設定：カセット1）

印刷するときの給紙口を選択します。 をクリックし、表示されるリストから選択します。「自動選択」を選択すると、「サイズ」で指定したサイズの用紙がセットされている給紙口を自動的に選んで印刷します。

POINT

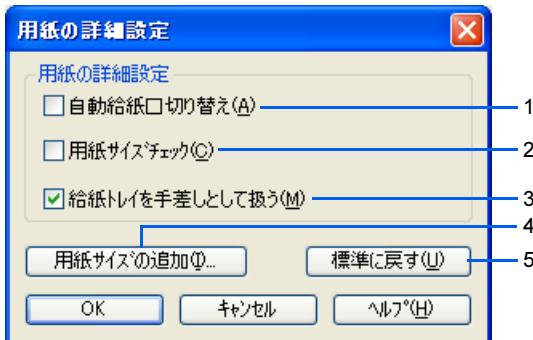
- ・オプションの拡張給紙ユニットを取り付け、「デバイスオプション」タブで設定を行っていると、リストに「カセット2」が追加されます。
- ・「詳細設定」（→ P.90）をクリックすると表示される「用紙の詳細設定」ウィンドウで、「自動給紙口切り替え」を にしている場合、印刷時に給紙しているカセットの用紙がなくなったときに、自動的に同じ用紙を入れているカセットに切り替わり、引き続きそのカセットから給紙して印刷します。

4 用紙種類（初期設定：普通紙（坪量 64～74g/m²））

印刷する用紙の種類（厚さ）を選択します。 をクリックし、表示されるリストから選択します。選択できる用紙種類については、『ハードウェアガイド』の「第6章 使用できる用紙と保管方法」をご覧ください。

5 詳細設定

次の「用紙の詳細設定」ウィンドウが表示されます。



表：「用紙の詳細設定」の設定項目

No.	設定項目	説明
1	自動給紙口切り替え (初期設定 : <input type="checkbox"/>)	本製品では、標準の給紙カセットが「カセット1」、オプションの拡張給紙ユニットが「カセット2」となります。「カセット2」がある状態で <input checked="" type="checkbox"/> にすると、印刷の途中で片方のカセットの用紙がなくなっても、同じサイズの用紙をセットしているもう片方のカセットから自動的に給紙され、印刷が継続されます。大量印刷時に途中で給紙する手間を省きたい場合は、「カセット1」と「カセット2」に同じサイズの用紙をセットしておき、自動給紙口切り替えを有効にして印刷します。 なお、自動給紙口切り替えは、給紙カセットのみが対象です。給紙トレイに用紙があっても、給紙トレイへは切り替わりませんので、ご注意ください。
2	用紙サイズチェック (初期設定 : <input type="checkbox"/>)	設定した用紙サイズとプリンタにセットされている用紙サイズが異なる場合に、プリンタ側にエラーメッセージを表示するかどうかを設定します。 <input type="checkbox"/> にすると、プリンタにセットされている用紙で強制的に印刷します。 <input checked="" type="checkbox"/> にすると、指定した用紙サイズがプリンタにセットされていないときに、プリンタのオペレータパネル上に用紙リクエストが表示され、待機状態となります。この場合は、指示に従って用紙をセットし、「オンライン」スイッチを押すと、印刷が再開されます。
3	給紙トレイを手差しとして扱う (初期設定 : <input checked="" type="checkbox"/>)	<input checked="" type="checkbox"/> にすると、給紙トレイを手差しトレイとして扱います。この場合、用紙を1枚ずつセットする必要があります。 <input type="checkbox"/> にした場合は、複数枚の用紙をセットして、連続給紙が可能です。
4	用紙サイズの追加	定形用紙でない（「サイズ」リストにない）用紙サイズを、「ユーザ定義サイズ」として設定できます。設定方法については、「あらかじめ用紙サイズを設定しておく」（→ P.93）をご覧ください。
5	標準に戻す	「用紙の詳細設定」ウィンドウで設定した内容をすべて初期値に戻します。

6 N-up（初期設定：1up）

▼ をクリックし、表示されるリストから、1枚の用紙に割り付けるページ数を選択します。1、2、4up の3種類の設定ができます。

・詳細設定

割り付けたページに対して、枠線のありなし、ページの配置方向、とじしろの設定を行います。

詳しくは、「複数ページを1枚にまとめて印刷する（N-up印刷）」（→P.95）をご覧ください。

7 バージョン情報

プリンタドライバのバージョンが表示されます。詳しくは、「プリンタドライバのバージョンを確認するには」（→P.112）をご覧ください。

8 標準に戻す

「設定」タブ画面で設定した内容をすべて初期値に戻します。

9 設定サマリ

設定内容の概要が表示されます。

プリンタドライバの設定を保存する

「設定」タブ画面の「お気に入り」で「追加」をクリックすると、「設定」タブ画面で設定した内容に名前を付けて、「お気に入り」として最大14個保存できます。

1 「設定」タブ画面で設定を行います。

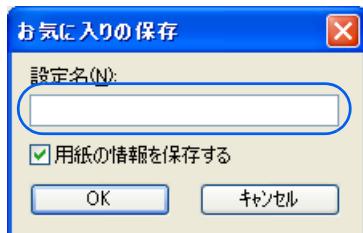
2 「お気に入り」の「追加」をクリックします。



「お気に入りの保存」ウィンドウが表示されます。

3 「設定名」に名前を入力し、必要に応じて「用紙の情報を保存する」の設定を変更します。

アプリケーションの中には、用紙の情報（サイズ、用紙種類など）をファイル自体に設定できるものがあります。このようなアプリケーションで作成された文書を印刷する場合は、「用紙の情報を保存する」を□にしてください。



4 「OK」をクリックします。

「設定」タブの「お気に入り」のリストに、設定した「設定名」が追加されます。

任意の用紙サイズを設定する

「設定」タブ画面で、定形用紙でない（「サイズ」リストにない）用紙サイズを、「ユーザ定義サイズ」として設定できます。

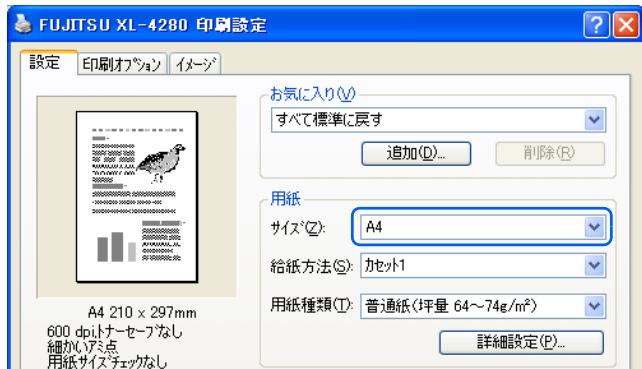
△ 注意

- ・プリンタドライバおよびアプリケーションで設定した用紙のサイズと、実際に使用する用紙のサイズは、必ず一致させてください。異なるサイズの用紙に印刷した場合、プリンタが故障するおそれがあります。

用紙サイズの設定方法には、直接サイズを設定する方法と、あらかじめ用紙サイズを設定しておく方法の2種類があります。

直接サイズを設定する

1 「設定」タブの「サイズ」から、「ユーザ定義サイズ」を選択します。



「ユーザ定義サイズの設定」ウィンドウが表示されます。

2 (1) 用紙の幅と長さを入力し、(2)「OK」をクリックします。

設定できる範囲は、入力欄横に記載されています。必要に応じて、「単位」を「ミリ」と「インチ」で切り替えて設定できます。



POINT

- 給紙口によっては、サポートするサイズが「ユーザ定義サイズ」で設定可能な範囲よりも狭い場合があります。このような給紙口を給紙方法に指定するときは、その給紙口のサポート範囲内のサイズを設定してください。

各給紙口がサポートするユーザ定義サイズの範囲については、『ハードウェアガイド』の「第8章 付録」をご覧ください。

あらかじめ用紙サイズを設定しておく

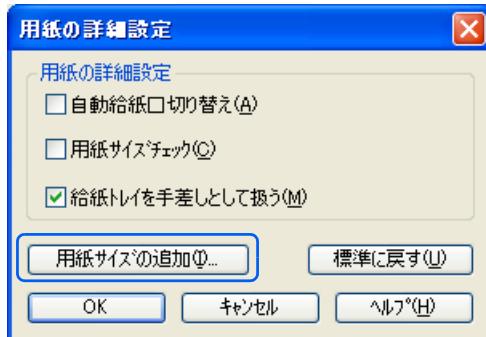
給紙トレイまたはユーザ定義サイズをサポートする給紙カセットごとに、ユーザ定義サイズを設定しておくことができます。

1 「設定」タブの「用紙」にある「詳細設定」をクリックします。



「用紙の詳細設定」 ウィンドウが表示されます。

2 「用紙サイズの追加」をクリックします。



「用紙サイズの追加」 ウィンドウが表示されます。

3 (1) 「名称」、用紙の「幅」と「長さ」を入力し、(2) 「追加」をクリックし、(3) 「OK」をクリックします。

設定できる範囲は、入力欄横に記載されています。必要に応じて、「単位」を「ミリ」と「インチ」で切り替えて設定できます。



「用紙の詳細設定」 ウィンドウに戻ります。

POINT

- ・追加したユーザ定義サイズを変更、または削除したい場合は、名称の一覧から対象の名称をクリックし、「変更」または「削除」をクリックしてください。

4 「OK」をクリックします。

「設定」タブの「サイズ」のリストに、設定した「名称」が追加されます。

複数ページを1枚にまとめて印刷する（N-up 印刷）

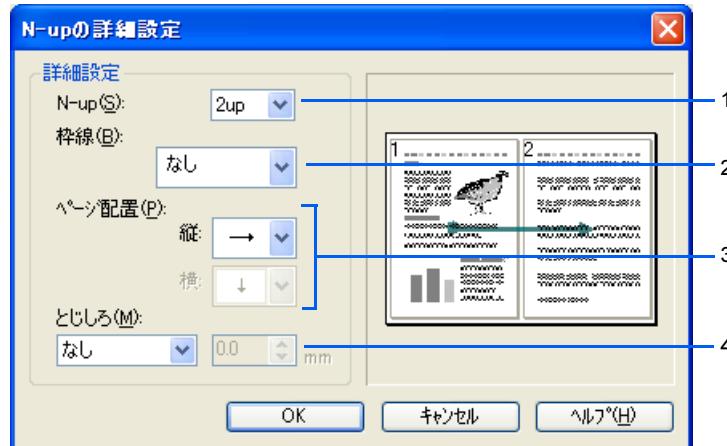
「設定」タブの「N-up」で1枚に割り付けるページ数を設定します。1、2、4up の3種類の設定ができます。

- 1 「設定」タブの「N-up」で、(1) 割り付けるページ数を選択し、(2)「詳細設定」をクリックします。



「N-up の詳細設定」 ウィンドウが表示されます。

2 ページ配置などを設定します。



表：「N-up 印刷の詳細設定」の設定項目

No.	設定項目	説明
1	N-up (初期設定: 設定タブで指定した N-up 状態)	「設定」タブの「N-up」(→ P.91) で設定した内容が表示されます。このウィンドウで設定を変更することもできます。
2	枠線 (初期設定: なし)	割り付けたページの周囲に枠線を印刷するかどうかを選択します。
3	ページ配置 (初期設定: 縦)	割り付けたページをどのような順序で配置するか選択します。「印刷の向き」(縦・横)と「N-up」によって、選択できるページ配置が変わります。
4	とじしろ (初期設定: なし)	とじしろを設定するかどうかを選択します。とじしろを設定する場合は、位置と幅 (0.0 ~ 30.0mm) を設定できます。

3 「OK」をクリックします。

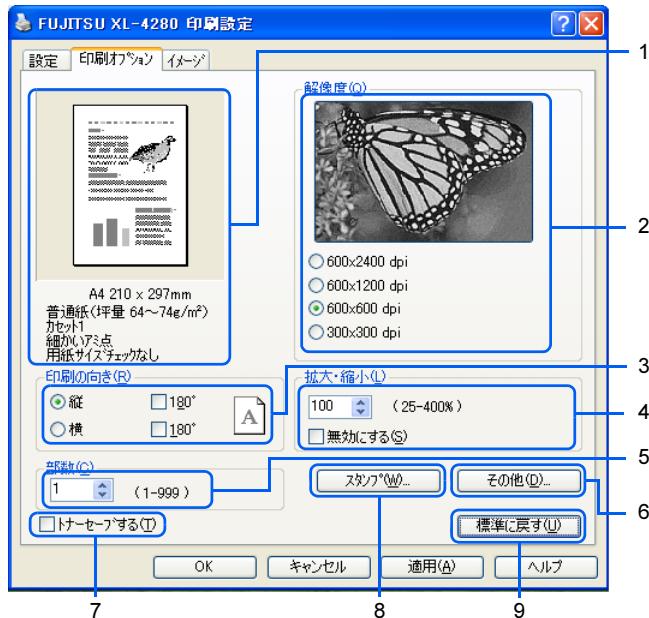
「設定」タブ画面に戻ります。

4 「OK」をクリックします。

5 印刷を実行します。

「印刷オプション」タブの設定項目

「印刷設定」 ウィンドウの「印刷オプション」タブ画面では、解像度、印刷の向き、部数などの印刷仕様を設定します。



5

1 設定サマリ

設定内容の概要が表示されます。

2 解像度（初期設定：600x600dpi）

印刷時の解像度です。解像度が高いほどきれいに印刷できます。

3 印刷の向き（初期設定：縦）

印刷するイメージの向きを縦／横で選択します。

- 180°（初期設定：）

になると、印刷するイメージを上下反転します。

4 拡大縮小（初期設定：100%）

用紙サイズは変更せず、印刷データのみを拡大／縮小して印刷します。とじしろを設定するなどして、印刷データが用紙内に収まらなくなったときの調整に使うことができます。

- 無効にする（初期設定：）

アプリケーションの中には、アプリケーションで拡大縮小の設定ができるものがあります。アプリケーション側で拡大縮小率を指定する場合は、「無効にする」を にします。

5 部数（初期設定：1）

印刷する部数を1～999で設定します。

6 その他

次の「その他」ウィンドウが表示されます。



表:「その他」の設定項目

No.	設定項目	説明
1	図形の中塗りパターンを拡大する (初期設定 : <input type="checkbox"/>)	複数のハッチブラシやパターンブラシで塗り分けている图形（グラフなど）を高解像度で印刷すると、パターンが細かく印刷されるため、塗り分けの区別がつきにくくなります。このような場合に、 <input checked="" type="checkbox"/> にして印刷すると、パターンのドットが拡大され、塗り分けをはっきりさせることができます。
2	アプリケーションの開放時間を短くする (EMF 有効) (初期設定 : <input checked="" type="checkbox"/>)	<input checked="" type="checkbox"/> にすると、スプールファイルの形式を EMF (Enhanced Metafiles) にし、印刷開始からアプリケーションに処理を戻すまでの時間を短くできます。 なお、EMF 形式でスプールした場合、アプリケーションによってはスプールファイルのサイズが非常に大きくなることがあります。その場合は、 <input type="checkbox"/> してください。
3	アプリケーションへカラーで応答する (初期設定 : <input checked="" type="checkbox"/>)	アプリケーションの中には、プリンタのカラー処理能力を調べて、カラー処理ができないプリンタであれば、印刷データのカラー部分をアプリケーション独自のパターンで描画し、階調を表現するものがあります。 <input checked="" type="checkbox"/> にすると、本製品はこれらのアプリケーションに対してカラー処理ができるものとして応答し、本製品がもつパターンで最適な階調表現を行います。 <input type="checkbox"/> にすると、モノクロ処理ができるものとして応答しますが、この場合は、色文字が黒べたで印刷されたり、プレゼンテーションデータの背景色が印刷されなかったりすることがあります。
4	文字は黒で印刷する (初期設定 : <input type="checkbox"/>)	<input checked="" type="checkbox"/> にすると、色文字を印刷するときに、階調表現を行わず、黒べたではっきりと印刷します。

表：「その他」の設定項目

No.	設定項目	説明
5	プリンタの印刷濃度を調整する (初期設定： <input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/> にすると、スライダが有効になり、印刷濃度を 5 段階で調整できます。
6	印刷位置補正 (初期設定：0mm)	用紙への印刷データの配置を、標準の位置から左右方向と上下方向へ、それぞれ -30 ~ 30mm の範囲でずらすことができます。ずらした量によっては、印刷可能領域からはみ出し、印刷されない部分が出ることがあります。
7	標準に戻す	「その他」 ウィンドウで設定した内容をすべて初期値に戻します。

7 トナーセーブする（初期設定：

トナーの消費量を約 50% 節約した印刷を行います [注]。にすると印刷品質は落ちますが、トナーの寿命を長くすることができます。

[注] JIS X 6931(ISO/IEC19752) 標準テストパターンを使用した場合のトナーセーブ率です。トナーセーブ率は、印刷データの内容によって変わります。
なお、オペレータパネルで「トナーセーブ」を「ユウコウ」に設定した場合も、同じ条件となります。

8 スタンプ（初期設定：なし）

用紙の背景に、「秘」「禁複写」などの透かし文字を印刷できます。スタンプは登録されているものから選択するほか、新しいスタンプの登録や、登録されているスタンプの編集および削除ができます。詳しくは、「スタンプを印刷する」(→ P.100) をご覧ください。

9 標準に戻す

「印刷オプション」タブで設定した内容をすべて初期値に戻します。

スタンプを印刷する

「印刷オプション」タブ画面の「スタンプ」で、用紙の背景に印刷する透かし文字を設定します。

スタンプ印刷は、事前に登録されているスタンプを利用して行うほか、新しいスタンプを登録して行うこともできます。

登録されているスタンプを使用して印刷する

- 1 「印刷オプション」タブで「スタンプ」をクリックします。



「スタンプ」 ウィンドウが表示されます。

2 (1) 使用したいスタンプを選択し、(2)「OK」をクリックします。

複数ページの文書の1ページ目だけに透かし文字を入れたい場合は、「最初のページのみ付加」をにします。



「印刷オプション」タブ画面に戻ります。

3 「OK」をクリックします。

4 印刷を実行します。

新しいスタンプを登録、編集、削除する

「スタンプ」ウィンドウの「新規」「編集」「削除」をクリックすると、スタンプの新規登録、編集、および削除ができます。

■新規にスタンプを登録する

文字列、フォント、スタイルなどを入力し、新規にスタンプを作成します。最大10個のスタンプを登録できます。

1 「印刷オプション」タブで「スタンプ」をクリックします。

「スタンプ」ウィンドウが表示されます。

2 「新規」をクリックします。

「スタンプの編集」ウィンドウが表示されます。

3 印刷するスタンプの詳細を設定します。



表：スタンプの詳細設定項目

No.	設定項目	説明
1	文字列	スタンプとして印字する文字列を入力します。全角半角問わず 63 文字まで入力できます。 ・サイズ：フォントサイズを直接入力するか、スクロールバーで設定します。 ・回転角度：文字の回転角度を直接入力するか、スクロールバーで設定します。 ・濃さ：スタンプの濃さを選択します。 ・フォント：クリックすると、「フォント」ウィンドウが表示されます。フォント種別、サイズ、スタイルを設定します。
2	囲み枠 (初期設定：なし)	スタンプの周りに付ける枠の種別を選択します。
3	スタンプサマリ	「スタンプの編集」ウィンドウで設定したスタンプが、どのように印刷結果に反映されるか、イメージで表示されます。
4	印刷位置 (初期設定：中央)	スタンプを用紙のどの位置に印刷するかを選択します。 ・微調整：選択した印刷位置を微調整する場合は、X（横方向）、Y（縦方向）に数値を設定します。正の値で右方向（X）または下方向（Y）へ移動し、負の値で左方向（X）または上方向（Y）へ移動します。

4 「OK」をクリックします。

「スタンプ」 ウィンドウに戻ります。

5 「登録されているスタンプを使用して印刷する」(→ P.100) の手順で、登録したスタンプを選択し、印刷を実行します。

■登録したスタンプを編集する

「新規にスタンプを登録する」(→ P.101) で登録したスタンプを編集します。

1 「印刷オプション」タブで「スタンプ」をクリックします。

「スタンプ」 ウィンドウが表示されます。

2 編集したいスタンプを選択して「編集」をクリックします。

ご購入時に登録されているスタンプは編集できませんので、ご注意ください。
「スタンプの編集」 ウィンドウが表示されます。

3 「新規にスタンプを登録する」(→ P.101) の手順 3 (→ P.102) の操作を行い、内容を編集します。

■登録したスタンプを削除する

「新規にスタンプを登録する」(→ P.101) で登録したスタンプを削除します。なお、ご購入時に登録されているスタンプは削除できませんので、ご注意ください。

1 「印刷オプション」タブで「スタンプ」をクリックします。

「スタンプ」 ウィンドウが表示されます。

2 削除したいスタンプを選択して「削除」をクリックします。

スタンプが削除されます。

「イメージ」タブの設定項目

「印刷設定」ウィンドウの「イメージ」タブ画面では、イメージの印刷品質に関する設定を行います。



1 設定サマリ

設定内容の概要が表示されます。

2 ディザのパターン（初期設定：アミ点）

階調を表現するパターンを選択します。

- ・アミ点 : 45° の角度で配置された点の大小で、階調を表現します。
- ・ライニアート : 45° の角度で引かれた線の太さで、階調を表現します。

3 ディザの密度（初期設定：細かい）

ディザのパターンを作成するときの、ドットの密度を選択します。

- ・細かい : イメージの細かい部分まで描画できます。一方で中間色の表現は劣ります。
- ・普通 : ある程度細かい部分も描画でき、中間色の表現も良好です。
- ・粗い : 細かい部分の描写ができません。

4 文字と图形を白黒2値で表現する（初期設定：□）

文字と图形を、階調表現を行わず白黒2色のみで（白い部分は白で、白以外の部分は黒で）印刷する場合は、にします。

5 ブライトネス（初期設定：中央）

印刷の明るさを、-50～50の間で調整します（数値を大きくすると、明るくなります）。

6 コントラスト（初期設定：中央）

印刷の鮮やかさを、-50～50の間で調整します（数値を大きくすると、明暗の差がはっきりします）。

7 標準に戻す

「イメージ」タブで設定した内容をすべて初期値に戻します。

POINT

- ・「印刷オプション」タブの「解像度」と「イメージ」タブの各設定項目の組み合わせによって、印刷結果が決まります。最適な印刷結果を得るためにには、これらの項目を変更しながら、試し印刷することをお勧めします。

「デバイスオプション」タブの設定項目

「プリンタ」フォルダまたは「プリンタと FAX」フォルダから表示できる、「プロパティ」ウィンドウの「デバイスオプション」タブ画面では、オプションの拡張給紙ユニットに関する設定や、プリンタ情報の取得を行います。



5

1 拡張給紙ユニット（初期設定：）

オプションの拡張給紙ユニットを取り付けたときに、にします。にすることで、「設定」タブの「給紙方法」に、拡張給紙ユニットが「カセット 2」として追加されます。

2 プリンタの情報を取得する

「Network Extension」(→ P.128) がインストールされている場合、クリックすると本製品の設定内容を読み出し、拡張給紙ユニットの取り付け状態を設定します。また、トレイ構成やトナー残量などのプリンタ情報が「設定情報」に表示されます。

3 設定情報

「Network Extension」(→ P.128) がインストールされている場合、「プリンタの情報を取得する」をクリックすると、取得した情報が表示されます。

4 プリンタドライバを更新／削除するには

プリンタドライバを更新（バージョンアップ）したり、削除（アンインストール）したりする方法を説明します。

- ・「更新する場合」（→ P.106）
- ・「削除する場合」（→ P.106）

更新する場合

プリンタドライバの更新は、旧バージョンのプリンタドライバを削除してから、新しいプリンタドライバをインストールして行います。

削除方法については、「削除する場合」（→ P.106）をご覧ください。

インストール方法については、次をご覧ください。

- ・「ネットワークを利用したプリンタの接続」（→ P.15）
- ・「ネットワークを利用しないプリンタの接続」（→ P.53）

削除する場合

プリンタドライバを更新するときや、本製品を使用しなくなったときは、プリンタドライバを削除します。

7/2008/Vista の場合

1 「デバイスとプリンター」フォルダ、または「プリンタ」フォルダを開きます。

■7/2008 R2 の場合

（スタート）→「デバイスとプリンター」の順にクリックします。

「デバイスとプリンター」フォルダが表示されます。

■2008（R2 以外）/Vista の場合

（スタート）→「コントロールパネル」→「ハードウェアとサウンド」の「プリンタ」順にクリックします。

「プリンタ」フォルダが表示されます。

2 削除するプリンタのアイコンを右クリックし、表示されるメニューから「デバイス削除」、または「削除」をクリックします。

■ 7/2008 R2 の場合

削除するプリンタのアイコンを右クリックし、表示されるメニューから「デバイスの削除」をクリックします。

■ 2008 (R2 以外) /Vista の場合

削除するプリンタのアイコンを右クリックし、表示されるメニューから「削除」をクリックします。Vista の場合は、「続行するにはあなたの許可が必要です」と表示されます。Printia XL シリーズのプリンタドライバであることを確認し、「続行」をクリックしてください。

3 「はい」をクリックします。

4 「プリントサーバーのプロパティ」フォルダ、または「サーバーのプロパティ」フォルダを開きます。

■ 7/2008 R2 の場合

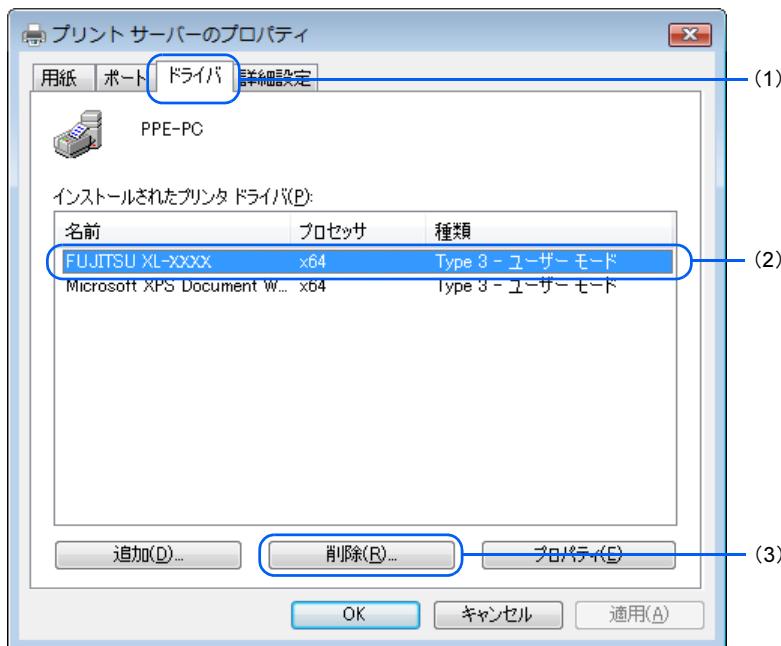
「デバイスとプリンター」フォルダでプリンターを選択し、「プリントサーバーのプロパティ」をクリックします。

■ 2008 (R2 以外) /Vista の場合

「プリンタ」フォルダの何もない部分を右クリックし、表示されるメニューから「管理者として実行」→「サーバーのプロパティ」の順にクリックします。

Vista の場合は、「続行するにはあなたの許可が必要です」と表示されます。印刷設定の変更であることを確認し、「続行」をクリックしてください。

5 (1) 「ドライバー」(または「ドライバ」)タブをクリックし、(2) 削除するドライバー(またはドライバパッケージ)をクリックしてから、(3)「削除」をクリックします。



(画面は OS により異なります)

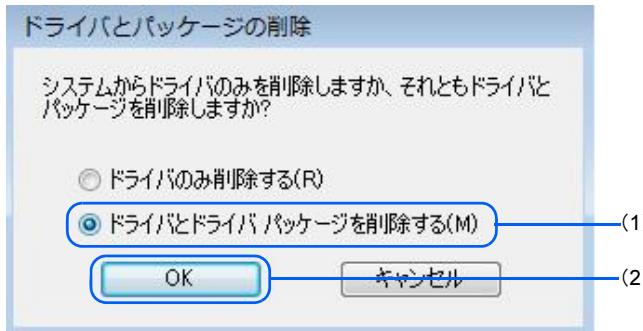
6 次の操作を行います。

■ 7/2008 R2 の場合

(1) 「ドライバーとパッケージを削除する」をクリックし、(2) 「OK」をクリックします。

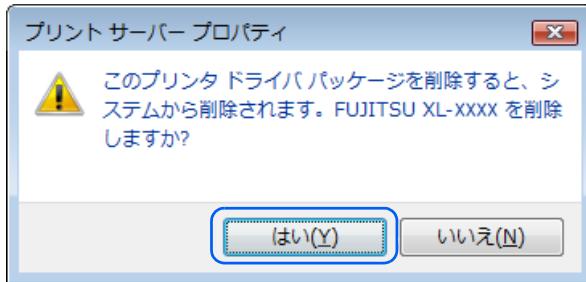
■ 2008 (R2 以外) / Vista の場合

(1) 「ドライバとドライバパッケージを削除する」をクリックし、(2) 「OK」をクリックします。



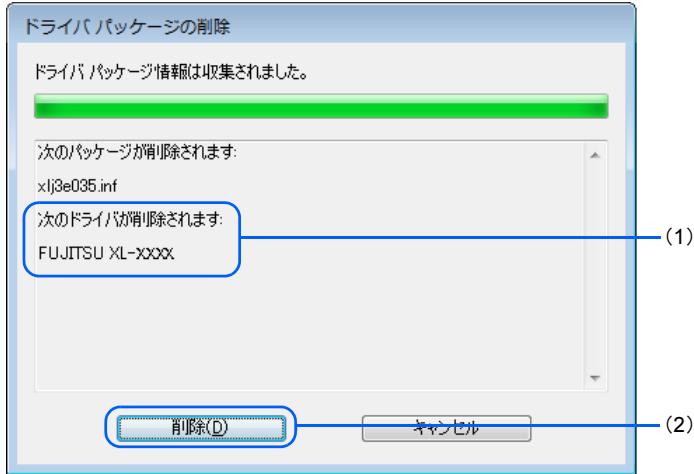
(画面は OS により異なります)

7 「はい」をクリックします。



(画面は OS により異なります)

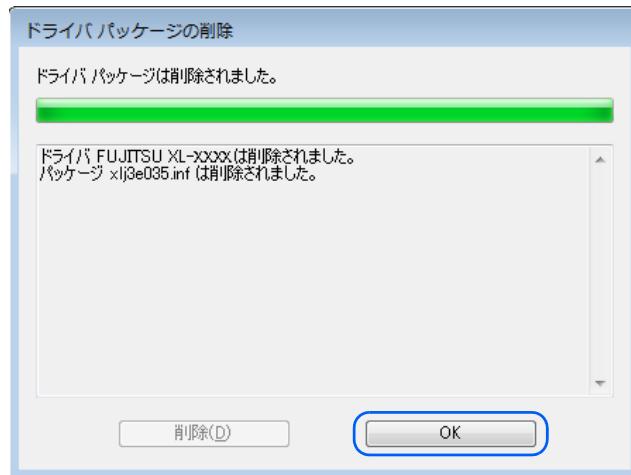
8 (1) 削除するドライバパッケージを確認し、(2)「削除」をクリックします。



(画面は OS により異なります)

プリンタ ドライバの削除が開始されます。

9 「OK」をクリックします。



(画面は OS により異なります)

「プリントサーバーのプロパティ」 ウィンドウに戻ります。

10 「閉じる」をクリックします。

11 Windows を再起動します。

■ 7/2008 R2 の場合

(スタート) → [シャットダウン] の ▶ → 「再起動」の順にクリックします。

■ 2008 (R2 以外) の場合

「スタート」ボタン → | | ▶ の ▶ → 「再起動」の順にクリックし、「シャットダウンイベントの追跡ツール」でオプションを選択して「OK」をクリックします。

■ Vista の場合

(スタート) → | | ▶ の ▶ → 「再起動」の順にクリックします。

以上でプリンタ ドライバの削除は完了です。

2003/XP/2000 の場合

1 「プリンタ」 フォルダ、または「プリンタと FAX」 フォルダを開きます。

■ 2003/XP の場合

「スタート」ボタン → 「プリンタと FAX」 の順にクリックします。

■ 2000 の場合

「スタート」ボタン → 「設定」 → 「プリンタ」 の順にクリックします。

2 削除するプリンタのアイコンをクリックし、「ファイル」メニュー→「削除」の順にクリックします。

3 「はい」をクリックします。

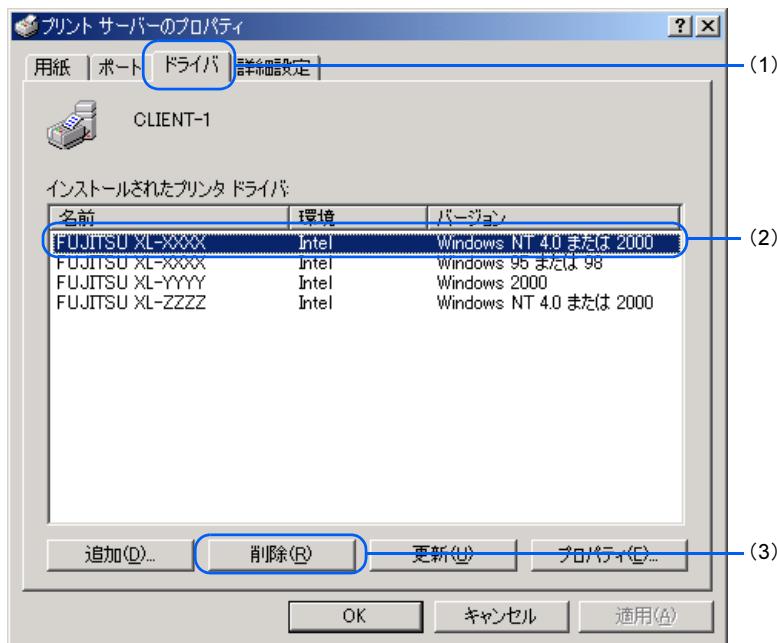


POINT

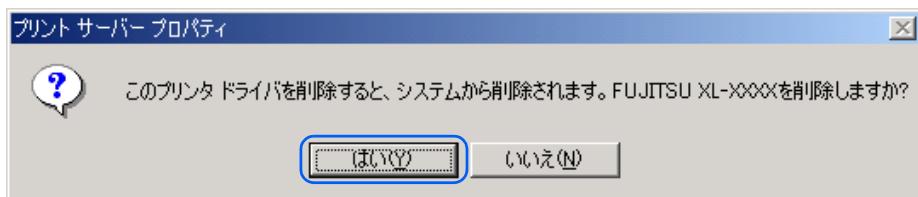
- ・「通常使うプリンタ」に設定してあるプリンタを削除すると、次のメッセージが表示されます。
- ・「警告：通常使うプリンタは削除されています。「(プリンタ名)」が新しく通常使うプリンタに設定されます。」
- ・「警告：通常使うプリンタは削除されています。残っているプリンタはありません。」

4 「ファイル」メニュー→「サーバーのプロパティ」の順にクリックします。

5 (1) 「ドライバ」タブをクリックし、(2) 削除するドライバパッケージをクリックし、(3) 「削除」をクリックします。



6 「はい」をクリックします。



プリンタドライバの削除が開始されます。

削除が完了すると、「プリンタサーバーのプロパティ」 ウィンドウに戻ります。

7 「閉じる」をクリックします。

8 Windows を再起動します。

■ 2003 の場合

「スタート」ボタン→「シャットダウン」の順にクリックし、「シャットダウンイベントの追跡ツール」でオプションを選択して「OK」をクリックします。

■ XP の場合

「スタート」ボタン→「シャットダウン」または「終了オプション」の順にクリックして、Windows を再起動します。

■ 2000 の場合

「スタート」ボタン→「シャットダウン」の順にクリックして、Windows を再起動します。

以上でプリンタドライバの削除は完了です。

5 プリンタドライバのバージョンを確認するには

プリンタドライバのバージョンは、次の方法で確認できます。

1 「デバイスとプリンター」フォルダ、「プリンタ」フォルダ、または「プリンタとFAX」フォルダを開きます。

■ 7/2008 R2 の場合

1.  (スタート) → 「デバイスとプリンター」の順にクリックします。

■ 2008 (R2 以外) / Vista の場合

1. 「スタート」ボタンまたは (スタート) → 「コントロールパネル」の順にクリックします。

■ 2003/XP の場合

1. 「スタート」ボタン → 「プリンタとFAX」の順にクリックします。

■ 2000 の場合

1. 「スタート」ボタン → 「設定」 → 「プリンタ」の順にクリックします。

2 「印刷設定」ウィンドウを表示します。

■ 7/2008 R2 の場合

使用するプリンタのアイコンを右クリックし、「印刷設定」をクリックします。

■ 2008 (R2 以外) / Vista/2003/XP/2000 の場合

使用するプリンタのアイコンをクリックし、「ファイル」メニュー → 「印刷設定」の順にクリックします。

3 「設定」タブの「バージョン情報」をクリックします。

プリンタドライバのバージョンが表示されます。



(画面は OS により異なります)

6

第6章

ネットワーク関連ソフトウェアの 機能と利用方法

この章では、ネットワーク経由で印刷するときに使用する「FUJITSU LPR ユーティリティ」と「Network Extension」の機能と利用方法について説明します。

1 LPR 印刷の管理 (FUJITSU LPR ユーティリティ) (2003/XP/2000 のみ)	114
2 プリンタ情報の管理 (Network Extension)	128

1

LPR 印刷の管理（FUJITSU LPR ユーティリティ）（2003/XP/2000 のみ）

LPR 印刷を行うには、「FUJITSU LPR ユーティリティ」を使用します。ここでは、「FUJITSU LPR ユーティリティ」のインストール方法、機能、削除（アンインストール）方法について説明します。

重要

- ・2008/Vista では、「FUJITSU LPR ユーティリティ」は使用できません。インストールしないでください。

「FUJITSU LPR ユーティリティ」をインストールする

「FUJITSU LPR ユーティリティ」をインストールし、プリンタをユーティリティに登録することにより LPR 印刷ができます。次の手順に従って、「FUJITSU LPR ユーティリティ」のインストールとプリンタの登録を行ってください。

POINT

- ・「「プリンタユーティリティセットアップ」でインストールする」（→ P.21）の手順 7 で、「印刷方法」として「Fujitsu LPR ユーティリティ」を選択してプリンタドライバをインストールした場合、「FUJITSU LPR ユーティリティ」はインストールされています。この手順でインストールする必要はありません。

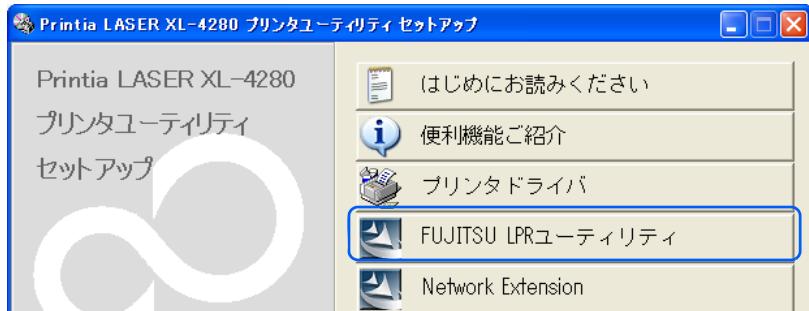
インストール

1 ◎「Printia LASER プリンタユーティリティ」をパソコンにセットします。 「Printia LASER プリンタユーティリティ セットアップ」ウィンドウが自動的に表示されます。

POINT

- ・「Printia LASER プリンタユーティリティ セットアップ」ウィンドウが自動的に表示されない場合は、「エクスプローラー」などを使用して CD-ROM を開き、一番上の階層にある「xlsetup.exe」をダブルクリックしてください。「Printia LASER プリンタユーティリティ セットアップ」ウィンドウが表示されます。
- ・2008/Vista の場合、自動再生時や「xlsetup.exe」をダブルクリックしたときに、「自動再生」ウィンドウが表示されます。実行されるプログラムが「xlsetup.exe」であることを確認し、「Xlsetup.exe の実行」をクリックしてください。

2 メニューから「FUJITSU LPR ユーティリティ」をクリックします。



3 インストール先とスプール先のフォルダを確認し、「次へ」をクリックします。

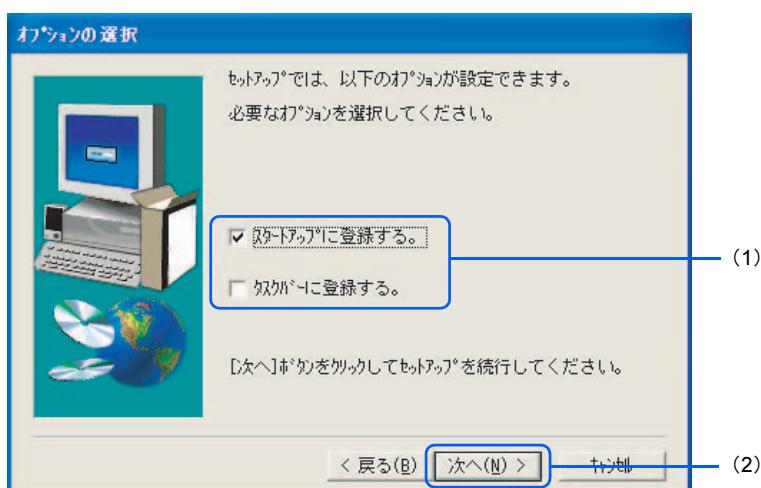
4 (1) スタートアップに登録するかどうか、タスクバーに登録するかどうかを選択し、(2) 「次へ」をクリックします。

- ・スタートアップに登録する

にすると、パソコンの起動時に、「FUJITSU LPR ユーティリティ」の「メインウィンドウ」(→ P.118) が表示されます。

- ・タスクバーに登録する

にすると、タスクバーに「FUJITSU LPR ユーティリティ」のアイコンを登録します。アイコンをクリックすると「メインウィンドウ」(→ P.118) が表示されます。



POINT

- ・「スタートアップに登録する」「タスクバーに登録する」を□にしても、印刷を開始すると、自動的に「FUJITSU LPR ユーティリティ」が起動します。

5 「プログラムフォルダの選択」ウィンドウでプログラムフォルダを確認し、「次へ」をクリックします。

6 引き続き「プリンタの追加」を行う場合は「セットアップの完了」ウィンドウで「はい、FUJITSU LPR ユーティリティを起動します」をにし、「完了」をクリックします。

「FUJITSU LPR ユーティリティ」が起動します。

以上で「FUJITSU LPR ユーティリティ」のインストールは完了です。

プリンタの登録

「FUJITSU LPR ユーティリティ」にプリンタを登録します。プリンタドライバがインストールされていることを確認してから、次の手順で追加してください。

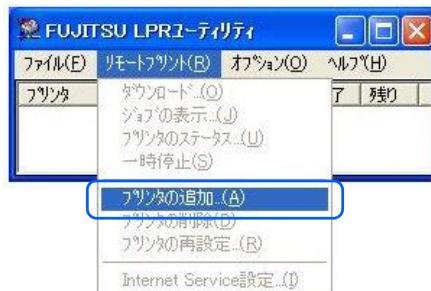
POINT

- ・「FUJITSU LPR ユーティリティ」にプリンタを登録することで、「FJLPRXX ポート」でプリンタと接続されます。どのポートで接続されているかは、「プリンタ」フォルダ、または「プリンタと FAX」フォルダから「プロパティ」ウィンドウを開き、「ポート」タブをご確認ください。
- ・以降の手順を繰り返すと、複数のプリンタを「FUJITSU LPR ユーティリティ」に登録できます。

1 「FUJITSU LPR ユーティリティ」が起動されていない場合は、次の手順で起動します。

「スタート」ボタン→「すべてのプログラム」（または「プログラム」）→「FUJITSU」→「FUJITSU LPR ユーティリティ」→「FUJITSU LPR ユーティリティ」の順にクリックします。

2 「リモートプリント」メニュー→「プリンタの追加」の順にクリックします。



- 3 (1) プリンタを選択して「IP アドレス」にプリンタの IP アドレスを入力し、(2)「詳細設定」をクリックします。**

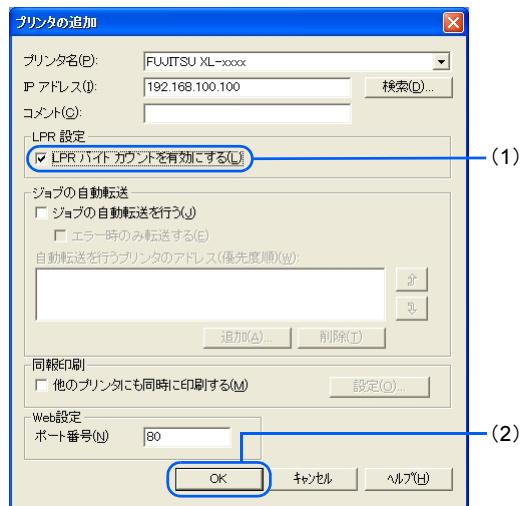
入力は、半角数字とピリオドで行ってください。



POINT

- ・「プリンタ」には、「プリンタと FAX」(2000 の場合は「プリンタ」) フォルダにプリンタ ドライバが追加されている場合のみ表示されます。2003 でネットワークプリンタに設定している場合は表示されません。
- ・「検索」をクリックして、ネットワーク上のプリンタを選択することもできます。

- 4 (1) 「LPR バイトカウントを有効にする」を☑にし、(2)「OK」をクリックします。**



POINT

- ・「LPR バイトカウントを有効にする」を☑にしないと、データ数をチェックしない、信頼性の低い通信になります。必ずチェックを付けてください。

- 5 「プリンタの追加」ウィンドウで、「OK」をクリックします。**

「FUJITSU LPR ユーティリティ」ウィンドウの「プリンタ」に、プリンタが追加されます。

以上で、プリンタの登録は完了です。

「FUJITSU LPR ユーティリティ」の機能

「FUJITSU LPR ユーティリティ」の機能について説明します。

メインウィンドウ



1 プリンタ

登録されているプリンタ名が表示されます。

2 状態

プリンタポートの状態が表示されます。

表：プリンタポートの状態

状態	説明
待機中	プリンタポートが待機中の状態。
接続中	プリンタに接続を試みている状態。
送信中 - **%	プリンタにデータを送信している状態。「**%」は送信済みの割合。
停止中	・「リモートプリント」メニューで一時停止された状態。 ・エラーが発生して送信を停止している状態。
問合せ中	プリンタのステータスを問い合わせている状態。
未接続	・「プリンタと FAX」(2000 の場合は「プリンタ」) フォルダからプリンタが削除された状態。 ・プリンタの IP アドレスが正しく設定されていない状態。 ・印刷できない状態。

3 終了

送信が終了したジョブ数が表示されます。

4 残り

送信が終了していないジョブ数が表示されます。

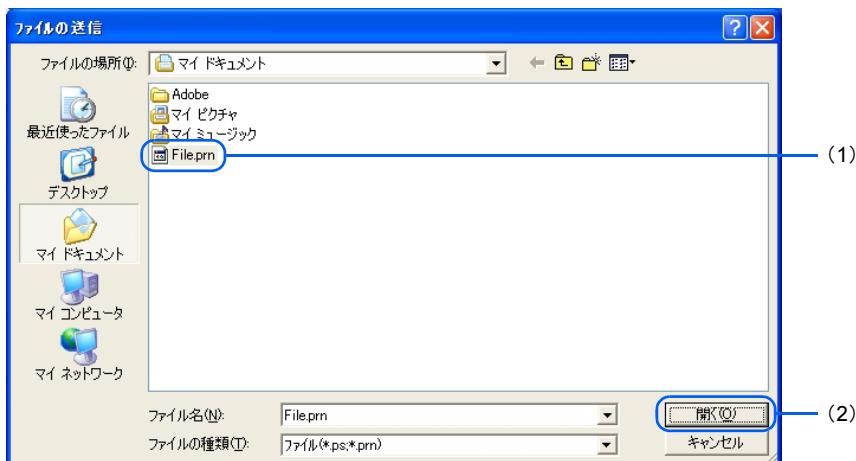
ファイルのダウンロード

印刷データのファイルをプリンタに送信して印刷することができます。

- 1** メインウィンドウで、プリンタを選択します。
- 2** 「リモートプリント」メニュー→「ダウンロード」順にクリックします。



- 3** (1) ダウンロードするファイルを選択して、(2)「開く」をクリックします。



重要

- ・他機種で作成された印刷データのファイルを、上記手順で印刷することはできません（実行すると、意図しない不要な印刷が行われる原因となります）。

ファイルがダウンロードされ、印刷が開始されます。

ジョブの表示、削除、転送

印刷ジョブを表示したり、削除したりすることができます。

また、プリンタが使用中、オフライン、用紙切れなどで印刷できない場合、印刷ジョブを同機種の別のプリンタへ転送することができます。

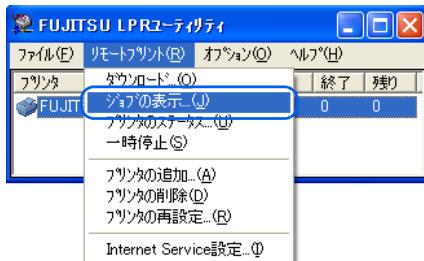
なお、別のプリンタへ転送する場合は、転送先のプリンタを「プリンタの登録」(→ P.116)の手順で事前に登録しておいてください。

重要

- ・機種の異なるプリンタへの転送はできません。

1 メインウィンドウで、プリンタを選択します。

2 「リモートプリント」メニュー→「ジョブの表示」の順にクリックします。



ジョブが表示されます。

3 ジョブを削除したり、転送したりする場合は、次のように操作します。

■ ジョブを削除する場合

削除したい印刷ジョブを選択し、「ジョブ」メニュー→「削除」の順にクリックします。



ジョブが削除されます。

■ ジョブを転送する場合

転送したい印刷ジョブを選択し、「ジョブ」メニュー→「転送」の順にクリックして、転送先のプリンタをクリックします。



転送先のプリンタにジョブが送られます。

プリンタのステータス

- 1** メインウィンドウで、プリンタを選択します。
- 2** 「リモートプリント」メニュー→「プリンタのステータス」の順にクリックします。



プリンタのステータスが表示されます。



POINT

- ・「リモートプリント」メニュー→「ジョブの表示」の順にクリックすると、ウィンドウ左下にプリンタステータスが表示されるようになります。



一時停止／解除

印刷データの送信を停止したり、停止状態を解除したりすることができます。

- 1 メインウィンドウで、プリンタを選択します。
- 2 「リモートプリント」メニュー→「一時停止」の順にクリックします。



■ データ送信中の場合

データ送信が一時停止され、「現在送信中のジョブが再送信になりますがよろしいですか？」というメッセージが表示されます。

「はい」をクリックするとジョブの送信をいったん中止します。「状態」が「停止中」になり、「リモートプリント」メニュー→「一時停止」にチェックが付きます。

「いいえ」をクリックすると、一時停止を解除し、送信を続けます。

■ 一時停止中の場合

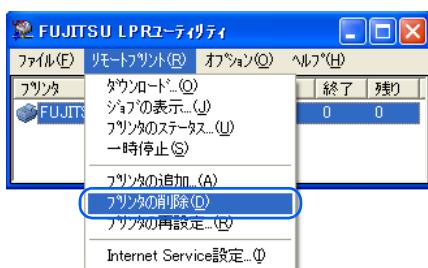
一時停止を解除します。

「状態」は「送信中」になり、「リモートプリント」メニュー→「一時停止」のチェックが外れます。

登録プリンタの削除

「FUJITSU LPR ユーティリティ」に登録したプリンタを削除します。

- 1 メインウィンドウで、プリンタを選択します。
- 2 「リモートプリント」メニュー→「プリンタの削除」の順にクリックします。



- 3 確認メッセージのウィンドウで、「はい」をクリックします。

メインウィンドウからプリンタが削除されます。

ジョブの自動転送

プリンタが使用中、オフライン、用紙切れなどで印刷できない場合、印刷ジョブを同機種の別のプリンタへ転送できます。

なお、別のプリンタへ転送する場合は、転送先のプリンタを「プリンタの登録」(→ P.116)の手順で事前に登録しておいてください。

重要

- ・機種の異なるプリンタへの転送はできません。

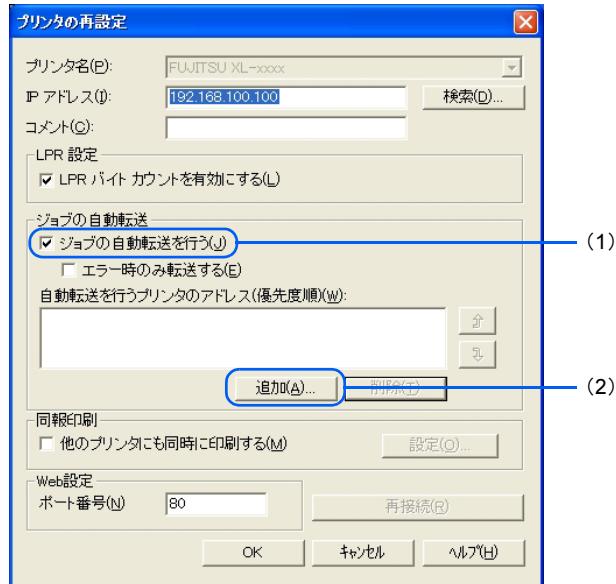
- 1** メインウィンドウで、プリンタを選択します。
- 2** 「リモートプリント」メニュー→「プリンタの再設定」の順にクリックします。



- 3** 「詳細設定」をクリックします。



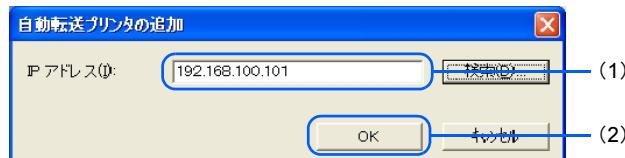
4 (1)「ジョブの自動転送を行う」を□にして、(2)「追加」をクリックします。



POINT

・「検索」をクリックして、ネットワーク上のプリンタを選択することもできます。

5 (1)転送先のプリンタのIPアドレスを入力し、(2)「OK」をクリックします。



「プリンタの再設定」 ウィンドウに戻ります。

6 「OK」をクリックします。

自動転送先のプリンタが登録されます。

同報印刷

複数台のプリンタに、同じ印刷ジョブを同時に送信できます。

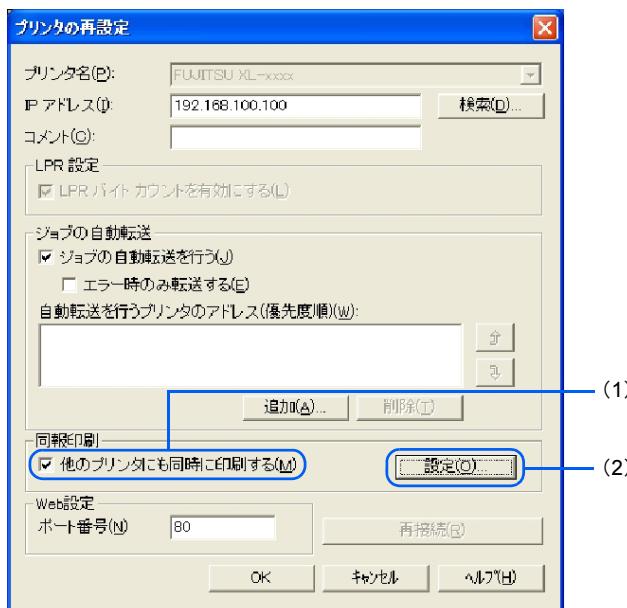
なお、同報印刷を行う場合は、同報先のプリンタを「プリンタの登録」(→ P.116) の手順で事前に登録しておいてください。

重要

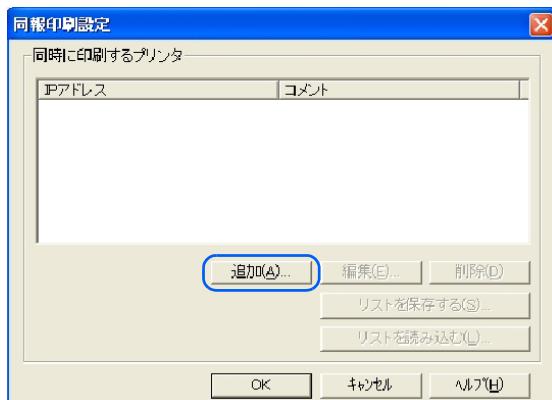
- ・機種の異なるプリンタへの同報印刷はできません。

1 「ジョブの自動転送」(→ P.123) の手順 1 ~ 3 を行います。

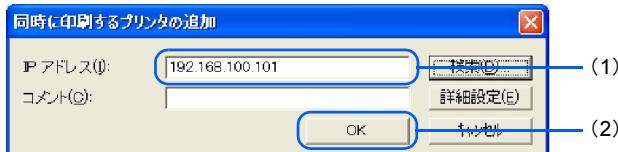
2 (1) 「他のプリンタにも同時に印刷する」を☑にして、(2) 「設定」をクリックします。



3 「追加」をクリックします。



4 (1) 同報先のプリンタのIPアドレスを入力し、(2)「OK」をクリックします。



POINT

- ・「検索」をクリックして、ネットワーク上のプリンタを選択することもできます。
- 「同報印刷設定」ウィンドウに戻ります。

5 「OK」をクリックします。

メインウィンドウに、同報印刷のプリンタが表示されます。

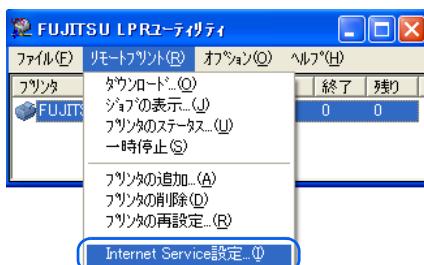


Internet Service 設定

「FUJITSU LPR ユーティリティ」から、「Printia LASER Internet Service」を起動できます。
「Printia LASER Internet Service」については、「Web ブラウザによるプリンタの管理 (Printia LASER Internet Service)」(→ P.131) をご覧ください。

1 メインウィンドウで、プリンタを選択します。

2 「リモートプリント」メニュー→「Internet Service 設定」の順にクリックします。



プリンタに正しく接続されると、「Printia LASER Internet Service」画面が表示されます。

登録プリンタの再設定

「FUJITSU LPR ユーティリティ」に登録したプリンタの設定を変更します。

1 「ジョブの自動転送」(→ P.123) の手順 1 ~ 3 を行います。

2 必要な項目を設定し直して、「OK」をクリックします。

IP アドレスの自動再設定

プリンタの IP アドレスが自動取得設定 (DHCP 設定) になっている場合、プリンタの電源を入れるたびに IP アドレスが変更になり、パソコン側でもプリンタの IP アドレスを設定し直さなければなりません。「IP アドレスの自動再設定」を設定しておくと、プリンタの IP アドレスが変更されても自動的に検索し、パソコン側が自動的に再設定されます。

1 メインウィンドウで、プリンタを選択します。

2 「オプション」メニュー→「設定」の順にクリックします。

3 (1) 「自動的に IP アドレスを再設定する」を にして、(2) 「OK」をクリックします。

6

「FUJITSU LPR ユーティリティ」を削除する

「FUJITSU LPR ユーティリティ」をパソコンから削除する方法を説明します。

POINT

・「FUJITSU LPR ユーティリティ」のインストール先のフォルダやスプール先のフォルダに、インストール後に追加したファイルが存在すると、フォルダを削除できません。あらかじめ、余分なファイルを削除してから「FUJITSU LPR ユーティリティの削除」を行ってください。

1 画面右下にある通知領域から「FUJITSU LPR ユーティリティ」のアイコンを右クリックして、表示されるメニューから「終了」をクリックします。
アイコンが表示されていない場合は、次の手順に進みます。

2 「スタート」ボタン→「すべてのプログラム」(または「プログラム」) → 「FUJITSU」→「FUJITSU LPR ユーティリティ」→「FUJITSU LPR ユーティリティの削除」の順にクリックします。

3 確認のウィンドウで「はい」をクリックします。

「FUJITSU LPR ユーティリティ」が削除されます。

2 プリンタ情報の管理（Network Extension）

ネットワークに接続された本製品の情報を表示し、設定に反映するには「Network Extension」を使用します。

ここでは、「Network Extension」のインストール方法、機能、削除（アンインストール）方法について説明します。

「Network Extension」をインストールする

POINT

- ・「プリンタユーティリティセットアップ」でインストールする（→ P.21）の手順でプリンタドライバをインストールした場合、「Network Extension」はインストールされています。この手順でインストールする必要はありません。

1 ◎「Printia LASER プリンタユーティリティ」をパソコンにセットします。

「Printia LASER プリンタユーティリティ セットアップ」ウィンドウが自動的に表示されます。

POINT

- ・「Printia LASER プリンタユーティリティ セットアップ」ウィンドウが自動的に表示されない場合は、「エクスプローラ」などを使用して CD-ROM を開き、一番上の階層にある「xlsetup.exe」をダブルクリックしてください。「Printia LASER プリンタユーティリティ セットアップ」ウィンドウが表示されます。
- ・7/2008/Vista の場合、自動再生時や「xlsetup.exe」をダブルクリックしたときに、「自動再生」ウィンドウが表示されます。実行されるプログラムが「xlsetup.exe」であることを確認し、「Xlsetup.exe の実行」をクリックしてください。

2 メニューから「Network Extension」をクリックします。



（画面は OS により異なります）

以降は、画面の指示に従ってインストールしてください。

3 インストール完了のウィンドウで「完了」をクリックします。

以上で「Network Extension」のインストールは完了です。

「Network Extension」の機能

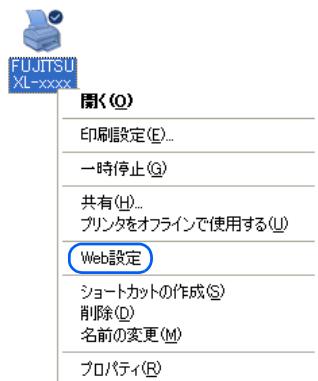
「Network Extension」をインストールすることで、追加される機能について説明します。

メニュー表示

Vista/2003/XP/2000 の場合は、「Network Extension」をインストールすると、プリンタを右クリックしたときに表示されるメニューに、「Web 設定」が追加されます。

「Web 設定」をクリックすると、「Printia LASER Internet Service」が起動されます。

「Printia LASER Internet Service」について詳しくは、「Web ブラウザによるプリンタの管理 (Printia LASER Internet Service)」(→ P.131) をご覧ください。



「デバイスオプション」タブ

「Network Extension」をインストールすることにより、プリンタの「プロパティ」ウィンドウに「デバイスオプション」タブが追加されます。「デバイスオプション」タブ画面では、取り付けたオプションの設定を行ったり、プリンタ情報を取得したりできます。



「デバイスオプション」タブについて詳しくは、「「デバイスオプション」タブの設定項目」(→ P.105) をご覧ください。

「Network Extension」を削除する

「Network Extension」をパソコンから削除する方法を説明します。

1 OSにより、次のように操作します。

■ 7/2008 R2 の場合

1.  (スタート) → 「コントロールパネル」 → 「プログラムのアンインストール」の順にクリックします。

2. 「FUJITSU Network Extension」を選択し、画面の指示に従って削除します。

■ 2008 (R2 以外) /Vista の場合

1. 「スタート」ボタンまたは (スタート) → 「コントロールパネル」 → 「プログラム」 → 「プログラムのアンインストール」の順にクリックします。

2. 「FUJITSU Network Extension」を選択し、画面の指示に従って削除します。

■ XP の場合

1. 「スタート」ボタン→「コントロールパネル」→「プログラムの追加と削除」の順にクリックします。

2. 「FUJITSU Network Extension」を選択し、画面の指示に従って削除します。

■ 2003/2000 の場合

1. 「スタート」ボタン→「設定」→「コントロールパネル」→「アプリケーションの追加と削除」の順にクリックします。

2. 「FUJITSU Network Extension」を選択し、画面の指示に従って削除します。

以上で「Network Extension」の削除は完了です。

7

第 7 章

Web ブラウザによるプリンタの管理 (Printia LASER Internet Service)

この章では、プリンタに搭載されている Web サーバ機能（「Printia LASER Internet Service」）の使い方について説明します。「Printia LASER Internet Service」を使用すると、ネットワークに接続された XL シリーズプリンタの状態監視や環境設定などを、Web ブラウザから行うことができます。

1 Web サーバ機能の概要	132
2 Web サーバ機能の操作方法	133
3 各画面の詳細	147

プリンタに搭載されている Web サーバ機能を「Printia LASER Internet Service」と呼びます。ここでは、「Printia LASER Internet Service」を利用するための動作環境などについて説明します。

「Printia LASER Internet Service」とは

「Printia LASER Internet Service」は、インターネットや LAN (TCP/IP) に接続された XL シリーズプリンタの状態を参照、印刷したり、プリンタのネットワークに関する設定を変更したりするためのコンテンツです。

「Printia LASER Internet Service」は、プリンタに Web サーバ機能として搭載されているため、Web ブラウザがインストールされたパソコンであれば、専用のソフトウェアをインストールすることなく使用できます。

動作環境

「Printia LASER Internet Service」は、「Internet Explorer 6.0」以上で動作します。

なお、Web ブラウザの次の機能を使用可能にしておいてください（詳しくは、Web ブラウザのヘルプなどをご覧ください）。

- ・ JavaScript (必須)
ステータス表示の自動更新や設定時の処理に JavaScript を使用しているため、JavaScript を無効にしていると正しく動作しません。
- ・ スタイルシート (推奨)
スタイルシートが使用できない場合でも、「Printia LASER Internet Service」の機能には差し支えありませんが、表示が見にくくなる場合があります。
- ・ Cookie の使用 (任意)
Cookie が使用可能な場合は、ユーザー (Web ブラウザ) ごとにステータス表示の自動更新に関する設定を行うことができます。Cookie を使用したくない場合は、プリンタ側に設定された初期設定で動作するようにも設定できます。

2 Web サーバ機能の操作方法

「Printia LASER Internet Service」の表示方法や基本的な操作方法について説明します。

使用前の準備

「Printia LASER Internet Service」を使用する前に、次の点をご確認ください。

- ・プリンタの IP アドレスの設定は済んでいますか

「Printia LASER Internet Service」を使用するには、プリンタの IP アドレスを設定しておく必要があります。IP アドレスが未設定の場合は、「IP アドレスを設定する」(→ P.19) をご覧になり、プリンタの IP アドレスを設定してください。

- ・プリンタ本体の電源が入っており、LAN に接続されていますか

プリンタ本体の電源が入っていること、LAN に接続されていることを確認してください。

プリンタ本体の電源の入れ方、LAN との接続方法については、『ハードウェアガイド』の「第 2 章 プリンタを設置・接続する」をご覧ください。

「Printia LASER Internet Service」画面を起動する

「Printia LASER Internet Service」画面 (→ P.135) は、Web ブラウザで「Printia LASER Internet Service」の URL を指定して起動する方法、プリンタアイコンから起動する方法、および「FUJITSU LPR ユーティリティ」から起動する方法があります。

Web ブラウザで直接表示する

Web ブラウザを起動し、アドレス欄に次のいずれかの URL を入力して [Enter] を押します。

- ・DNS サーバで登録した名前を指定する

「http://」の後に、DNS サーバで設定したホスト名 + ドメイン名を指定します。

例：http://xlprn.xxx.fujitsu.com (ホスト名 : xlprn、ドメイン名 : xxx.fujitsu.com の場合)

- ・IP アドレスで指定する

「http://」の後に、直接プリンタの IP アドレスを指定します。

- IPv4 の例 (プリンタの IPv4 アドレスが 192.168.100.100 の場合)

http://192.168.100.100

- IPv6 の例 (プリンタの IPv6 アドレスが fe80:0000:0000:0000:0280:87ff:fe9b:1234 の場合)

http://[fe80::0280:87ff:fe9b:1234]

重要

IP アドレスの指定方法

・IPv4 の場合

IP アドレスに 1 桁、または 2 桁の数値が含まれる場合、数値の前に「0」を入力しないでください。通信が正しく行われない場合があります。

例：プリンタの IP アドレスが 192.168.0.11 の場合

正しい入力例：http://192.168.0.11

誤った入力例：http://192.168.000.011

・IPv6 の場合

IPv6 アドレスでは、「0000」の部分（下線付で示している部分）を、次のように省略して指定できます。

例：プリンタの IP アドレスが fe80:0000:0000:0000:0280:87ff:fe9b:1234 の場合

- ・連続する「0000」を省略し、区切り文字のコロン（:）の連続表記で示す（ただし、アドレス内で 1 回のみ）

http://[fe80::0280:87ff:fe9b:1234]

- ・「0000」を省略し、0 で示す

http://[fe80::0:0:0280:87ff:fe9b:1234]

プリンタアイコンから起動する

「Network Extension」がインストールされていれば、プリンタアイコンから起動できます。

次の方法で「Printia LASER Internet Service」画面を表示できます。詳しくは、「プリンタ情報の管理（Network Extension）」（→ P.128）をご覧ください。

1 「プリンタ」または「プリンタと FAX」フォルダを開きます。

■ Vista の場合

「スタート」ボタンまたは（スタート）→「コントロールパネル」→「ハードウェアとサウンド」→「プリンタ」の順にクリックします。

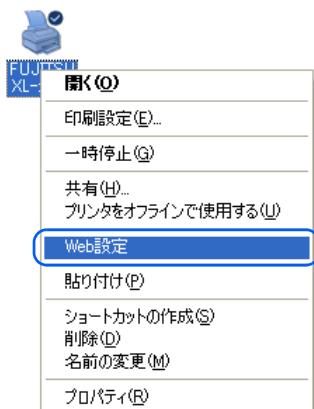
■ 2003/XP の場合

「スタート」ボタン→「プリンタと FAX」の順にクリックします。

■ 2000 の場合

「スタート」ボタン→「設定」→「プリンタ」の順にクリックします。

2 使用するプリンタのアイコンを右クリックし、表示されるメニューから「Web 設定」をクリックします。



POINT

- ・プリンタで「Web サービス」を「無効」に設定している場合、「Printia LASER Internet Service」画面が表示されません。この場合はオペレータパネルで「管理者メニュー」→「ネットワークメニュー」→「WEB」を「ユウコウ」に設定してください。
- ・プリンタのIPアドレスがわからない場合は、次のいずれかの方法で確認してください。
 - ・「FUJITSU LPR ユーティリティ」でネットワークに接続されたプリンタを検索する
「FUJITSU LPR ユーティリティ」の使用方法については、「LPR印刷の管理（FUJITSU LPR ユーティリティ）（2003/XP/2000のみ）」（→P.114）をご覧ください。
 - ・プリンタのオペレータパネルで確認する
オペレータパネルの操作方法については、『ハードウェアガイド』の「第5章 オペレータパネルの操作」をご覧ください。

「FUJITSU LPR ユーティリティ」から起動する

2003/XP/2000 の場合は、「FUJITSU LPR ユーティリティ」がインストールされていれば、「FUJITSU LPR ユーティリティ」のメニューから起動できます。
詳しくは、「Internet Service 設定」（→P.126）をご覧ください。

「Printia LASER Internet Service」画面の構成

プリンタに正しく接続されると、次のような画面が表示されます。



1 タイトル

タイトルロゴ、プリンタモデル名が表示されます。

2 メニューエリア

利用できるカテゴリとメニューが表示されるエリアです。

3 カテゴリ

☞ (選択時は) が付いているのが「カテゴリ」です。各カテゴリをクリックすると、該当するカテゴリのメニューが表示されます。ユーザー mode と管理者モードで、表示される項目が一部変わります。

カテゴリについて詳しくは、「各画面の詳細」(→ P.147) をご覧ください。

4 メニュー

「カテゴリ」をクリックすると、そのカテゴリで利用できる「メニュー」が表示されます。メニューによっては、サブメニューが表示される場合もあります。メニュー やサブメニューをクリックすると、「情報表示エリア」に情報や設定項目が表示されます。

ユーザー mode と管理者モードで、表示される項目が一部変わります。

メニューについて詳しくは、「各画面の詳細」(→ P.147) をご覧ください。

5 管理者モード切り替えボタン

ユーザー mode 画面のときに表示され、ユーザー mode から管理者モードへ切り替えるときにクリックします。ユーザー mode と管理者モード、およびモードの切り替え方法については、「管理者モードとユーザー mode の切り替え」(→ P.137) をご覧ください。

6 情報表示エリア

メニュー エリアで「メニュー」「サブメニュー」をクリックすると、情報や設定項目が表示されます。



が表示されている項目は、クリックすると、ヘルプで詳しい説明を参照できます。

「Printia LASER Internet Service」で設定可能な項目と、各項目の初期値については、「「Printia LASER Internet Service」で設定できる項目と初期値」(→ P.140) をご覧ください。

管理者モードとユーザーモードの切り替え

「Printia LASER Internet Service」には、ユーザー モードと管理者 モードの 2 種類のモードがあります。モードにより、表示されるカテゴリが異なります。

- ・ユーザー モードでは、「ステータス」「ジョブリスト」「リンク」の 3 種類のカテゴリが表示され、各カテゴリの情報を参照できます。
- ・管理者 モードでは、「ステータス」「プリンタ」「ネットワーク」「ジョブリスト」「セキュリティ」「メンテナンス」「リンク」の 7 種類のカテゴリが表示され、各カテゴリの情報や設定を、参照、変更できます。

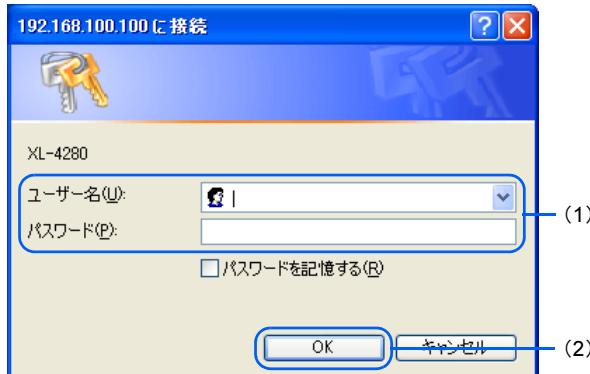
管理者モードに切り替える

- 1 ユーザーモード画面の「管理者モード」をクリックします。



ユーザー名とパスワードの入力ウィンドウが表示されます。

2 (1) ユーザー名とパスワードを入力して、(2) 「OK」をクリックします。



表：項目と説明

項目名	説明
ユーザー名	「xladmin」固定です。
パスワード	初期値は「PrintiaLaser」です。 パスワードの変更については、「パスワード設定」(→ P.196)をご覧ください。

管理者モード画面に切り替わります。

ユーザー mode に切り替える

「ユーザー mode」に切り替えるには、Web ブラウザを終了し、再度「Printia LASER Internet Service」画面を起動してください。「Printia LASER Internet Service」画面の起動方法については、「「Printia LASER Internet Service」画面を起動する」(→ P.133) をご覧ください。

情報の参照や設定の変更

画面左側の「メニューエリア」でメニュー項目をクリックすると、画面右側の「情報表示エリア」に情報や設定項目が表示されます。管理者モードの場合は、必要に応じて設定を変更できます。

設定の変更（管理者モードのみ）

1 設定を変更したら、「送信」をクリックします。

「送信」をクリックする前に「キャンセル」をクリックすると、変更前の状態に戻ります。

重要

- ・設定を変更したページで「送信」をクリックせずに、メニューエリアの他のカテゴリやメニューをクリックすると、入力した値は設定されることなく削除されます。他のカテゴリやメニューをクリックする前に、必ず「送信」をクリックして設定を更新してください。

設定を更新するためにプリンタが再起動され、次のメッセージが表示されます。

プリンタが復帰するまで、しばらく待ちます。



POINT

- ・環境によっては、次の画面が表示される場合があります。



「Printia LASER Internet Service」で設定できる項目と初期値

「Printia LASER Internet Service」で設定できる項目と、各項目の初期値は次のとおりです。なお、設定を変更できるのは、管理者モードのみです。

「プリンタ」カテゴリ

■一般プリンタ設定

表：「一般プリンタ設定」で設定可能な項目

設定できる項目		初期値	参照先
プリンタ識別情報	プリンタ名	プリンタ名	「一般プリンタ設定」(→ P.160)
	設置場所	設定なし	
	プリンタ管理番号	設定なし	
	管理者の連絡先	設定なし	

■印刷メニュー

表：「印刷メニュー」で設定可能な項目

設定できる項目		初期値	参照先
サブメニュー：印刷方法			「印刷メニュー」(→ P.161)
印刷に関する設定	コピー枚数	1	
用紙に関する設定	用紙長さチェック	有効	
サブメニュー：印刷品質			
印刷品質	普通紙 黒セッティング	0	
サブメニュー：印刷位置			
印刷位置	X（横）補正	0.00 (ミリメートル)	「印刷メニュー」(→ P.161)
	Y（縦）補正	0.00 (ミリメートル)	

■用紙メニュー

表：「用紙メニュー」で設定可能な項目

設定できる項目			初期値	参照先
給紙口構成	カセット 1	用紙サイズ	A4	「用紙メニュー」(→ P.162)
		用紙種類	普通紙	
	カセット 2	用紙サイズ	A4	
		用紙種類	普通紙	
	給紙トレイ	用紙サイズ	A4	
		用紙種類	普通紙	

■プリンタ構成メニュー

表：「プリンタ構成メニュー」で設定可能な項目

設定できる項目		初期値	参照先
プリンタ構成メニュー	エミュレーション	WIN	「プリンタ構成メニュー」 (→ P.162)
パワーセーブに関する設定	パワーセーブ移行時間	1分	
パワーセーブ移行時間	パワーセーブ	有効	
エラーに関する設定	ジャムリカバリ	オン	
タイムアウトに関する設定	タイムアウト時間	40秒	
	ポート開放 ローカル	+30(秒)	
	ポート開放 ネットワーク	+30(秒)	

■インターフェースメニュー

表：「インターフェースメニュー」で設定可能な項目

設定できる項目		初期値	参照先
サブメニュー：USB			「USB」(→ P.164)
USB メニュー	スピード	480Mbps	
	ソフトリセット	無効	
	シリアル番号	有効	
サブメニュー：パラレルメニュー			「パラレル」(→ P.165)
通信に関する設定	双方向モード	有効	
	双方向高速通信 (ECP)	有効	
	ACK 幅	狭い	
	ACK/BUSY タイミング	ACK IN BUSY	
	INIT	無効	

■HEX ダンプ

表：「HEX ダンプ」で設定可能な項目

設定できる項目		初期値	参照先
HEX ダンプ	プリンタを HEX ダンプモードにします	オフ	「HEX ダンプ」(→ P.166)

■設定印刷

表：「設定印刷」で設定可能な項目

設定できる項目		初期値	参照先
設定 / 情報の印刷	設定の一覧	オフ	「設定印刷」(→ P.166)
	Network Information	オフ	
	TEXT フォントリスト	オフ	
	5% サンプル	オフ	
	エラーログ	オフ	
	印刷集計結果	オフ	

「ネットワーク」カテゴリ

■一般ネットワーク設定

表：「一般ネットワーク設定」で設定可能な項目

設定できる項目	初期値	参照先
Ethernet の接続	Ethernet の接続の設定 自動	「一般ネットワーク設定」 (→ P.168)

■TCP/IP

表：「TCP/IP」で設定可能な項目

設定できる項目	初期値	参照先
IP アドレスを自動で取得します。(DHCP)	オン	「TCP/IP」(→ P.168)
IP アドレスを手動で設定します。	オフ	
IP アドレスの設定	IP アドレス サブネットマスク ゲートウェイアドレス	設定なし 設定なし 設定なし
ステップ 2：その他の TCP/IP 設定 (DNS 等)	その他の TCP/IP 設定の変更	—
その他の TCP/IP 設定の変更	DNS サーバアドレス (プライマリ) DNS サーバアドレス (セカンダリ)	設定なし 設定なし
ステップ 3:IPv6 アドレスの設定を行う場合は以下を設定してください。	IPv6	無効

■ Email

表：「Email」で設定可能な項目

設定できる項目		初期値	参照先
サブメニュー：送信設定			「送信設定」(→ P.171)
Email 送信設定	SMTP 送信	無効	
	SMTP サーバ	設定なし	
	プリンタ Email アドレス	設定なし	
	送信テスト	無効	
SMTP セキュリティ設定	SMTP ポート番号	25	
	SMTP 認証	無効	
付加情報設定	プリンタモデル	オン	
	ネットワークインターフェース	オン	
	装置号機	オン	
	プリンタ管理番号	オフ	
	プリンタ名	オフ	
	設置場所	オフ	
	IP アドレス	オン	
	MAC アドレス	オフ	
	プリンタ URL	オフ	
	コメント	設定なし	
その他	返信先 Email アドレス	設定なし	
サブメニュー：障害情報			「障害情報」(→ P.174)
障害通知設定	アドレス 1～5	設定なし	
障害通知設定	障害通知方法	設定なし	
定期的な通知の設定	メール通知間隔	24 (時間)	
	障害通知条件設定	「障害情報」画面で確認できます。確認方法については、「障害通知の設定をアドレスごとに確認する／比較する」(→ P.180) をご覧ください。	
障害発生時の通知の設定	障害通知条件設定		
詳細設定	発信までの遅延	0 (時間) 0 (分)	

■ SNMP

表：「SNMP」で設定可能な項目

設定できる項目		初期値	参照先
サブメニュー：設定			「設定」（→ P.181）
SNMP Read コミュニティの変更	新しい SNMP Read コミュニティ	public	
	新しい SNMP Read コミュニティの再入力		
SNMP Write コミュニティの変更	新しい SNMP Write コミュニティ	public	
	新しい SNMP Write コミュニティの再入力		
サブメニュー：Trap			「Trap」（→ P.182）
プリンタ Trap 設定	プリンタ Trap コミュニティ名設定	public	
	プリンタ Trap アドレス設定 1～5	設定なし	
	プリンタ Trap 送信条件設定	設定なし	

■ IPP

表：「IPP」で設定可能な項目

設定できる項目		初期値	参照先
サブメニュー：設定			「設定」（→ P.183）
基本的な設定	IPP	有効	
	管理者からの連絡事項	設定なし	
サブメニュー：認証			「認証」（→ P.184）
認証の設定	認証	NONE	
	ユーザー名／パスワード 1～50	設定なし	

「ジョブリスト」カテゴリ

■ 表示項目設定

表：「表示項目設定」で設定可能な項目

設定できる項目		初期値	参照先
表示項目	ドキュメント名	表示	「「ジョブリスト」カテゴリ」 （→ P.185）
	ジョブ状態	表示	
	ジョブ種類	表示しない	
	コンピュータ名	表示	
	ユーザー名	表示	
	印刷済み面数	表示しない	
	送信時間	表示しない	
	送信ポート	表示しない	

「セキュリティ」カテゴリ

■プロトコル ON/OFF

表：「プロトコル ON/OFF」で設定可能な項目

設定できる項目		初期値	参照先
サービス	Web サービス（ポート番号：80）	有効	「プロトコル ON/OFF」（→ P.188）
	IPP サービス（ポート番号：631）	有効	
	SNMP サービス	有効	
ポート番号	Web	80	
	SMTP	25	

■IP フィルタリング

表：「IP フィルタリング」で設定可能な項目

設定できる項目		初期値	参照先
IP フィルタリング	IP フィルタリング	無効	「IP フィルタリング」（→ P.189）
	IP アドレスの範囲	開始アドレス	
	1～10	終了アドレス	
	設定される管理者 IP アドレス	設定なし	

■パスワード設定

表：「パスワード設定」で設定可能な項目

設定できる項目		初期値	参照先
管理者のパスワード を変更できます。	新しい管理者のパスワード 新しいパスワードの再入力	PrintiaLaser	「パスワード設定」（→ P.196）

「メンテナンス」カテゴリ

■再起動 / 初期化

表：「再起動 / 初期化」で設定可能な項目

設定できる項目		初期値	参照先
プリンタの再起動	プリンタを再起動します。	オフ	「再起動 / 初期化」（→ P.197）
ネットワークの再起動	プリンタのネットワークを再起動します。	オフ	
プリンタの初期化	プリンタの設定を初期化します。	オフ	
ネットワークの初期化	ネットワークの設定を初期化します。	オフ	

■LAN の規模の設定

表：「LAN の規模の設定」で設定可能な項目

設定できる項目		初期値	参照先
LAN の規模の設定	LAN	普通	「LAN の規模の設定」（→ P.198）

「リンク」カテゴリ

■ リンク編集メニュー

表：「リンク編集メニュー」で設定可能な項目

設定できる項目		初期値	参照先
サポートリンク	ドライバダウンロード	http://www.fmworld.net/biz/fmv/index_down.html	「リンク編集メニュー（管理者モードのみ）」（→ P.199）
	テクニカルサポート	http://www.fmworld.net/biz/fmv/contact/	
	消耗品の注文	https://www.coworco.com/servlet/LoginUser	
	富士通製品情報ページ	http://www.fmworld.net/biz/printer/	
	富士通	http://jp.fujitsu.com/	
その他のリンク	その他のリンク	タイトル	設定なし
	1 ~ 5	URL	設定なし

3 各画面の詳細

「Printia LASER Internet Service」の各カテゴリとメニューの詳細について説明します。

「Printia LASER Internet Service」のカテゴリ

画面左側の「メニューエリア」で、 の付いている「カテゴリ」をクリックすると、その下に利用できる「メニュー」が表示されます。表示または設定したいメニューをクリックすると、画面右側の「情報表示エリア」に表示される内容が切り替わります。カテゴリの種類は次のとおりです。

■ ユーザーモードの場合



■ 管理者モードの場合



1 「ステータス」 カテゴリ

プリンタの状態、プリンタ情報、ネットワーク情報などを確認できます。
詳しくは、「「ステータス」 カテゴリ」(→ P.148) をご覧ください。

2 「プリンタ」 カテゴリ（管理者モードのみ）

プリンタと印刷に関する設定ができます。
詳しくは、「「プリンタ」 カテゴリ（管理者モードのみ）」(→ P.159) をご覧ください。

3 「ネットワーク」 カテゴリ（管理者モードのみ）

プリンタのネットワークに関する設定や、プリンタの状態を通知するメールの設定などができます。

詳しくは、「「ネットワーク」 カテゴリ（管理者モードのみ）」（→ P.167）をご覧ください。

4 「ジョブリスト」 カテゴリ

印刷ジョブの状態を確認したり、表示する項目を設定したりできます。

詳しくは、「「ジョブリスト」 カテゴリ」（→ P.185）をご覧ください。

5 「セキュリティ」 カテゴリ（管理者モードのみ）

サービスの有効／無効、IP アドレスフィルタリング、管理者パスワードを設定できます。

詳しくは、「「セキュリティ」 カテゴリ（管理者モードのみ）」（→ P.187）をご覧ください。

6 「メンテナンス」 カテゴリ（管理者モードのみ）

再起動や初期化、LAN の規模の設定ができます。

詳しくは、「「メンテナンス」 カテゴリ（管理者モードのみ）」（→ P.196）をご覧ください。

7 「リンク」 カテゴリ

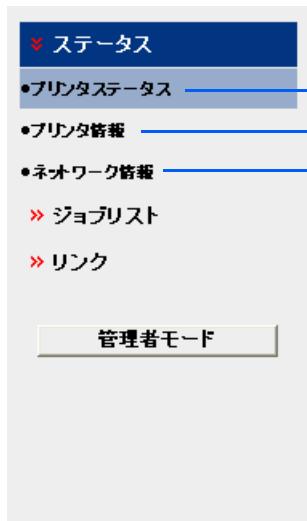
プリンタのサポート情報などへのリンクが表示されます。管理者モードでは、リンク先を設定できます。

詳しくは、「「リンク」 カテゴリ」（→ P.198）をご覧ください。

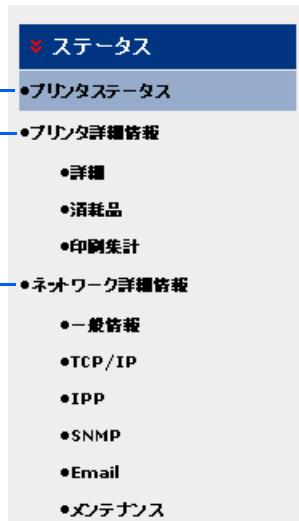
「ステータス」 カテゴリ

「ステータス」 カテゴリでは、プリンタの状態、プリンタ情報、ネットワーク情報を確認できます。

■ユーザー モード



■管理者 モード



1 プリンタステータス

クリックすると、「プリンタステータス」画面が表示されます。

詳しくは、「プリンタステータス」（→ P.149）をご覧ください。

2 プリンタ情報（ユーザーモード）

クリックすると、「プリンタ情報」画面が表示されます。

詳しくは、「プリンタ情報（ユーザーモードのみ）」（→ P.152）をご覧ください。

3 プリンタ詳細情報（管理者モード）

クリックすると、「プリンタ詳細情報」画面が表示されます。

詳しくは、「プリンタ詳細情報（管理者モードのみ）」（→ P.153）をご覧ください。

4 ネットワーク情報（ユーザーモード）

クリックすると、「ネットワーク情報」画面が表示されます。

詳しくは、「ネットワーク情報（ユーザーモードのみ）」（→ P.155）をご覧ください。

5 ネットワーク詳細情報（管理者モード）

クリックすると、「ネットワーク詳細情報」画面が表示されます。

詳しくは、「ネットワーク詳細情報（管理者モードのみ）」（→ P.156）をご覧ください。

プリンタステータス

「プリンタステータス」画面では、プリンタの状態や、プリンタの一般情報、ネットワーク情報などを確認できます。

■管理者モード



1 ステータス更新ボタン

クリックすると、「ステータス」カテゴリのプリンタの状態表示内容が更新されます。

2 オペレータパネルウィンドウ

プリンタの、オペレータパネルの1行目と同じ内容が表示されます。

3 ステータスウィンドウボタン（管理者モードのみ）

クリックすると、「ステータスウィンドウ」が表示されます。「ステータスウィンドウ」について詳しくは、「ステータスウィンドウ」（→ P.151）をご覧ください。

4 トナー残量

トナー残量が表示されます。

5 ドラム使用量

ドラム使用量が表示されます。

6 プリンタ情報

次の情報が表示されます。

表：「プリンタ情報」の項目一覧

項目	説明
プリンタ名	プリンタ名が表示されます。 「「プリンタ」カテゴリ（管理者モードのみ）」（→ P.159）の「一般プリンタ設定」（→ P.160）で設定を変更できます。
IP アドレス	IP アドレスが表示されます。 「「ネットワーク」カテゴリ（管理者モードのみ）」（→ P.167）の「TCP/IP」（→ P.168）で設定を変更できます。
MAC アドレス	MAC アドレスが表示されます。
設置場所	設置場所が表示されます。 「「プリンタ」カテゴリ（管理者モードのみ）」（→ P.159）の「一般プリンタ設定」（→ P.160）で設定を変更できます。
装置号機	装置号機が表示されます。
プリンタ管理番号	プリンタの管理番号が表示されます。 「「プリンタ」カテゴリ（管理者モードのみ）」（→ P.159）の「一般プリンタ設定」（→ P.160）で設定を変更できます。
管理者の連絡先	管理者の連絡先が表示されます。 「「プリンタ」カテゴリ（管理者モードのみ）」（→ P.159）の「一般プリンタ設定」（→ P.160）で設定を変更できます。
カセット 1	カセット 1 の用紙サイズが表示されます。
カセット 2	オプションの拡張給紙ユニットが取り付けられているとき、カセット 2 の用紙サイズが表示されます。
給紙トレイ	給紙トレイの用紙サイズが表示されます。
メモリ	プリンタに搭載されている、すべてのメモリ容量が表示されます。

7 バージョン情報

プリンタに組み込まれているファームウェアなどのバージョン情報が表示されます。

表：「バージョン情報」の項目一覧

項目	説明
CU F/W バージョン	CU ファームウェアの版数が表示されます。
PU F/W バージョン	PU ファームウェアの版数が表示されます。
Network Version	ネットワークファームウェアの版数が表示されます。
Internet Service	「Printia LASER Internet Service」の版数が表示されます。
Web 言語バージョン	Web 言語の版数が表示されます。

8 印刷サービス

各印刷サービスの状態が表示されます。ランプ点灯（緑色）のときに、サービスを使用できます。

9 設定サービス

各設定サービスの状態が表示されます。ランプ点灯（緑色）のときに、サービスを使用できます。

POINT

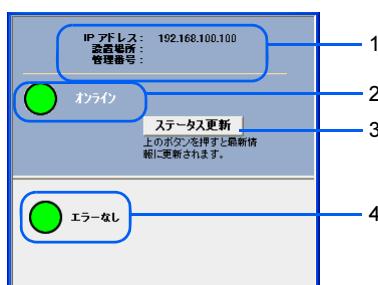
- ・本製品でエラーが発生しているときは、「オペレータパネルウィンドウ」（→ P.149）内と、「プリンタ情報」（→ P.150）の上に「エラー情報」が表示されます。



表示される内容については、「エラー情報」（→ P.216）をご覧ください。

ステータスウィンドウ

「ステータスウィンドウ」には、プリンタの状態が表示されます。



1 プリンタ情報

プリンタについて、次の内容が表示されます。

表：「プリンタ情報」の項目一覧

項目	説明
IP アドレス	IP アドレスが表示されます。
設置場所	設置場所が表示されます。
プリンタ管理番号	プリンタの管理番号が表示されます。

2 オンラインランプ

オペレータパネルのオンラインランプと同様に表示され、右側にデータの処理状況が表示されます。

表：オンラインランプの状態と処理状況一覧

ランプの状態	説明
点灯時	データを受信できる状態です。
点滅時	受信したデータを処理しています。
消灯時	データを受信できない状態、またはデータ受信待ちの状態です。

3 ステータス更新ボタン

クリックすると、表示されている情報が最新の状態に更新されます。

4 エラーランプ

オペレータパネルのエラーランプと同様に表示され、右側にエラー状況が表示されます。

表：エラーランプの状態とエラー状況一覧

ランプの状態	説明
点灯時	ワーニングが発生しました。印刷はできます。
点滅時	エラーが発生しました。印刷はできません。
消灯時	エラーは発生していません。

プリンタ情報（ユーザー モードのみ）

「プリンタ情報」画面では、ネットワーク上にあるプリンタの識別情報や、装置情報を確認できます。

The screenshot shows the 'Printer Identification Information' section (1) and the 'Printer Device Information' section (2). Both sections are enclosed in blue boxes.

プリンタ識別情報	
プリンタ名:	XL-4280-9B49D9
設置場所:	
装置号機:	LD-----
プリンタ管理番号:	
管理者の連絡先:	

プリンタ装置情報	
力セット1:	A4
力セット2:	A4
給紙トレイ:	A4
メモリ:	32 MB
プリンタ管理番号:	
CU F/Wバージョン:	F0.19
PU F/Wバージョン:	00.F0.08

1 プリンタ識別情報

「プリンタ詳細情報（管理者 モードのみ）」（→ P.153）の「プリンタ識別情報」（→ P.153）をご覧ください。

2 プリンタ装置情報

「プリンタ詳細情報（管理者 モードのみ）」（→ P.153）の「プリンタ詳細情報」（→ P.154）をご覧ください。

プリンタ詳細情報（管理者モードのみ）

「プリンタ詳細情報」画面では、プリンタに関する詳細な情報を確認できます。

1 プリンタ識別情報

プリンタ名:	XL-4280-9B49D9
設置場所:	
装置号機:	LD-----
プリンタ管理番号:	
管理者の連絡先:	

2 プリンタ詳細情報

カセット1:	A4
カセット2:	A4
給紙トレイ:	A4
メモリ:	32 MB
装置号機:	LD-----
プリンタ管理番号:	
CU FWバージョン:	F0.19
PU FWバージョン:	00.F0.08
装置寿命カウント:	0%

3 消耗品情報

トナー残量:	
ブラック (1.5K)	あり
ドラム使用量:	
ブラック:	0%
印刷枚数:	13
総印刷ページ数:	13
カセット1給紙回数:	2
カセット2給紙回数:	0
給紙トレイ給紙回数:	0

4 印刷集計結果

用紙:	印刷枚数
トータルカウント	
A4:	1
トータル:	1
消耗品交換回数	
トナー	0
ドラム	0

1 プリンタ識別情報

プリンタの一般情報が表示されます。

設定の変更は、「「プリンタ」カテゴリ（管理者モードのみ）」（→ P.159）の「一般プリンタ設定」（→ P.160）で行います。

次の表の「ユーザーモード」欄が「○」の項目は、「プリンタ情報（ユーザーモードのみ）」（→ P.152）でも表示されます。

表：「プリンタ識別情報」の項目一覧

項目	説明	ユーザーモード
プリンタ名	プリンタ名が表示されます。	○
設置場所	設置場所が表示されます。	○
装置号機	装置号機が表示されます。	○
プリンタ管理番号	プリンタの管理番号が表示されます。	○
管理者の連絡先	管理者の連絡先が表示されます。	○

2 プリンタ詳細情報

プリンタの詳細情報が表示されます。

次の表の「ユーザー モード」欄が「○」の項目は、「プリンタ情報（ユーザー モードのみ）」（→ P.152）でも表示されます。

表：「プリンタ詳細情報」の項目一覧

項目	説明	ユーザー モード
カセット 1	カセット 1 の用紙サイズが表示されます。	○
カセット 2	オプションの拡張給紙ユニットが取り付けられているとき、カセット 2 の用紙サイズが表示されます。	○
給紙トレイ	給紙トレイの用紙サイズが表示されます。	○
メモリ	プリンタに搭載されている、すべてのメモリ容量が表示されます。	○
プリンタ管理番号	プリンタの管理番号が表示されます。 「「プリンタ」カテゴリ（管理者 モードのみ）」（→ P.159）の「一般 プリンタ設定」（→ P.160）で設定を変更できます。	○
CU F/W バージョン	CU フームウェアの版数が表示されます。	○
PU F/W バージョン	PU フームウェアの版数が表示されます。	○
装置寿命カウント	プリンタの使用量が表示されます。100% で、装置寿命となります。	

3 消耗品情報

消耗品に関する情報が表示されます。

表：「消耗品情報」の項目一覧

項目	説明
トナー残量	トナー残量が表示されます。 プリンタにセットしているトナーの容量に合わせ、(1.5K)、(3.5K)、または(7K)が表示されます。
ドラム使用量	ドラムの使用量が表示されます。
印刷枚数	印刷枚数が表示されます。
総印刷ページ数	総印刷ページ数が表示されます。
カセット 1 給紙回数	カセット 1 から給紙された回数が表示されます。
カセット 2 給紙回数	オプションの拡張給紙ユニットが取り付けられているとき、カセット 2 から給紙された回数が表示されます。
給紙トレイ 給紙回数	給紙トレイから給紙された回数が表示されます。

4 印刷集計結果

印刷集計結果が表示されます。

表：「印刷集計結果」の項目一覧

項目	説明
トータルカウント	用紙サイズ別の印刷枚数、およびトータルの印刷枚数が表示されます。
消耗品交換回数	トナーとドラムの交換回数が表示されます。

ネットワーク情報（ユーザー モードのみ）

「ネットワーク情報」画面では、プリンタのネットワークに関する情報を確認できます。

プリンタ識別情報	
プリンタ名:	XL-4280-9B49D9
設置場所:	
装置号機:	LD-----
プリンタ管理番号:	
管理者の連絡先:	

一般情報	
Network Version:	F0.03
Internet Service:	F0.09
Web言語バージョン:	F0.09
MACアドレス:	0080879B49D9

TCP/IPステータス	
DHCP自動取得:	無効
IPアドレス:	192.168.100.100
サブネットマスク:	255.255.255.0
ゲートウェイアドレス:	192.168.100.1
DNSサーバ(プライマリ):	0.0.0
DNSサーバ(セカンダリ):	0.0.0

サービス	
LPRサービス:	有効
RAWサービス:	有効
IPPサービス:	有効
SNMPサービス:	有効
Webサービス:	有効

1 プリンタ識別情報

プリンタの一般情報が表示されます。

「プリンタ詳細情報（管理者モードのみ）」（→ P.153）の「プリンタ識別情報」（→ P.153）をご覧ください。

2 一般情報

プリンタのネットワークに関する一般情報が表示されます。

「ネットワーク詳細情報（管理者モードのみ）」（→ P.156）の「一般情報」（→ P.157）をご覧ください。

3 TCP/IP ステータス

プリンタの TCP/IP に関する設定が表示されます。

「ネットワーク詳細情報（管理者モードのみ）」（→ P.156）の「TCP/IP ステータス」（→ P.157）をご覧ください。

4 サービス

プリンタのサービスに関する設定が表示されます。

「ネットワーク詳細情報（管理者モードのみ）」（→ P.156）の「メンテナンス」（→ P.159）をご覧ください。

ネットワーク詳細情報 (管理者モードのみ)

「ネットワーク詳細情報」画面では、プリンタのネットワークに関する詳細な情報を確認できます。

プリンタ識別情報 プリンタ名: XL-4280-9B49D9 設置場所: 装置名標: LD----- プリンタ管理番号: 管理者の連絡先:	1
一般情報 プリンタ名: XL-4280-9B49D9 Network Version: F0.03 Internet Service: F0.09 Web言語バージョン: F0.09 ファイルバージョン (ME/WU/DF/AD/LD): F0.09 / F0.09 / F0.03 / F0.04 / F0.05 DLMバージョン (ONL/WEB/NIF): F0.04 / F0.06 / F0.05 MACアドレス: 0008079B49D9 Ethernetの接続の設定: 自動 Ethernetの接続状態: OK(100BASE-TX FULL) ネットワークステータス プリンタ宛パケット受信数: 8568 パケット送信数: 10308 パケット受信数: 221658 送信エラーパケット数: 0 不良パケット受信数: 0	2
TCP/IP ステータス DHCP自動取得: 無効 IPアドレス: 192.168.100.100 サブネットマスク: 255.255.255.0 ゲートウェイアドレス: 192.168.100.1 Webアドレス: http://192.168.100.100/ http://XL-4280-9B49D9/ Webポート番号: 80 DNSサーバ(プライマリ): 0.0.0.0 DNSサーバ(セカンダリ): 0.0.0.0 IPv6: 無効	3
IPPステータス IPP: 有効 IPPを使用して印刷するときは、次のいずれかのURLを使用してください。 http://192.168.100.100/ipp http://192.168.100.100:631/ipp 管理者からの連絡事項: 認証: NONE	4
SNMPステータス SNMP Trap プリンタTrapコミュニティ名: public	5
Emailステータス Email送信ステータス SMTP送信: 無効 SMTPサーバ: プリンタEmailアドレス: 送信先Emailアドレス: SMTPポート番号: 25 Email送信先 Emailアドレス 1: Emailアドレス 2: Emailアドレス 3: Emailアドレス 4: Emailアドレス 5: SMTP認証 SMTP認証: 無効 ユーザーID: Emailコメント	6
メンテナンス Webサービス(ポート番号: 80): 有効 IPPサービス(ポート番号: 631): 有効 LPRサービス: 有効 RAWサービス: 有効 SNMPサービス: 有効 LAN接続の設定: 普通	7

1 プリンタ識別情報

「プリンタ詳細情報（管理者モードのみ）」（→ P.153）の「プリンタ識別情報」（→ P.153）をご覧ください。

2 一般情報

プリンタのネットワークに関する一般情報が表示されます。

次の表の「ユーザー モード」欄が「○」の項目は、「ネットワーク情報（ユーザー モードのみ）」（→ P.155）でも表示されます。

表：「一般情報」の項目一覧

項目	説明	ユーザー モード
プリンタ名	プリンタ名が表示されます。 「「プリンタ」カテゴリ（管理者モードのみ）」（→ P.159）の「一般プリンタ設定」（→ P.160）で設定を変更できます。	
Network Version	ネットワークファームウェアの版数が表示されます。	○
Internet Service	「Printia LASER Internet Service」の版数が表示されます。	○
Web 言語バージョン	Web 言語の版数が表示されます。	○
ファイルバージョン（WE/WJ/DF/LD/LO）	各ファイルのバージョンが表示されます。	
DLM バージョン（PNL/WEB/NIF）	各処理部のバージョンが表示されます。	
MAC アドレス	MAC アドレスが表示されます。	○
Ethernet の接続の設定	Ethernet の接続の設定が表示されます。 「「ネットワーク」カテゴリ（管理者モードのみ）」（→ P.167）の「一般ネットワーク設定」（→ P.168）で設定を変更できます。	
Ethernet の接続状態	Ethernet の接続状態が表示されます。	
ネットワークステータス		
プリンタ宛パケット受信数	プリンタ宛パケット受信数が表示されます。	
パケット送信数	パケット送信数を表示します。	
パケット受信数	パケット受信数を表示します。	
送信エラーパケット数	送信エラーパケット数が表示されます。	
不良パケット受信数	不良パケット受信数が表示されます。	

3 TCP/IP ステータス

「「ネットワーク」カテゴリ（管理者モードのみ）」（→ P.167）の「TCP/IP」（→ P.168）で設定を変更できます。

次の表の「ユーザー モード」欄が「○」の項目は、「ネットワーク情報（ユーザー モードのみ）」（→ P.155）でも表示されます。

表：「TCP/IP ステータス」の項目一覧

項目	説明	ユーザー モード
DHCP 自動取得	DHCP による IP アドレス自動取得の状態が表示されます。 ・有効：IP アドレスを DHCP により取得します。 ・無効：IP アドレスを直接設定します。	○
IP アドレス	IP アドレスが表示されます。	○
サブネットマスク	サブネットマスクが表示されます。	○

表：「TCP/IP ステータス」の項目一覧

項目	説明	ユーザー モード
ゲートウェイ アドレス	ゲートウェイ アドレスが表示されます。	○
Web アドレス	プリンタの Web アドレス (URL) が表示されます。	
Web ポート番号	Web ポート番号が表示されます。	
DNS サーバ (プライマリ / セカンダリ)	プライマリとセカンダリの DNS サーバの IP アドレスが表示されます。	○
IPv6	IPv6 の有効 / 無効が表示されます。	

4 IPP ステータス

「ネットワーク」カテゴリ (管理者モードのみ)」(→ P.167) の「IPP」(→ P.183) で設定を変更できます。

表：「IPP ステータス」の項目一覧

項目	説明
IPP	IPP の有効 / 無効が表示されます。
IPP を使用して印刷するときは、次のいずれかの URL を使用してください。	IPP 印刷を行う場合の URL が表示されます。
管理者からの連絡事項	管理者からの連絡事項が表示されます。
認証	認証の設定が表示されます。

5 SNMP ステータス

「プリンタ Trap コミュニティ名」が表示されます。

「ネットワーク」カテゴリ (管理者モードのみ)」(→ P.167) の「SNMP」(→ P.181) で設定を変更できます。

6 Email ステータス

プリンタからの Email 送信などに関する情報が表示されます。

「ネットワーク」カテゴリ (管理者モードのみ)」(→ P.167) の「Email」(→ P.171) で設定を変更できます。

表：「Email ステータス」の項目一覧

項目	説明
Email 送信ステータス	
SMTP 送信	SMTP 送信の有効 / 無効が表示されます。
SMTP サーバ	SMTP サーバのホスト名または IP アドレスが表示されます。
プリンタ Email アドレス	送信元 (プリンタ) の Email アドレスが表示されます。
返信先 Email アドレス	送信がエラーになったときの返信アドレスが表示されます。
SMTP ポート番号	SMTP サーバのポート番号が表示されます。
Email 送信先	
Email アドレス 1 ~ 5	Email の送信先が表示されます。
SMTP 認証	
SMTP 認証	SMTP 認証の有効 / 無効が表示されます。
ユーザ ID	ユーザ ID が表示されます。
Email コメント	Email コメントが表示されます。

7 メンテナンス

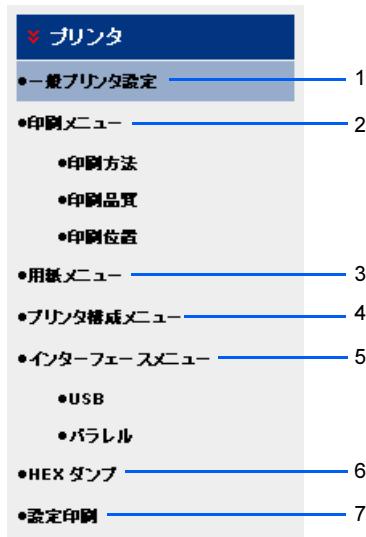
プリンタのサービスの状態などが表示されます。

表：「メンテナンス」の項目一覧

項目	説明	ユーザー モード
Web サービス（ポート番号 :80）	Web サービスのポート番号と有効／無効が表示されます。 「セキュリティ」カテゴリ（管理者モードのみ）（→ P.187）の 「プロトコル ON/OFF」（→ P.188）で設定を変更できます。	○ (有効／無効のみ)
IPP サービス（ポート番号 :631）	IPP サービスのポート番号と有効／無効が表示されます。 「セキュリティ」カテゴリ（管理者モードのみ）（→ P.187）の 「プロトコル ON/OFF」（→ P.188）で設定を変更できます。	○ (有効／無効のみ)
LPR サービス	LPR サービスの有効／無効が表示されます。	○
RAW サービス	RAW サービスの有効／無効が表示されます。	○
SNMP サービス	SNMP サービスの有効／無効が表示されます。 「セキュリティ」カテゴリ（管理者モードのみ）（→ P.187）の 「プロトコル ON/OFF」（→ P.188）で設定を変更できます。	○
LAN 規模の設定	LAN の規模が表示されます。 「メンテナンス」カテゴリ（管理者モードのみ）（→ P.196）の 「LAN の規模の設定」（→ P.198）で設定を変更できます。	

「プリンタ」カテゴリ（管理者モードのみ）

「プリンタ」カテゴリでは、プリンタ、印刷、用紙などの情報を確認、設定できます。



1 一般プリンタ設定

ネットワーク上で確認できる、プリンタの識別情報を設定します。

詳しくは、「一般プリンタ設定」（→ P.160）をご覧ください。

2 印刷メニュー

印刷方法、印刷品質、印刷位置を設定します。

詳しくは、「印刷メニュー」（→ P.161）をご覧ください。

3 用紙メニュー

カセット 1～2、および給紙トレイの用紙サイズと用紙種類を設定します。

詳しくは、「用紙メニュー」(→ P.162) をご覧ください。

4 プリンタ構成メニュー

パワーセーブへの移行時間、エラー発生時の動作タイムアウトなどを設定します。

詳しくは、「プリンタ構成メニュー」(→ P.162) をご覧ください。

5 インターフェースメニュー

USB インターフェース、パラレルインターフェースの設定を行います。

詳しくは、「インターフェースメニュー」(→ P.164) をご覧ください。

6 HEX ダンプ

プリンタを HEX ダンプモードに設定します。

詳しくは、「HEX ダンプ」(→ P.166) をご覧ください。

7 設定印刷

プリンタの各種設定値を印刷します。

詳しくは、「設定印刷」(→ P.166) をご覧ください。

一般プリンタ設定

「一般プリンタ設定」画面では、プリンタの識別情報を設定できます。

プリンタ識別情報	
プリンタ名	XL-4280-9B49D9 (最大31半角英数字)
設置場所	(最大255半角英数字)
プリンタ管理番号	(最大8半角英数字)
管理者の連絡先	(最大255半角英数字)

1 プリンタ識別情報

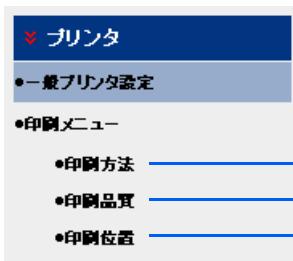
プリンタの識別情報を設定します。設定を変更後、「送信」をクリックすると反映されます。

表：「プリンタ識別情報」の項目一覧

項目	説明
プリンタ名	プリンタ名を、半角英数 31 文字以内で設定します。 初期値は、プリンタの機種名 + MAC アドレスの下 6 桁です。
設置場所	設置場所を、半角英数 255 文字以内で設定します。
プリンタ管理番号	プリンタ管理番号を、半角英数 8 文字以内で設定します。
管理者の連絡先	管理者の連絡先を、半角英数 255 文字以内で設定します。

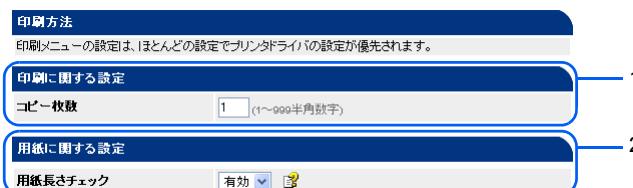
印刷メニュー

「印刷メニュー」には、「印刷方法」「印刷品質」「印刷位置」の3つのサブメニューがあります。



印刷方法

「印刷方法」画面では、印刷や用紙に関する設定ができます。



1 印刷に関する設定

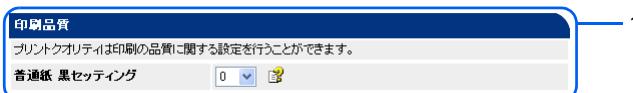
「コピー枚数」を設定できます。設定を変更後、「送信」をクリックすると反映されます。

2 用紙に関する設定

「用紙長さチェック」の有効／無効を設定できます。設定を変更後、「送信」をクリックすると反映されます。

印刷品質

「印刷品質」画面では、印刷品質に関する設定ができます。



1 印刷品質

「普通紙 黒セッティング」を設定できます。普通紙の印刷時に、かすれ、チリなどが顕著に発生する場合に、印刷品質を調整できます。印刷がかかる場合は+方向へ、チリが発生する場合は-方向へ値を変更してください。設定を変更後、「送信」をクリックすると反映されます。

印刷位置

「印刷位置」画面では、印刷位置に関する設定ができます。



1 印刷位置

用紙への印刷データの配置を、標準の位置から右方向と下方向へ微調整します。設定を変更後、「送信」をクリックすると反映されます。

表：「印刷位置」の項目一覧

項目	説明
X（横）補正	値をマイナスにすると、用紙に対して左方向に印字が移動します。 値をプラスにすると、用紙に対して右方向に印字が移動します。
Y（縦）補正	値をマイナスにすると、用紙に対して上方向に印字が移動します。 値をプラスにすると、用紙に対して下方向に印字が移動します。

用紙メニュー

「用紙メニュー」画面では、給紙口ごとの用紙サイズや用紙種類の設定ができます。



1 給紙口構成

給紙口ごとに、用紙サイズと用紙種類を設定できます。「カセット2」は、オプションの拡張給紙ユニットが取り付けられているとき、表示されます。
設定を変更後、「送信」をクリックすると反映されます。

プリンタ構成メニュー

「プリンタ構成メニュー」画面では、プリンタの動作に関する設定ができます。



1 プリンタ構成メニュー

プリンタ言語を「WIN」モードと「TEXT」モードで切り替えます。

「WIN」モードでは、本製品専用ドライバの印刷データのみ扱い、「TEXT」モードでは、本製品専用ドライバの印刷データに加えて TEXT 系データ (ESC/P 相当) も扱います。

設定を変更後、「送信」をクリックすると反映されます。

2 パワーセーブに関する設定

パワーセーブ（省電力モード）に移行するまでの時間を設定します。1 分、5 分、10 分、15 分、30 分、60 分、120 分、240 分から選択できます。設定を変更後、「送信」をクリックすると反映されます。

パワーセーブの有効／無効を切り替える場合は、 をクリックします。設定方法については、「パワーセーブの有効／無効を設定する」(→ P.163) をご覧ください。

3 エラーに関する設定

ジャムリカバリを行うかどうか設定します。「オン」「オフ」から選択できます。設定を変更後、「送信」をクリックすると反映されます。

「オン」にすると、印刷中に紙詰まりが発生した場合、紙詰まりが発生したページが復旧後に印刷されます。

4 タイムアウトに関する設定

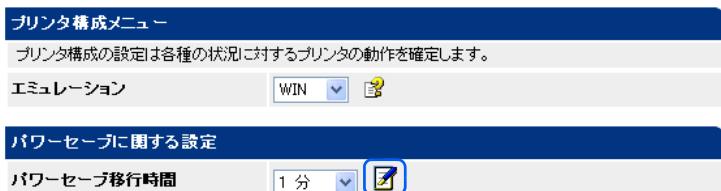
タイムアウトに関する設定を変更できます。設定を変更後、「送信」をクリックすると反映されます。

表：「タイムアウトに関する設定」の項目一覧

項目	説明
タイムアウト時間	印刷ジョブの受信中に受信が途絶えた場合に、後続のデータを待つ時間を設定します。 オフ (0 秒)、5 ~ 300 (秒) の範囲で設定できます。
ポート開放 ローカル	印刷完了後の各ローカルポート (パラレル、USB) の開放時間を設定します。
ポート開放 ネットワーク	印刷完了後の LAN ポートの開放時間を設定します。

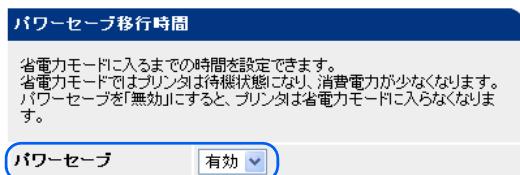
パワーセーブの有効／無効を設定する

- 1 「プリンタ構成メニュー」画面の「パワーセーブ移行時間」で をクリックします。



「パワーセーブ移行時間」画面が表示されます。

2 「パワーセーブ」で、有効／無効を選択します。



3 「送信」をクリックします。

パワーセーブの有効／無効が設定されます。

インターフェースメニュー

「インターフェースメニュー」には、「USB」「パラレル」の2つのサブメニューがあります。



USB

「USB」画面では、USB接続に関する設定ができます。



1 USB メニュー

USB 接続に関する設定ができます。設定を変更したら「送信」をクリックして、プリンタを再起動します。

表：「USB メニュー」の項目一覧

項目	説明
スピード	USB インターフェースの最大転送速度を設定します。
ソフトリセット	ソフトリセットコマンドの有効／無効を設定します。USB インターフェースの受信バッファをクリアする場合に、「ソフトリセット」機能を使用するソフトウェアがあります。そのようなソフトウェアを使用し、USB インターフェースをリセットしたい場合には、本項目を有効に設定しておく必要があります。
シリアル番号	プリンタのシリアル番号をホストに送信する（有効）か、しない（無効）かを選択できます。シリアル番号は、パソコンが、接続されている USB デバイスを識別するため使用されます。プリンタがシリアル番号を送信することでプリンタドライバの出力先が変化しなくなります。

パラレル

「パラレル」画面では、パラレル接続に関する設定ができます。



1 通信に関する設定

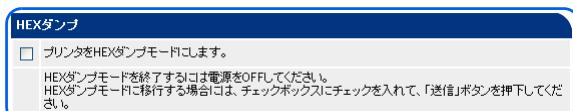
パラレル接続に関する設定ができます。設定を変更したら「送信」をクリックして、プリンタを再起動します。

表：「通信に関する設定」の項目一覧

項目	説明
双方向モード	双方向通信の有効／無効を設定します。
双方向高速通信 (ECP)	双方向モードが有効のとき、双方向高速通信 (ECP) をサポートするかどうかを設定します。 <ul style="list-style-type: none"> 有効：より高速な通信を行えます。 無効：双方向通信（ニブル）をサポートします。
ACK 幅	双方向通信（ニブル）受信時の受信速度を設定します。ACK 幅が短いほど、高速で受信できます。通常は初期値のまま使用してください。
ACK/BUSY タイミング	双方向通信受信時の BUSY 信号と ACK 信号の出力順序を設定します。通常は初期値のまま使用してください。ただし、初期値のまま使用して受信できない場合は、「ACK While BUSY」に変更してください。
INIT	I-PRIME 信号の有効時間／無効を設定します。パラレルインターフェースの受信バッファをクリアする場合に、I-PRIME 機能を使用するソフトウェアがあります。このようなソフトウェアを使用し、パラレルインターフェースをリセットしたい場合には、本項目を有効に設定しておきます。

HEX ダンプ

「HEX ダンプ」画面では、印刷モードの設定ができます。



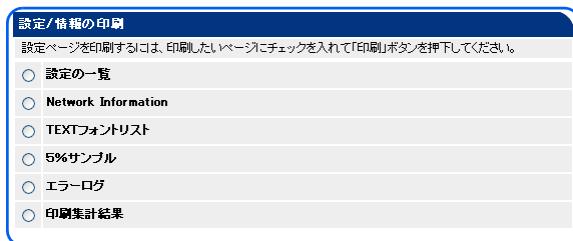
1 プリンタを HEX ダンプモードにします。

プリンタを HEX ダンプモードにする場合に にして、「送信」をクリックします。

HEX ダンプモードを終了するにはプリンタの電源を切ります。HEX ダンプモード時は、受信したデータをすべて 16 進数で印刷します。

設定印刷

「設定印刷」画面では、プリンタの設定を、項目を選択して印刷できます。



1 設定 / 情報の印刷

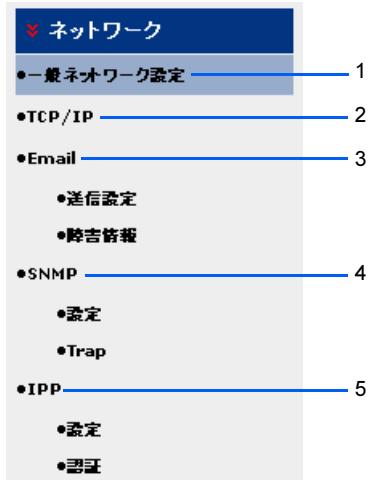
印刷したい項目を  にして「印刷」をクリックすると、選択した内容が印刷されます。

表：「設定 / 情報の印刷」の項目一覧

項目	説明
設定の一覧	現在のプリンタの設定内容を印刷します。
Network Information	ネットワーク情報を印刷します。
TEXT フォントリスト	フォントリストを印刷します。
5% サンプル	印字率約 5% のサンプルをテスト印刷します。
エラーログ	エラーログを印刷します。
印刷集計結果	トータルの印刷枚数など、印刷集計結果を印刷します。

「ネットワーク」カテゴリ（管理者モードのみ）

「ネットワーク」カテゴリでは、Ethernet の接続、TCP/IP、Email、SNMP、IPP に関する設定を確認、変更できます。



1 一般ネットワーク設定

ネットワーク上で確認できるプリンタの、識別情報を設定できます。

詳しくは、「一般ネットワーク設定」（→ P.168）をご覧ください。

2 TCP/IP

プリンタの TCP/IP に関する設定ができます。

詳しくは、「TCP/IP」（→ P.168）をご覧ください。

3 Email

プリンタの Email 送信に関する設定ができます。

詳しくは、「Email」（→ P.171）をご覧ください。

4 SNMP

プリンタの SNMP に関する設定ができます。

詳しくは、「SNMP」（→ P.181）をご覧ください。

5 IPP

IPP 印刷に関する設定ができます。

詳しくは、「IPP」（→ P.183）をご覧ください。

一般ネットワーク設定

「一般ネットワーク設定」画面では、Ethernet 接続に関する設定ができます。

The screenshot shows a configuration interface for an Ethernet connection. At the top, it displays the connection status as "OK(100BASE-TX FULL)". Below that, there is a dropdown menu labeled "自動" (Automatic). A blue callout line labeled "1" points to the top part of the interface.

1 Ethernet の接続

Ethernet の接続状態の確認と接続方法の設定ができます。設定を変更後、「送信」をクリックすると反映されます。

表：「Ethernet の接続」の項目一覧

項目	説明
Ethernet の接続状態	Ethernet の接続状態が表示されます。
Ethernet の接続の設定	ハブとのリンク方法を設定します。「自動」にすると、すべてのハブに対して接続方法を自動的に選択し、接続を試みます。

TCP/IP

「TCP/IP」画面では、TCP/IP に関する設定ができます。

The screenshot shows the TCP/IP configuration screen. It includes a section for "現在の設定" (Current Settings) containing fields for IP address (192.168.100.100), subnet mask (255.255.255.0), gateway (192.168.100.1), and DNS servers (Primary: 0.0.0, Secondary: 0.0.0). A blue callout line labeled "1" points to this section. Below it is a "設定変更" (Change Settings) section with three steps: 1. Selecting IP address acquisition method (DHCP or Manual). Step 1 is highlighted with a blue callout line labeled "2". 2. Advanced TCP/IP settings (DNS, etc.). 3. IPv6 settings. The IPv6 dropdown is set to "無効" (Disabled).

1 現在の設定

現在の TCP/IP に関する設定が表示されます。

各項目については、「ネットワーク詳細情報（管理者モードのみ）」（→ P.156）の「TCP/IP ステータス」（→ P.157）をご覧ください。

2 設定変更

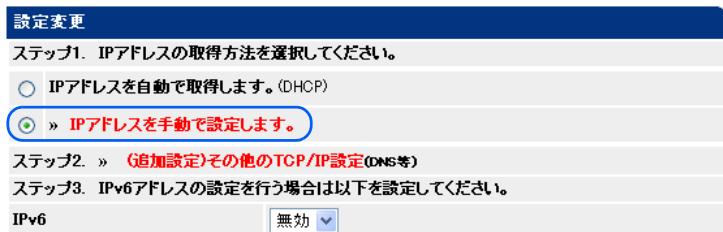
IP アドレスなど、TCP/IP に関する設定を行えます。設定を変更後、「送信」をクリックすると反映されます。

表：「設定変更」の項目一覧

項目	説明
ステップ1	IP アドレスの設定方法を選択します。 <ul style="list-style-type: none">「IP アドレスを自動で取得します。」を○にすると、IP アドレスを自動で取得します。「IP アドレスを手動で設定します。」を○にすると、「IP アドレスの設定」画面が表示されます。設定方法については、「固定 IP アドレスを設定する」(→ P.169) をご覧ください。
ステップ2	DNS サーバ (プライマリ / セカンダリ) のアドレスを設定する場合は、「(追加設定) その他の TCP/IP 設定」をクリックします。設定方法については、「その他の TCP/IP 設定を変更する」(→ P.170) をご覧ください。
ステップ3	IPv6 の有効 / 無効を設定します。

固定 IP アドレスを設定する

- 1 「TCP/IP」画面の「IP アドレスを手動で設定します。」を○にし、「IP アドレスを手動で設定します。」をクリックします。



- 2 (1) 「IP アドレスの設定」画面で、IP アドレスなどを入力して、(2) 「OK」をクリックします。



表：「IP アドレスの設定」の項目一覧

項目	説明
IP アドレス	固定 IP アドレスを設定します。
サブネットマスク	サブネットマスクを設定します。
ゲートウェイアドレス	ゲートウェイアドレスを設定します。

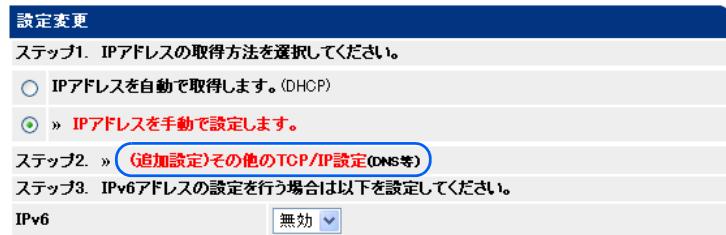
「TCP/IP」画面に戻ります。

3 「TCP/IP」画面で「送信」をクリックします。

固定 IP アドレスが設定されます。

その他の TCP/IP 設定を変更する

1 「TCP/IP」画面の「(追加設定) その他の TCP/IP 設定」をクリックします。



「その他の TCP/IP 設定の変更」画面が表示されます。

2 (1) 必要に応じて、DNS サーバ（プライマリ／セカンダリ）のアドレスを入力して、(2) 「OK」をクリックします。



表：「その他の TCP/IP 設定の変更」の項目一覧

項目	説明
DNS サーバアドレス (プライマリ)	DNS サーバアドレス（プライマリ）を設定します。
DNS サーバアドレス (セカンダリ)	DNS サーバアドレス（セカンダリ）を設定します。

「TCP/IP」画面に戻ります。

3 「TCP/IP」画面で「送信」をクリックします。

DNS サーバのアドレスが設定されます。

Email

「Email」には、「送信設定」「障害情報」の2つのサブメニューがあります。



送信設定

「送信設定」画面では、プリンタから Email を送信するための設定が行えます。

This screenshot shows the 'Email 送信設定' (Email Send Setting) configuration page. It includes the following fields:

- SMTP送信**: A dropdown menu currently set to '無効' (Disabled).
- SMTPサーバ**: A text input field for entering the SMTP server address, with a note: 'Emailサーバ名、もしくは、Emailサーバアドレスを入力してください。
(最大64半角英数字)'.
- 送信元アドレス**: A text input field for the sender's address, with a note: 'Emailの送信を有効にするために必要です。
(最大64半角英数字)'.
- 送信テスト**: A button labeled 'テスト実行' (Test Execution).

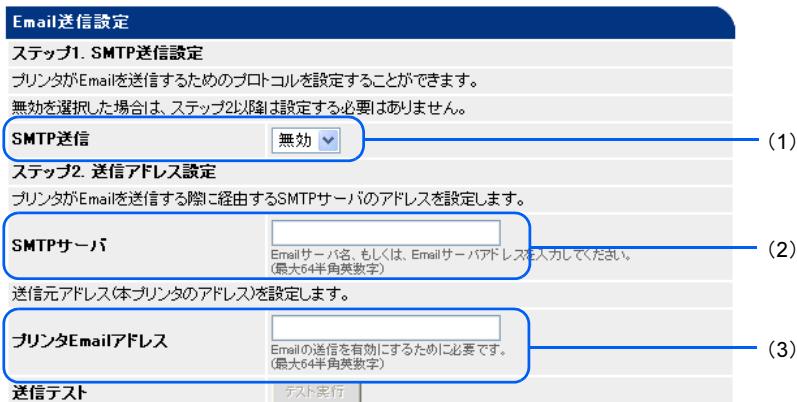
A blue box labeled '1' is drawn around the top section of the form, specifically around the 'SMTP送信' dropdown and the 'SMTPサーバ' input field.

1 Email 送信設定

プリンタから Email を送信するための設定方法については、「Email 送信のための設定をする」(→ P.172) をご覧ください。

■ Email 送信のための設定をする

- 1 「送信設定」画面の (1) 「SMTP 送信」を「有効」にして、(2) 「SMTP サーバ」と (3) 「プリンタ Email アドレス」を入力します。



表：「Email 送信設定」の項目一覧

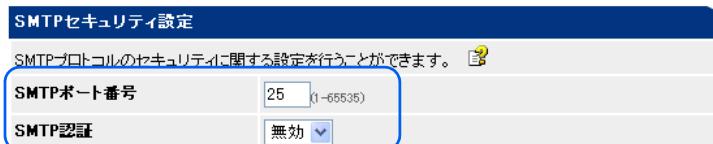
項目	説明
SMTP サーバ	プリンタが Email を送信するときに経由する SMTP サーバ名、または SMTP サーバの IP アドレスを、半角英数 64 文字以内で設定します。
プリンタ Email アドレス	プリンタから送信する Email の、送信元のメールアドレスを、半角英数 64 文字以内で設定します。

「SMTP 送信」を有効にすると、「送信設定」画面の「テスト実行」ボタンが有効になり、「ステップ 3」の項目が表示されます。

- 2 「ステップ 3」の「詳細」をクリックし、必要に応じて次の設定を行います。

■ SMTP セキュリティ設定

- 次の項目を設定します。



表：「SMTP セキュリティ設定」の項目一覧

項目	説明
SMTP ポート番号	SMTP ポート番号を 1 ~ 65535 の範囲で設定します。
SMTP 認証	SMTP 認証の有効／無効を設定します。「有効」を選択すると「ユーザ ID」「パスワード」設定が表示されます。

- 設定したら「SMTP セキュリティ設定」画面で、「OK」をクリックします。

■付加情報設定

- プリントから送信される Email 本文の文末に付加する情報を選択します。

付加情報設定

Email送信メッセージの文末に付加する文字列です。

<input checked="" type="checkbox"/> プリントモデル	: XL-4280
<input checked="" type="checkbox"/> ネットワークインターフェース	: XL-4280
<input checked="" type="checkbox"/> 装置号機	: LD-----
<input type="checkbox"/> プリント管理番号	:
<input type="checkbox"/> プリント名	: XL-4280-9B49D9
<input type="checkbox"/> 設置場所	:
<input checked="" type="checkbox"/> IPアドレス	: 192.168.100.100
<input type="checkbox"/> MACアドレス	: 0080879B49D9
<input type="checkbox"/> プリント URL	: http://192.168.100.100

コメント (最大63半角英数字)

表:「付加情報設定」の項目一覧

項目	説明
プリントモデル	プリントモデルを付加する場合に <input checked="" type="checkbox"/> にします。
ネットワークインターフェース	ネットワークインターフェースを付加する場合に <input checked="" type="checkbox"/> にします。
装置号機	装置号機を付加する場合に <input checked="" type="checkbox"/> にします。
プリント管理番号	プリント管理番号を付加する場合に <input checked="" type="checkbox"/> にします。
プリント名	プリント名を付加する場合に <input checked="" type="checkbox"/> にします。
設置場所	設置場所を付加する場合に <input checked="" type="checkbox"/> にします。
IP アドレス	IP アドレスを付加する場合に <input checked="" type="checkbox"/> にします。
MAC アドレス	MAC アドレスを付加する場合に <input checked="" type="checkbox"/> にします。
プリント URL	プリント URL を付加する場合に <input checked="" type="checkbox"/> にします。
コメント	コメントを付加する場合、半角英数 63 文字以内で入力します。

- 設定したら「付加情報設定」画面で、「OK」をクリックします。

■その他

- 返信先 Email アドレスを設定します。

その他

送信がエラーになった場合に、エラー通知メールを送信するアドレスを設定します。

返信先Emailアドレス	<input type="text"/> (最大78半角英数字)
--------------	-------------------------------------

OK キャンセル

表:「その他」の項目一覧

項目	説明
返信先 Email アドレス	プリンタからの Email 送信がエラーになった場合に、エラーを通知する Email アドレスを、半角英数 78 文字以内で設定します。

- 設定したら「その他」画面で、「OK」をクリックします。

3 「送信設定」画面で「送信」をクリックします。

プリンタからの Email 送信設定が完了します。

障害情報

「障害情報」画面では、プリンタのステータスが変化したときに送信する Email の宛先、内容、通知方法を設定できます。

The screenshot shows the 'Fault Information' configuration page. It includes three main sections:

- 障害通知条件設定**: A table for setting up to five email addresses for fault notifications. Each row has fields for 'アドレス' (Address), '設定' (Set), and 'コピー' (Copy). A blue box surrounds this section, with a blue arrow labeled '1' pointing to it.
- 障害通知条件参照**: A table listing various fault conditions with their initial states and notification times. A blue box surrounds this section, with a blue arrow labeled '2' pointing to it.
- 初期状態**: A dropdown menu set to 'アドレス1' (Address 1), with a blue arrow labeled '3' pointing to it.

送信条件	障害レベル	初期状態	アドレス	説明
消耗品	警告	即時	即時	トナー、ドラムカートリッジ
	エラー	即時	即時	
メンテナンスユニット	警告	2時間後	2時間後	
	エラー	即時	即時	定着器
用紙の補充	警告	15分後	15分後	用紙、OHP
	エラー	即時	即時	
印刷中の用紙	警告	無効	無効	カバーオープン、紙詰まり
	エラー	2時間後	2時間後	
フラッシュユニモリ	警告	無効	無効	
印刷の結果	警告	無効	無効	不完全な印刷
	エラー	2時間後	2時間後	
その他	エラー	2時間後	2時間後	

1 障害通知条件設定

プリンタの状態を Email で送信するための、送信先や送信条件を設定できます。

詳しくは、「障害を Email で通知するよう設定する」(→ P.175) をご覧ください。

2 障害通知条件参照（一覧）

プリンタの状態通知に関する条件を、一覧で確認できます。

詳しくは、「障害通知の設定をすべて確認する」(→ P.179) をご覧ください。

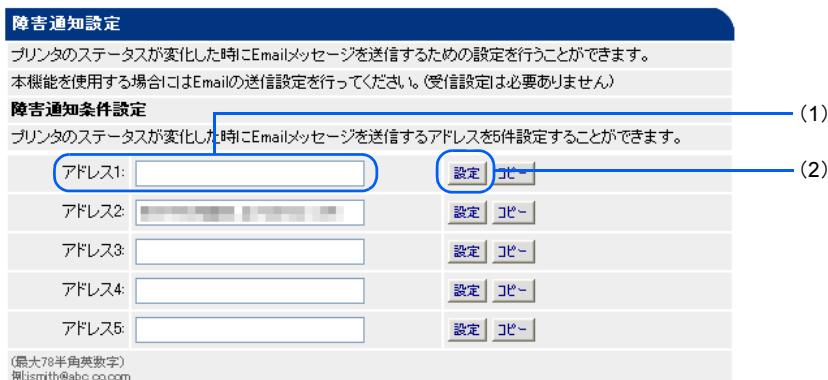
3 障害通知条件参照（アドレスごと）

プリンタの状態通知に関する条件を、送信先ごとに確認したり、初期設定や他の送信先の設定と比較したりできます。

詳しくは、「障害通知の設定をアドレスごとに確認する／比較する」(→ P.180) をご覧ください。

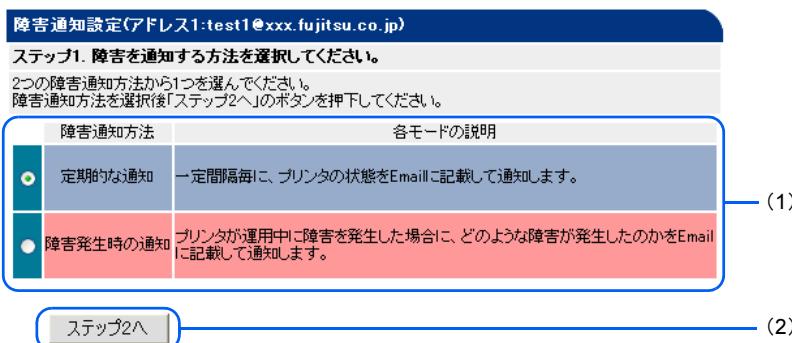
■障害を Email で通知するよう設定する

- 1** (1) 「障害情報」画面の「アドレス n:」に、障害情報通知先の Email アドレスを入力して、(2) 「設定」をクリックします。



「障害通知設定」画面が表示されます。

- 2** (1) 障害の通知方法を選択し、(2) 「ステップ2へ」をクリックします。



選択した通知方法により、ステップ2の画面が異なります。

- 3** 選択した通知方法により、「「定期的な通知」を選択した場合」(→ P.176)、または「「障害発生時の通知」を選択した場合」(→ P.177) の設定をします。

■「定期的な通知」を選択した場合

- 「定期的な通知の設定」画面で次の設定をします。

定期的な通知の設定(アドレス1:test1@xxx.fujitsu.co.jp)

障害通知間隔設定
プリンタの状態をEmailで通知する時間間隔を設定してください。
ただし、設定できる時間は1時間刻みで1~24までです。

メール通知間隔	24 時間(1~24時間 半角数字)
---------	--------------------

障害通知条件設定
Emailに記載して通知する条件にチェックをしてください。
チェックがされていない項目は通知する内容に含まれません。

送信条件		説明
消耗品	警告	<input checked="" type="checkbox"/> ドラムカートリッジ、トナー、カートリッジ等消耗品に関する警告が発生した場合に、Emailに記載されます。 例)ドラムカートリッジ寿命ニアエンド、ドラムカートリッジ寿命
	エラー	<input checked="" type="checkbox"/> ドラムカートリッジ、トナー、カートリッジ等消耗品に関するエラーが発生した場合に、Emailに記載されます。 例)ドラムカートリッジ寿命
メンテナンスユニット	警告	<input checked="" type="checkbox"/> トナー、センサー、装置寿命等メンテナンスユニットに関する警告が発生した場合に、Emailに記載されます。 例)装置寿命
	エラー	<input checked="" type="checkbox"/> トナー、センサー等メンテナンスユニットに関するエラーが発生した場合に、Emailに記載されます。 例)トナー、センサー異常
用紙の補充	エラー	<input checked="" type="checkbox"/> 用紙の残り枚数に関するエラーが発生した場合に、Emailに記載されます。 例)カセットの用紙無し
印刷中の用紙	エラー	<input checked="" type="checkbox"/> 印刷中の用紙に関するエラーが発生した場合に、Emailに記載されます。 例)用紙サイズ変更要求、用紙走行ジョム
フラッシュメモリ	警告	<input checked="" type="checkbox"/> フラッシュメモリに関する警告が発生した場合に、Emailに記載されます。 例)ライフオペレーションエラー
印刷の結果	警告	<input checked="" type="checkbox"/> 印刷の結果に関する警告が発生した場合に、Emailに記載されます。 例)無効なデータの受信
	エラー	<input checked="" type="checkbox"/> 印刷の結果に関するエラーが発生した場合に、Emailに記載されます。 例)メモリ不足
その他	エラー	<input checked="" type="checkbox"/> サービスコールが発生した場合に、Emailに記載されます。

OK 戻る

表：「定期的な通知の設定」の項目一覧

項目	説明
メール通知間隔	プリンタの状態通知のための Email を送信する間隔を、1 ~ 24 時間の範囲で設定します。
障害通知条件設定	通知対象とするエラー種別を <input checked="" type="checkbox"/> にします。

- 設定したら「OK」をクリックします。

手順 1 の画面に戻ります。手順 4 に進んでください。

■「障害発生時の通知」を選択した場合

- 「障害発生時の通知の設定」画面で通知対象とするエラー種別を にします。



通知対象とするエラー種別を にすると、「詳細設定」画面が表示されます。

- 選択したエラーを通知する Email 送信の、発信遅延を設定します。

手順 1 で設定した通知先のアドレスごとに設定できます。



- 遅延時間を設定すると、長時間発生し続けているエラーだけを通知することができます。

- 遅延時間を「0 時間 0 分」に設定すると、エラーが発生するとすぐに Email が送信されます。

- 設定したら「OK」をクリックします。

手順 1 の画面に戻ります。手順 4 に進んでください。

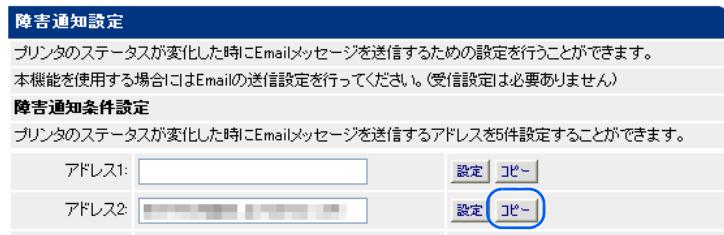
4 障害情報通知先の Email アドレスを複数設定する場合は、手順 1 から手順 3 を繰り返します。

POINT

他のアドレスに障害通知設定をコピーする場合

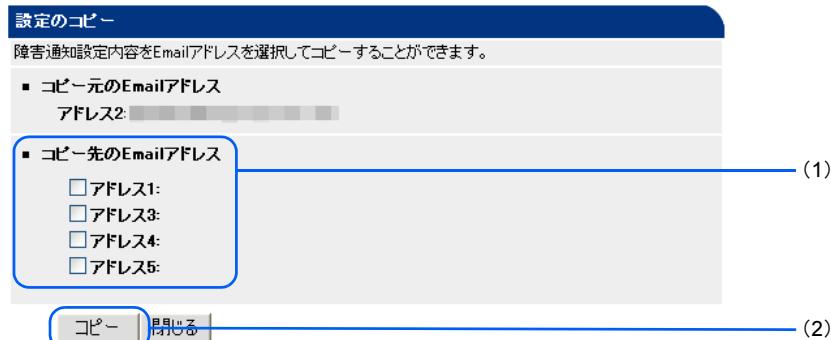
複数の宛先に同じような障害通知条件を設定する場合は、設定した内容を他の宛先にコピーできます。

1. 「障害情報」画面で、コピー元とするアドレスの「コピー」をクリックします。



「設定のコピー」画面が表示されます。

2. (1) 選択したアドレスの障害通知設定のコピー先となるアドレスに を付けて、(2) 「コピー」をクリックします。



コピー元のアドレスの障害通知設定の内容が、選択したアドレスにコピーされます。

Email アドレスの設定が終了したら、手順 5 に進みます。

5 障害通知条件の設定内容を確認します。

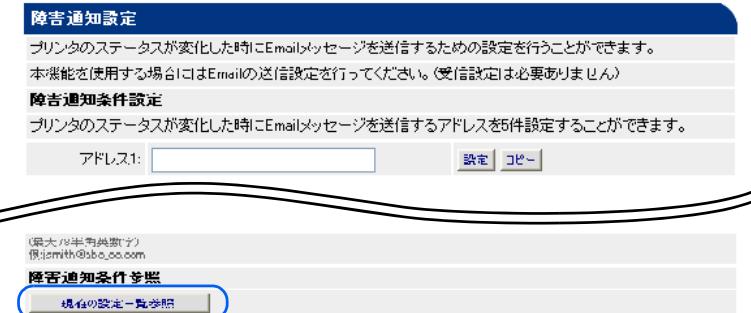
確認方法については、「障害通知の設定をすべて確認する」(→ P.179)、または「障害通知の設定をアドレスごとに確認する／比較する」(→ P.180)をご覧ください。

6 「送信」をクリックします。

障害通知の設定が完了します。

■障害通知の設定をすべて確認する

1 「障害情報」画面の「現在の設定一覧参照」をクリックします。



次のような画面が表示されます。

1	2	3	4	5
送信条件	障害レベル	初期設定値	アドレス1	アドレス2
		定期的な通知	定期的な通知	定期的な通知
Emailアドレスの設定		無し	-	-
消耗品	警告 エラー	24時間毎 24時間毎	24時間毎 24時間毎	24時間毎 24時間毎
メンテナンスユニット	警告 エラー	24時間毎 24時間毎	24時間毎 24時間毎	24時間毎 24時間毎
用紙の補充	警告 エラー	24時間毎 24時間毎	24時間毎 24時間毎	24時間毎 24時間毎
印刷中の用紙	警告 エラー	24時間毎 24時間毎	無効 無効	24時間毎 24時間毎
フラッシュメモリ	警告 エラー	24時間毎 24時間毎	24時間毎 24時間毎	24時間毎 24時間毎
印刷の結果	警告 エラー	24時間毎 24時間毎	24時間毎 24時間毎	24時間毎 24時間毎
その他	エラー	24時間毎 24時間毎	24時間毎 24時間毎	24時間毎 24時間毎
送信条件	障害レベル	障害発生時の通知	障害発生時の通知	障害発生時の通知
		即時 即時	即時 即時	即時 即時
消耗品	警告 エラー	2時間後 即時	2時間後 即時	2時間後 即時
メンテナンスユニット	警告 エラー	15分後 即時	15分後 即時	15分後 即時
用紙の補充	警告 エラー	2時間後 即時	2時間後 即時	2時間後 即時
印刷中の用紙	警告 エラー	無効 無効	無効 無効	無効 無効
フラッシュメモリ	警告 エラー	2時間後 2時間後	2時間後 2時間後	2時間後 2時間後
印刷の結果	警告 エラー	2時間後 2時間後	2時間後 2時間後	2時間後 2時間後
その他	エラー	2時間後 2時間後	2時間後 2時間後	2時間後 2時間後

表：「現在の設定一覧」の項目一覧

No.	説明
1	通知対象となるエラー種別と障害レベルが表示されます。
2	エラー種別ごとのアラーム通知の初期設定が表示されます。
3	「障害情報」画面の「障害通知条件設定」に設定したすべてのアドレスごとに、現在の設定内容が表示されます。
4	該当のアドレスに対して、「定期的な通知」を設定している場合に、設定内容が表示されます。「障害発生時の通知」を設定しているときは、グレーで表示されます。
5	該当のアドレスに対して、「障害発生時の通知」を設定している場合に、設定内容が表示されます。「定期的な通知」を設定しているときは、グレーで表示されます。

■障害通知の設定をアドレスごとに確認する／比較する

1 「障害情報」画面の「障害通知条件参照（アドレスごと）」の2つのリストボックスで、設定内容を確認／比較するアドレスを選択します。

初期設定と比較する場合は、一方のリストボックスで「初期状態」を選択します。

リストボックスの下の表に、選択したアドレスまたは初期状態の設定内容が表示されます。

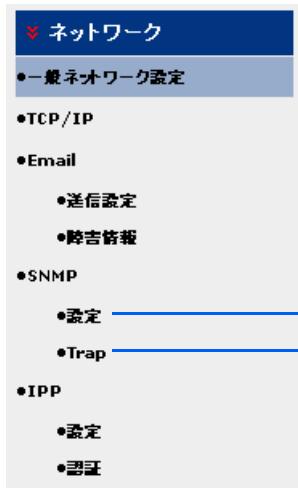
送信条件	障害レベル	初期状態	アドレス1	説明
消耗品	警告	即時	即時	トナー、ドラムカートリッジ
	エラー	即時	即時	
メントナンスユニット	警告	2時間後	2時間後	定着器
	エラー	即時	即時	
用紙の補充	警告	15分後	15分後	用紙、OHP
	エラー	即時	即時	
印刷中の用紙	警告	無効	無効	カバーオープン、紙詰まり
	エラー	2時間後	2時間後	
フラッシュメモリ	警告	無効	無効	
	エラー	無効	無効	
印刷の結果	警告	2時間後	2時間後	不完全な印刷
	エラー	2時間後	2時間後	
その他	エラー			

表：「アドレスごとの設定」の項目一覧

No.	説明
1	通知対象となるエラー種別と障害レベルが表示されます。
2	該当する障害が発生した場合、いつ Email での通知が発信されるかが表示されます。表内の設定値をクリックすることで、通知条件設定を変更することができます。
3	送信条件に該当する内容が表示されます。

SNMP

「SNMP」には、「設定」「Trap」の2つのサブメニューがあります。



設定

「設定」画面では、SNMPを利用するときのコミュニティ名を設定できます。



1 SNMP Read コミュニティの変更

SNMPを利用して、プリンタを参照するときのコミュニティ名を設定します。設定を変更後、「送信」をクリックすると反映されます。

表：「SNMP Read コミュニティの変更」の項目一覧

項目	説明
新しい SNMP Read コミュニティ	新しい SNMP Read コミュニティ名を、半角英数字 15 文字以内で、入力します。
新しい SNMP Read コミュニティの再入力	「新しい SNMP Read コミュニティ」と同じ文字列を入力します。

2 SNMP Write コミュニティの変更

SNMP を利用して、プリンタの設定をするときのコミュニティ名を設定します。設定を変更後、「送信」をクリックすると反映されます。

表：「SNMP Write コミュニティの変更」の項目一覧

項目	説明
新しい SNMP Write コミュニティ	新しい SNMP Write コミュニティ名を、半角英数字 15 文字以内で、入力します。
新しい SNMP Write コミュニティの再入力	「新しい SNMP Write コミュニティ」と同じ文字列を入力します。

Trap

「Trap」画面では、プリンタのステータスが変化したときの Trap 発行に関する設定ができます。

SNMP Trap

プリンタサーバはプリンタのステータスが変化した時にメッセージ(SNMP Trap)を送信するための設定を行なうことができます。

Trapはプリンタステータスを監視するために使用しているSNMPネットワークモニタリングユーティリティで受信できます。

1

プリンタTrap設定

SNMPネットワークモニタリングユーティリティが本プリンタから発信した情報を受信できるように設定します。

ステップ1. プリンタTrapコミュニティ名設定

通常は初期値のまま使用してください。

プリンタTrapコミュニティ名設定

public
(最大31半角英数字)

ステップ2. プリンタTrapアドレス設定

Trapを通知する対象となる機器のIPアドレス5件を設定することができます。

アドレス1: 0.0.0.0 (半角英数字) 制限: 192.168.99.99
アドレス2: 0.0.0.0
アドレス3: 0.0.0.0
アドレス4: 0.0.0.0
アドレス5: 0.0.0.0

ステップ3. プリンタTrap送信条件設定

ステップ2で設定した各アドレスについて、Trapを通知する条件を設定することができます。

送信条件	アドレス1	アドレス2	アドレス3	アドレス4	アドレス5
Trap送信許可	<input type="checkbox"/>				
プリンタ再起動	<input type="checkbox"/>				
不正パケット受信	<input type="checkbox"/>				
オンライン	<input type="checkbox"/>				
オフライン	<input type="checkbox"/>				
用紙なし	<input type="checkbox"/>				
用紙シャム	<input type="checkbox"/>				
カバーオープン	<input type="checkbox"/>				
プリンタエラー	<input type="checkbox"/>				

1 プリンタ Trap 設定

プリンタのステータスが変化したときに、メッセージ（SNMP Trap）を発行するための設定ができます。設定を変更後、「送信」をクリックすると反映されます。

表：「プリンタ Trap 設定」の項目一覧

項目	説明
ステップ1 プリンタ Trap コミュニティ名設定	Trap 発行時のコミュニティ名を、半角英数 31 文字以内で設定します。通常は初期値のまま使用してください。
ステップ2 アドレス1～アドレス5	Trap 発行先の IP アドレスを設定します。5 件まで設定できます。
ステップ3 プリンタ Trap 送信条件設定	ステップ2で設定したアドレスごとに、通知する Trap の内容を設定します。通知するものに <input checked="" type="checkbox"/> を付けます。

IPP

「IPP」には、「設定」「認証」の2つのサブメニューがあります。



設定

「設定」画面では、IPPに関する設定ができます。

The screenshot shows the 'IPP 設定' (IPP Settings) page. At the top left is a '基本的な設定' (Basic Settings) section. Below it is an 'IPP' section with a dropdown menu set to '有効' (Enabled). A note says 'IPPを使用して印刷するときは、次のいずれかのURIを使用してください。' followed by two URLs: 'http://192.168.100.100/ipp' and 'http://192.168.100.100:631/ipp'. At the bottom is a '管理者からの連絡事項' (Administrator's Contact Information) input field with the placeholder '(最大127半角英数字)'.

1 基本的な設定

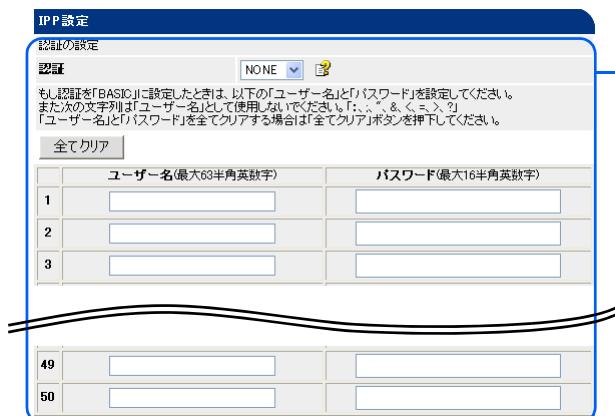
IPP 印刷に関する基本的な設定をします。設定を変更後、「送信」をクリックすると反映されます。

表：「基本的な設定」の項目一覧

項目	説明
IPP	IPP の有効／無効を設定します。
IPP を使用して印刷するときは、次のいずれかの URI を使用してください。	IPP 印刷を行うときに使用できる URI が表示されます。
管理者からの連絡事項	管理者からの連絡事項を、半角英数字 127 文字以内で入力します。

認証

「認証」画面では、IPP 接続の認証に関する設定ができます。



1 認証の設定

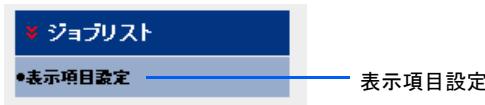
IPP 印刷を行うときの認証に関する設定ができます。設定を変更後、「送信」をクリックすると反映されます。

表：「認証の設定」の項目一覧

項目	説明
認証	IPP 印刷時に認証を行うかどうかを設定します。 <ul style="list-style-type: none">NONE : IPP 印刷時に認証を行いません。BASIC : IPP 印刷時に認証を行います。「BASIC」に設定した場合は、プリンタの「プロパティ」 ウィンドウの設定が必要です。詳しくは、「パソコンの設定」(→ P.51) をご覧ください。
全てクリア	認証の設定リストに入力した内容をすべてクリアします。
ユーザー名／パスワード	「認証」で「BASIC」を選択した場合、ユーザー名、パスワードを設定します。50 件まで登録できます。 <ul style="list-style-type: none">ユーザー名 : IPP 印刷を許可するユーザー名を半角英数 63 文字以内で設定します。パスワード : パスワードを、半角英数 16 文字以内で設定します。

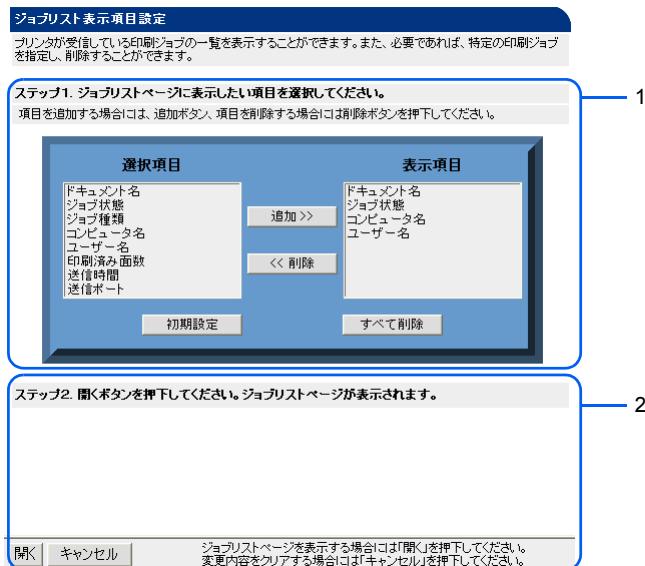
「ジョブリスト」カテゴリ

「ジョブリスト」カテゴリでは、印刷ジョブの状態の確認と、表示項目の設定ができます。



表示項目設定

「表示項目設定」画面では、ジョブリストページで表示される項目を設定できます。



1 ジョブリスト表示項目設定：ステップ1

ジョブリストに表示する項目を選択します。

表：「ジョブリスト表示項目設定」の項目一覧

項目	説明
選択項目	ジョブリストページに表示できる項目のリストです。表示したい項目を選択し、「追加」をクリックすると、「表示項目」に追加されます。 表示項目について詳しくは、「ジョブリストページ」(→P.186)をご覧ください。
表示項目	ジョブリストページに表示する項目です。表示する必要がない項目がある場合は、項目を選択して「削除」をクリックします。
初期設定	「表示項目」が初期設定の状態になります。
すべて削除	「表示項目」がすべて削除されます。

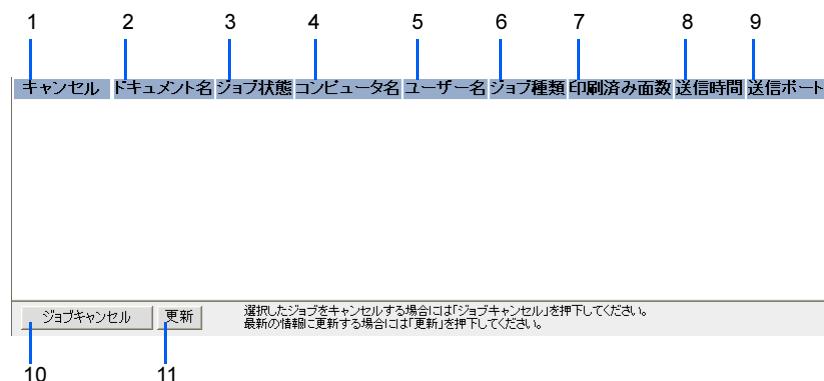
2 ジョブリスト表示項目設定：ステップ2

「開く」をクリックすると、「ジョブリストページ」が表示されます。「ジョブリストページ」について詳しくは、「ジョブリストページ」(→P.186)をご覧ください。

ジョブリストページ

「ジョブリストページ」では、印刷ジョブの情報や状態を確認できます。

次の画面は、すべての項目が表示された例です。



1 キャンセル

を付けて「ジョブキャンセル」をクリックすると、ジョブ（印刷）をキャンセルします。

2 ドキュメント名

受信している印刷ジョブのファイル名が表示されます。

3 ジョブ状態

ジョブに対するプリンタの状態が表示されます。

- ・ free : 未処理
- ・ preinterpreting : 先読み中
- ・ waiting : 編集待ち
- ・ processing : 編集中
- ・ processed : 編集完了
- ・ printing : 印刷中
- ・ canceling : キャンセル中
- ・ finished : 終了

4 コンピュータ名

印刷ジョブの送信元の、Windowsに登録しているコンピュータ名が表示されます。

5 ユーザー名

印刷ジョブの送信元の、Windowsに登録しているユーザー名が表示されます。

6 ジョブ種類

ジョブの種類が表示されます。

- ・ local : 設定内容、フォントリスト、エラーログ、またはテスト印刷
- ・ normal : 通常印刷ジョブ
- ・ unknown : 未定ジョブ

7 印刷済み面数

印刷済みのページ数が表示されます。

8 送信時間

印刷ジョブの送信開始時間、日付が表示されます。

9 送信ポート

印刷ジョブの送信ポート名が表示されます。

10 ジョブキャンセル

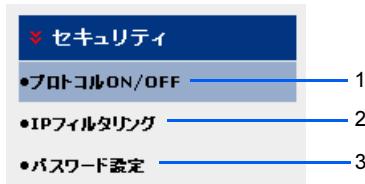
クリックすると、選択したジョブ（印刷）をキャンセルします。

11 更新

クリックすると、「ジョブリストページ」画面の表示内容が最新の情報に更新されます。

「セキュリティ」カテゴリ（管理者モードのみ）

「セキュリティ」カテゴリでは、サービスの有効／無効、IP アドレスフィルタリング、管理者パスワードに関する設定を確認、変更できます。



1 プロトコル ON/OFF

サービスの有効／無効や、サービスで使用するポート番号を設定できます。

詳しくは、「プロトコル ON/OFF」（→ P.188）をご覧ください。

2 IP フィルタリング

プリンタにアクセスできるパソコン（IP アドレス）を制限する、IP フィルタリングの設定ができます。

詳しくは、「IP フィルタリング」（→ P.189）をご覧ください。

3 パスワード設定

管理者のパスワードの設定を変更できます。

詳しくは、「パスワード設定」（→ P.196）をご覧ください。

プロトコル ON/OFF

「プロトコル ON/OFF」画面では、サービスとポート番号の設定ができます。

サービス	
Webサービス(ポート番号: 80):	有効 無効に設定すると、ブラウザ経由でのアクセスができなくなります。
IPPサービス(ポート番号: 631):	有効
SNMPサービス:	有効
ポート番号	
これらのポート番号は、すぐご使用中のものには変更できません。	
Web	80 (1~65535)
SMTP	25 (1~65535) 接続するSMTPサーバのポート番号とあわせてください。

1 サービス

次のサービスの有効／無効を設定できます。設定を変更後、「送信」をクリックすると反映されます。

表：「サービス」の項目一覧

項目	説明
Web サービス (ポート番号: 80)	「Printia LASER Internet Service」の有効／無効を設定します。 ・有効：「Printia LASER Internet Service」を利用できます。 ・無効：Web ブラウザでプリンタの URL を指定したときに「404 Not Found」と表示され、「Printia LASER Internet Service」を利用できなくなります。 「有効」に戻す場合は、プリンタのオペレータパネルから操作する必要があります。 オペレータパネルの操作方法については、『ハードウェアガイド』の「第 5 章 オペレータパネルの操作」をご覧ください。
IPP サービス (ポート番号: 631)	IPP サービスの有効／無効を設定します。
SNMP サービス	SNMP サービスの有効／無効を設定します。

2 ポート番号

次のポート番号の設定を変更できます。設定を変更後、「送信」をクリックすると反映されます。

表：「ポート番号」の項目一覧

項目	説明
Web	Web のポート番号を設定します。
SMTP	SMTP のポート番号を設定します。

IP フィルタリング

「IP フィルタリング」画面では、プリンタを利用するパソコン（IP アドレス）を制限する設定ができます。

重要

- ・ フィルタリングできる IP アドレスは、IPv4 アドレスのみです。IPv6 アドレスは指定できません。

IP フィルタリング

ステップ1. IP フィルタリングの設定

IP フィルタリング	<input checked="" type="checkbox"/> 無効
------------	--

(注意) IP フィルタリングを有効になると、ステップ2で設定した範囲以外のIPアドレスのホストからのアクセスが一切できなくなります。

ステップ2. IP アドレスの範囲を設定します。¹

IP アドレスを用いて印刷/設定を許可するホストの範囲を入力してください。
IPアドレス：“0.0.0.0”で有効になります。(例：“192.168.0.2”)
IPアドレス“0.0.0.0”は無効となります。(例：“192.168.0.2”)
IPアドレスの範囲が重なった場合、優先度の高いIPアドレス範囲の設定が優先されます。

(注意)
・「設定」にチェックを入れなかった場合、WSDポートを使用した印刷ができなくなります。

また、ステップ2の指定に間にあらず、印刷/設定が可能な管理者アドレスをステップ3で設定できます。

優先度	アドレス範囲の番号	IP アドレスの範囲		印刷	設定
		開始アドレス	終了アドレス		
低	1	0.0.0.0	0.0.0.0	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	2	0.0.0.0	0.0.0.0	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	3	0.0.0.0	0.0.0.0	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	4	0.0.0.0	0.0.0.0	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	5	0.0.0.0	0.0.0.0	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	6	0.0.0.0	0.0.0.0	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	7	0.0.0.0	0.0.0.0	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	8	0.0.0.0	0.0.0.0	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	9	0.0.0.0	0.0.0.0	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
高	10	0.0.0.0	0.0.0.0	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

アドレス範囲バーの表示/更新 非表示

設定とアドレス範囲バーの色の関係

印刷	設定	色
有効	有効	■
有効	無効	■
無効	有効	■
無効	無効	■

ステップ3. 管理者IPアドレスの登録

管理者のIPアドレスをIP フィルタリングの対象外とすることができます。

登録できる管理者のIPアドレスは1つだけです。

プリンタ等を経由してプリンタにアクセスしている場合、「あなたのホストのIPアドレス」として、経由している機器のIPアドレスが表示されます。

したがって、あなたのホストのIPアドレスと、表示されている「あなたのホストのIPアドレス」が異なる場合があります。

「設定される管理者のIPアドレス」に何も登録しない場合は、ステップ2の設定によっては、プリンタにまったくアクセスできなくなることがあります。

管理者のIPアドレスを登録しない場合は、「設定される管理者IPアドレス」の欄を空欄にしてください。

登録されている管理者IPアドレス	0.0.0.0
あなたのホストのIPアドレス	192.168.2.100
設定される管理者IPアドレス	<input type="text" value="0.0.0.0"/>

1 IP フィルタリング

プリンタを利用するパソコン（IP アドレス）を制限する、IP フィルタリングの設定をします。設定方法については、「IP フィルタリングの設定をする」（→ P.190）をご覧ください。

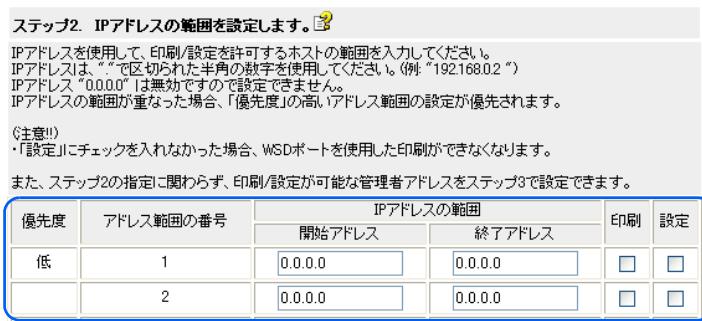
IP フィルタリングの設定をする

プリンタを利用できるパソコンの IP アドレス範囲を指定し、印刷・設定を許可するかどうかを設定することで、IP アドレスによるプリンタへのアクセスを管理できるようにします。

1 「IP フィルタリング」画面の「IP フィルタリング」で「有効」を選択します。



2 「IP アドレスの範囲を設定します。」でフィルタリングする IP アドレスの範囲とフィルタリングの内容を設定します。

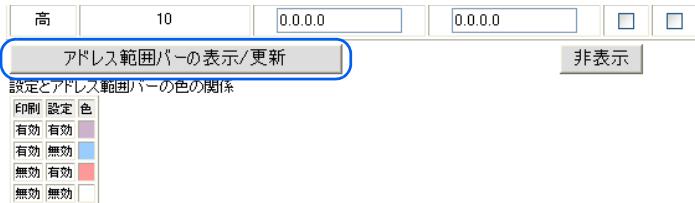


表：「IP アドレスの範囲を設定します」の項目一覧

項目	説明
優先度	IP アドレスの範囲が重なった場合は、優先度が「高」に設定されているアドレス範囲ほど、優先されます。
アドレス範囲の番号	アドレス範囲の番号が表示されます。
IP アドレスの範囲	IP アドレスの範囲を設定します。 例えば 192.168.0.2 から 192.168.0.100 までを設定する場合は、次のように設定します。 <ul style="list-style-type: none">開始アドレス : 192.168.0.2終了アドレス : 192.168.0.100
印刷	印刷を許可するかしないかを設定します。 <input checked="" type="checkbox"/> にすると、該当する IP アドレスからの印刷を許可します。 <input type="checkbox"/> にすると、該当する IP アドレスからの印刷を禁止します。
設定	設定を許可するかしないかを設定します。 <input checked="" type="checkbox"/> にすると、該当する IP アドレスからの設定を許可します。 <input type="checkbox"/> にすると、該当する IP アドレスからの設定を禁止します。

設定例については、「アドレス範囲の設定例」(→ P.192) をご覧ください。

3 「アドレス範囲バーの表示 / 更新」をクリックします。



画面左側の「メニューエリア」に、「アドレス範囲バー」が表示されます。

4 設定を行ったIPアドレスの範囲が正しいかどうか確認します。

「アドレス範囲バー」に表示されている色分けについては、「アドレス範囲バーの表示 / 更新」の下に表示されている表をご覧ください。

アドレス範囲バー

アドレス範囲バー

以下のバーは、ステップ2で設定した状態を示しています。

10	0.0.0.0
	0.0.0.1
1	192.168.255.255 192.168.0.0
192.168.0.10 192.168.0.11	192.168.0.10 192.168.0.11
2	192.168.0.50 192.168.0.51
192.168.0.100 192.168.0.101	192.168.0.100 192.168.0.101
	255.255.255.255

また、ステップ2の指定に関わらず、印刷/設定が可能な管理者アドレス

優先度	アドレス範囲の番号	IPアドレス
低	1	192.168.0.0
	2	192.168.0.51
	3	0.0.0.0
	4	0.0.0.0
	5	0.0.0.0
	6	0.0.0.0
	7	0.0.0.0
	8	0.0.0.0
	9	0.0.0.0
高	10	0.0.0.0

アドレス範囲バーの表示/更新

設定とアドレス範囲バーの色の関係

印刷	設定	色
有効	有効	紫
有効	無効	青
無効	有効	赤
無効	無効	白

ステップ3. 管理者IPアドレスの登録

IPアドレスの範囲を修正する場合は、手順2から手順4を繰り返します。

5 必要に応じて、「設定される管理者 IP アドレス」の値を設定します。

管理者の IP アドレスを、IP フィルタリングの対象外とする場合に、設定します。

ステップ3. 管理者IPアドレスの登録

管理者のIPアドレスをIPフィルタリングの対象外とすることができます。
登録できる管理者のIPアドレスは1つだけです。
プロキシ等を経由してプリンタにアクセスしている場合、「あなたのホストのIPアドレス」として、経由している機器のアドレスが表示されます。
したがって、あなたのホストのアドレスと、表示されている「あなたのホストのIPアドレス」が異なる場合があります。
「設定される管理者のIPアドレス」に何も登録しない場合は、ステップ2の設定によっては、プリンタにまったくアクセスできなくなることがあります。
管理者のIPアドレスを登録したくない場合は、「設定される管理者IPアドレス」の欄を空欄にしてください。

登録されている管理者IPアドレス	0.0.0
あなたのホストのIPアドレス	192.168.2.100
設定される管理者IPアドレス	0.0.0.0

POINT

- 「設定される管理者 IP アドレス」を設定しないと、手順 2 の設定によっては、プリンタにまったくアクセスできなくなることがあります。

6 設定を確認し「送信」をクリックします。

IP フィルタリングの設定が完了します。

アドレス範囲の設定例

「IP フィルタリングの設定をする」(→ P.190) の手順 2 の設定例について説明します。

■ 192.168.0.0 ~ 192.168.2.128 の IP アドレスからの印刷のみを許可したいとき

- 「アドレス範囲の番号」の 1 の行で、 次のように設定します。
 - 開始アドレス : 192.168.0.0
 - 終了アドレス : 192.168.2.128
 - 「印刷」欄 :
 - 「設定」欄 :

ステップ2. IPアドレスの範囲を設定します。

IPアドレスを使用して、印刷/設定を許可するホストの範囲を入力してください。
IPアドレスは、”.”で区切られた半角の数字を使用してください。(例: “192.168.0.2”)
IPアドレス “0.0.0” は無効ですので設定できません。
IPアドレスの範囲が重なった場合、「優先度」の高いIPアドレス範囲の設定が優先されます。

(注意!!)
「設定」にチェックを入れなかった場合、WSDポートを使用した印刷ができなくなります。

また、ステップ2の指定に関わらず、印刷/設定が可能な管理者アドレスをステップ3で設定できます。

優先度	アドレス範囲の番号	IPアドレスの範囲		印刷	設定
		開始アドレス	終了アドレス		
低	1	192.168.0.0	192.168.2.128	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
	2	0.0.0.0	0.0.0.0	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

- 「設定される管理者 IP アドレス」を設定します。
管理者の IP アドレスが「192.168.2.100」の場合は、「設定される管理者 IP アドレス」に「192.168.2.100」と入力します。

ステップ3. 管理者IPアドレスの登録

管理者のIPアドレスをIPフィルタリングの対象外とすることができます。
登録できる管理者のIPアドレスは1つだけです。
プロキシ等を経由してプリンタにアクセスしている場合、「あなたのホストのIPアドレス」として、経由している機器のアドレスが表示されます。
したがって、あなたのホストのアドレスと、表示されている「あなたのホストのIPアドレス」が異なる場合があります。
「設定される管理者のIPアドレス」に何も登録しない場合は、ステップ2の設定によっては、プリンタにまったくアクセスできなくなることがあります。
管理者のIPアドレスを登録たくない場合は、「設定される管理者IPアドレス」の欄を空欄にしてください。

登録されている管理者IPアドレス	0.0.0
あなたのホストのIPアドレス	192.168.2.100
設定される管理者IPアドレス	192.168.2.100

次のようにフィルタリングされます。

印刷許可／設定拒否 ただし「設定される管理者 IP アドレス」に設定された
「192.168.2.100」は、IP フィルタリングの対象外となり、
印刷、設定とも許可される。



■ 192.168.0.0 ~ 192.168.2.128 の IP アドレスからの印刷／設定を拒否し、それ以外の IP アドレスからの印刷のみを許可したいとき

- 「アドレス範囲の番号」の 1 の行で、次のように設定します。
 - 開始アドレス : 0.0.0.0
 - 終了アドレス : 192.167.255.255
 - 「印刷」欄 :
 - 「設定」欄 :

ステップ2. IPアドレスの範囲を設定します。②

IPアドレスを使用して、印刷/設定を許可するホストの範囲を入力してください。
IPアドレスは、”で区切られた半角の数字を使用してください。(例: “192.168.0.2”)
IPアドレス “0.0.0.0” は無効ですので設定できません。
IPアドレスの範囲が重なった場合、「優先度」の高いIPアドレス範囲の設定が優先されます。

(注意!!)
・「設定」にチェックを入れなかった場合、WSDポートを使用した印刷ができなくなります。

また、ステップ2の指定に関わらず、印刷/設定が可能な管理者アドレスをステップ3で設定できます。

優先度	アドレス範囲の番号	IPアドレスの範囲		印刷	設定
		開始アドレス	終了アドレス		
低	1	0.0.0.0	192.167.255.255	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
2		192.168.2.129	255.255.255.255	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
3		0.0.0.0	0.0.0.0	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

- 「アドレス範囲の番号」の 2 の行で、次のように設定します。
 - 開始アドレス : 192.168.2.129
 - 終了アドレス : 255.255.255.255
 - 「印刷」欄 :
 - 「設定」欄 :

ステップ2. IPアドレスの範囲を設定します。②

IPアドレスを使用して、印刷/設定を許可するホストの範囲を入力してください。
IPアドレスは、”で区切られた半角の数字を使用してください。(例: “192.168.0.2”)
IPアドレス “0.0.0.0” は無効ですので設定できません。
IPアドレスの範囲が重なった場合、「優先度」の高いIPアドレス範囲の設定が優先されます。

(注意!!)
・「設定」にチェックを入れなかった場合、WSDポートを使用した印刷ができなくなります。

また、ステップ2の指定に関わらず、印刷/設定が可能な管理者アドレスをステップ3で設定できます。

優先度	アドレス範囲の番号	IPアドレスの範囲		印刷	設定
		開始アドレス	終了アドレス		
低	1	0.0.0.0	192.167.255.255	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
	2	192.168.2.129	255.255.255.255	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	3	0.0.0.0	0.0.0.0	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

- 「設定される管理者 IP アドレス」を設定します。
管理者の IP アドレスが「192.168.2.100」の場合は、「設定される管理者 IP アドレス」に「192.168.2.100」と入力します。

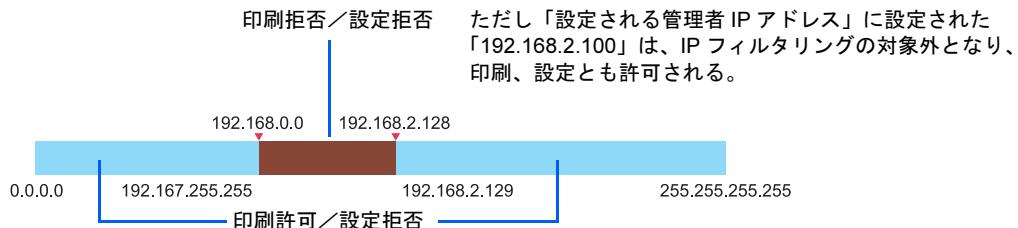
ステップ3. 管理者IPアドレスの登録

管理者のIPアドレスをIPファイルターリングの対象外とすることができます。
登録できる管理者のIPアドレスは1つだけです。
プロキシ等を経由してプリンタにアクセスしている場合、「あなたのホストのIPアドレス」として、経由している機器のアドレスが表示されます。
したがって、あなたのホストのアドレスと、表示されている「あなたのホストのIPアドレス」が異なる場合があります。
「設定される管理者のIPアドレス」に何も登録しない場合は、ステップ2の設定によっては、プリンタにまったくアクセスできなくなることがあります。

管理者のIPアドレスを登録したくない場合は、「設定される管理者IPアドレス」の欄を空欄にしてください。

登録されている管理者IPアドレス	0.0.0.0
あなたのホストのIPアドレス	192.168.2.100
設定される管理者IPアドレス	192.168.2.100

次のようにアクセス制御されます。



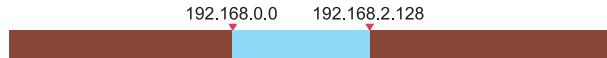
■アドレス範囲の設定で重複したアドレス範囲を設定した場合の例

設定範囲が重複している場合は、優先度が高いほうの設定が有効となります。

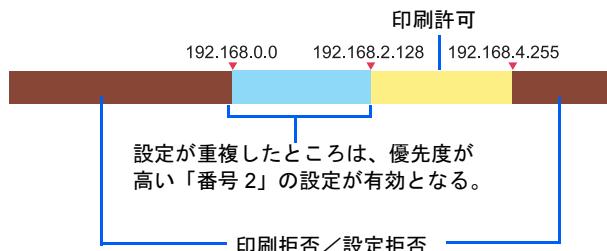
- アドレス範囲の番号 1 の設定…192.168.0.0 ~ 192.168.4.255 : 印刷許可 / 設定許可 (優先度 : 低)



- アドレス範囲の番号 2 の設定…192.168.0.0 ~ 192.168.2.128 : 印刷許可 / 設定拒否 (優先度 : 高)



- アドレス範囲 1 と 2 の設定を総計した結果…192.168.0.0 ~ 192.168.2.128 : 印刷許可 / 設定拒否
192.168.2.129 ~ 192.168.4.255 : 印刷許可 / 設定許可



パスワード設定

「パスワード設定」画面では、管理者のパスワードを設定できます。

管理者のパスワードを変更できます。

新しい管理者のパスワード (最大15半角英数字)

新しいパスワードの再入力 (最大15半角英数字)

1 管理者のパスワードを変更できます。

管理者のパスワードを変更できます。設定を変更後、「送信」をクリックすると反映されます。

表：「管理者のパスワードを変更できます。」の項目一覧

項目	説明
新しい管理者のパスワード	新しい管理者のパスワードを、半角英数 15 文字以内で入力します。
新しいパスワードの再入力	「新しい管理者のパスワード」と同じ文字列を入力します。

「メンテナンス」カテゴリ（管理者モードのみ）

「メンテナンス」カテゴリでは、プリンタの再起動や初期化、LAN の規模の設定ができます。

▼ メンテナンス

•再起動 / 初期化 1

•LANの規模の設定 2

1 再起動 / 初期化

プリンタの再起動や初期化ができます。

詳しくは、「再起動 / 初期化」（→ P.197）をご覧ください。

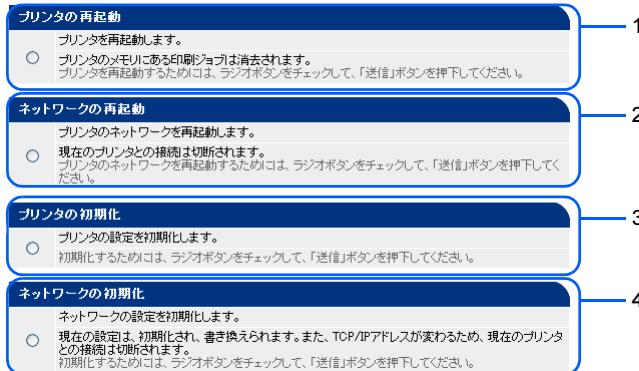
2 LAN の規模の設定

LAN の規模を設定できます。

詳しくは、「LAN の規模の設定」（→ P.198）をご覧ください。

再起動 / 初期化

「再起動 / 初期化」画面では、プリンタ、またはプリンタのネットワークのみの再起動や初期化ができます。



1 プリンタの再起動

プリンタを再起動する場合は、「プリンタを再起動します。」を にし、「送信」をクリックします。
プリンタのメモリにある印刷ジョブは再起動時に削除されます。

2 ネットワークの再起動

プリンタのネットワークだけを再起動する場合は、「プリンタのネットワークを再起動します。」を にし、「送信」をクリックします。

3 プリンタの初期化

プリンタの設定をすべて初期化する場合は、「プリンタの設定を初期化します。」を にし、「送信」をクリックします。

4 ネットワークの初期化

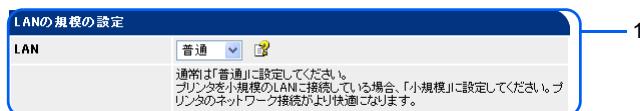
プリンタのネットワークの設定だけを初期化する場合は、「ネットワークの設定を初期化します。」を にし、「送信」をクリックします。

重要

- ・「プリンタの再起動」「ネットワークの再起動」を行った場合は、再起動が完了するまで「Printia LASER Internet Service」は利用できません。
- ・「プリンタの初期化」「ネットワークの初期化」を行った場合は、プリンタのIPアドレスなどを再設定するまで「Printia LASER Internet Service」は利用できません。

LAN の規模の設定

「LAN の規模の設定」画面では、LAN の規模の設定ができます。



1 LAN の規模の設定

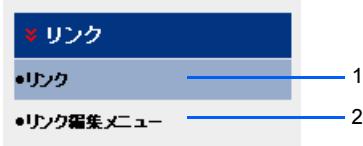
LAN の規模を設定できます。設定を変更後、「送信」をクリックすると反映されます。

表：「LAN の規模の設定」の項目一覧

項目	説明
LAN	プリンタが接続されている LAN の規模により「普通」または「小規模」を設定します。 <ul style="list-style-type: none">普通：通常は、この設定を使用してください。スパンニングツリー機能をもつ大規模な LAN にも対応します。ただし、コンピュータが 2、3 台の 小規模な LAN に接続するとプリンタの起動時間が長くなります。小規模：コンピュータが 2、3 台の 小規模 LAN から大型の LAN まで対応します。ただし、スパンニングツリー機能をもつハブに接続した場合に効率よく動作しない場合があります。

「リンク」カテゴリ

「リンク」カテゴリでは、サポート情報などのページへのリンクを表示、設定できます。



1 リンク

サポート情報や、その他の情報へのリンクが表示されます。

詳しくは、「リンク」(→ P.199) をご覧ください。

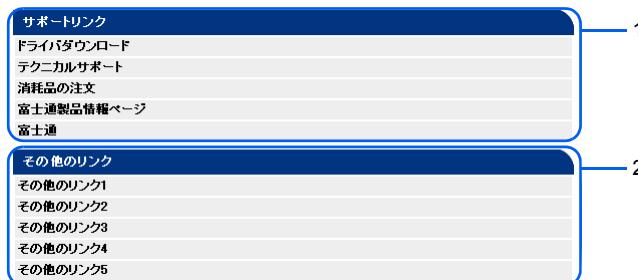
2 リンク編集メニュー（管理者モードのみ）

「リンク」画面に表示されるリンク先を設定できます。

詳しくは、「リンク編集メニュー（管理者モードのみ）」(→ P.199) をご覧ください。

リンク

「リンク」画面では、サポート情報やその他の情報へのリンクが表示されます。



1 サポートリンク

プリンタのサポート情報などへのリンクが表示されます。クリックすると、設定されているリンク先のページが表示されます。

表示されるリンク先は、「リンク編集メニュー（管理者モードのみ）」（→ P.199）の「サポートリンク」（→ P.199）で設定できます。

2 その他のリンク

管理者が設定したリンク先が表示されます。クリックすると、設定されているリンク先のページが表示されます。

表示されるリンク先は、「リンク編集メニュー（管理者モードのみ）」（→ P.199）の「その他のリンク」（→ P.200）で設定できます。

リンク編集メニュー（管理者モードのみ）

「リンク編集メニュー」画面では、「リンク」画面に表示されるリンク先を設定できます。



1 サポートリンク

「リンク」（→ P.199）画面の「サポートリンク」（→ P.199）に表示されるリンク先の URL を、半角英数字 255 文字以内で設定できます。設定を変更後、「送信」をクリックすると反映されます。

2 その他のリンク

「リンク」(→ P.199) 画面の「他のリンク」(→ P.199) に表示されるリンク先のタイトルと URL を設定できます。設定を変更後、「送信」をクリックすると反映されます。

表：「他のリンク」の項目一覧

項目	説明
タイトル	リンク先のタイトルを、半角英数字 1 ~ 40 文字で設定します。
URL	リンク先の URL を、半角英数字 255 文字以内で設定します。

8

第8章

こんなときには

この章では、プリンタドライバ、添付ソフトウェアに関するトラブルシューティングや留意事項について説明します。

1 ソフトウェアに関するトラブルシューティング	202
2 ソフトウェアに関する留意事項	219
3 Citrix 製品、および Windows ターミナルサービス環境での利用について	220

1 ソフトウェアに関するトラブルシューティング

プリンタを使用しているときに発生する問題のうち、ソフトウェアに関するものについて現象と対処方法を説明します。

ハードウェアに関する、次のような問題についての対処方法は『ハードウェアガイド』の「第7章 こんなときには」をご覧ください。

- ・紙詰まり
- ・オペレータパネルからの印刷設定ができない
- ・印刷結果が汚い
- ・異常音、起動しないなどの故障

セットアップ時のトラブルシューティング

プリンタをセットアップするときに発生する問題と、その対処方法について説明します。

プリンタドライバのインストール中に警告ウィンドウが表示された

プリンタドライバのインストール中に、警告ウィンドウが表示されることがあります。ここでは、注意が必要な次の現象（メッセージ）について説明します。

■「Windows の CD-ROM を挿入してください」というメッセージが表示された。

対処：

製造元とモデルの選択ウィンドウで、「ディスク使用」をクリックせずに一覧からプリンタを選択してインストールしようとすると表示されるメッセージです。

インストールをキャンセルして、プリンタ添付の CD-ROM からプリンタドライバをインストールし直すことをお勧めします。

「ネットワークを利用しないプリンタの接続」(→ P.53)

「ネットワークを利用したプリンタの接続」(→ P.15)

■「バージョンの競合」または「ファイルの上書き確認」や、「このコンピュータには、より新しいバージョンのドライバが既にインストールされています。」というメッセージが表示された。

対処：

現在インストールされているものより古いバージョンのプリンタドライバ、あるいはプリンタドライバが使用する共通のモジュールをインストールしようとしたときに表示されるメッセージです。「はい」をクリックして、現在のファイルをそのまま使ってください。

■「プリンタが接続されているサーバには適切なプリンタドライバがインストールされていません」というメッセージが表示された。

対処 :

クライアント OS (Windows) 用のプリンタドライバが、プリントサーバ側に追加（または代替）インストールされていない状態で、クライアントからサーバ共有プリンタのドライバをネットワークインストールしようとしたときに表示されるメッセージです。

いったんインストールを中断し、サーバに追加（または代替）ドライバをインストールしてからクライアントでネットワークインストールを行うか、クライアント側で◎「Printia LASER プリンタユーティリティ」からプリンタドライバをインストールしてください。

サーバ側に追加（または代替）ドライバをインストールする方法、およびクライアント側でのプリンタドライバのインストール方法については、「プリンタ共有の設定」(→ P.69) をご覧ください。

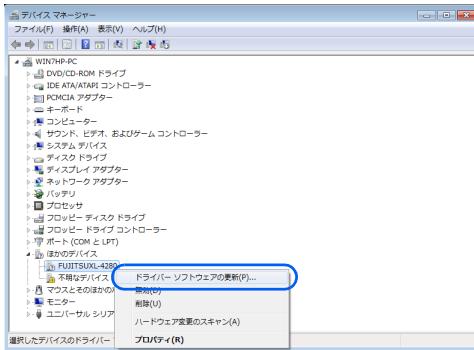
USB インターフェースのときにプリンタが検出されない

■最初にプリンタとパソコンを USB インターフェースで接続したところ、「デバイスドライバーは正しくインストールされませんでした」と表示された。(7/2008 R2)

7/2008 R2 の場合、プリンタドライバをインストールする前にプリンタとパソコンを接続していると「デバイスドライバーソフトウェアは正しくインストールされませんでした」というメッセージが表示されます。その場合は、次の手順でプリンタドライバをインストールし直してください。

- 1 管理者権限を持ったユーザーでログオンします。**
- 2 ◎「Printia LASER プリンタユーティリティ」をパソコンにセットします。**
「Printia LASER プリンタユーティリティセットアップ」ウィンドウが自動的に表示されます。
 - ・「Printia LASER プリンタユーティリティセットアップ」ウィンドウが自動的に表示されない場合は、「エクスプローラ」などを使用して CD-ROM を開き、一番上の階層にある「XLSTART.EXE」をダブルクリックしてください。
 - ・自動再生時や「XLSTART.EXE」をダブルクリックしたときに、「自動再生」ウィンドウが表示されます。実行されるプログラムが「XLSTART.EXE」であることを確認し、「Xlstart.exe の実行」をクリックしてください。
- 3 メニューから「USB/パラレルでプリンタを使用する」をクリックします。**
「ユーザー アカウント制御」画面が表示されたら、「はい」をクリックします。
- 4 「Windows セキュリティ」ウィンドウが表示された場合には、「このドライバーソフトウェアをインストールします」をクリックします。**
- 5 インストール処理が完了するまで（コマンドプロンプトの画面が閉じるまで）待ちます。**
- 6 プラグアンドプレイの準備が完了したことを示すメッセージが表示されます。**
- 7  (スタート) → 「デバイスとプリンター」の順にクリックします。**
- 8 「デバイスとプリンター」フォルダの何もない部分で右クリックし、表示された一覧から「デバイスマネージャー」を選びます。**
「デバイスマネージャー」ウィンドウが表示されます。

9 「ほかのデバイス」の下にある「FUJITSU XL-xxxx」(XL-xxxx はプリンター名) を選び、右クリックでメニューを開いて、「ドライバー ソフトウェアの更新」を選びます。



10 「ドライバー ソフトウェアの更新」ウィンドウで、「ドライバー ソフトウェア の最新版を自動検索します」をクリックします。

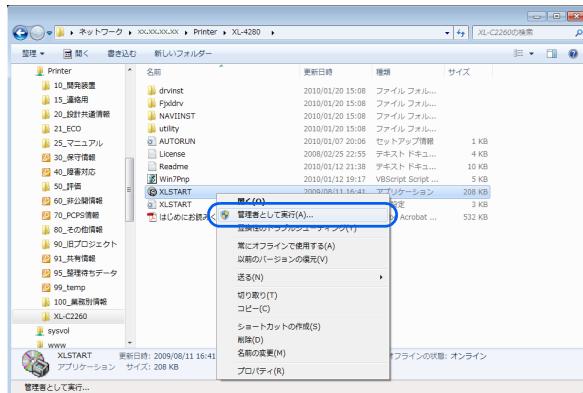
11 プリンタードライバーのインストールが完了したら、「閉じる」をクリックします。

12 「デバイスとプリンター」フォルダーにプリンターアイコンが追加されていれば、プリンタードライバーのインストールは完了です。

■ネットワークの共有サーバ上に置いてあるプリンタードライバーから直接セットアップを起動した場合に、セットアップメニューから [USB/ パラレルでプリンタを使用する] をクリックすると、「スクリプトの読み込みに失敗しました（ログオン失敗）。」というエラーが出る場合がある。

サーバ上のファイルへのアクセス権限が不足している場合などに、セットアップの起動に失敗することがあります。この場合には、以下のいずれかの方法で再度セットアップを起動してください。

- 一度ローカルのパソコン上にプリンタードライバーをコピーしてから、セットアップを起動する。
- セットアップを起動する際に、アイコンを右クリックしてメニューを開き、「管理者として実行」を選択してセットアップを起動する。



■USBインターフェースでプリンタドライバをインストールする場合に、新しいハードウェアが検出されない。(2008 (R2以外) /Vista/2003/XP/2000)

対処1:

次の点を確認してください。

- ・プリンタの電源は入っていますか

プリンタの電源が入っていない場合は、『『設置ガイド』をご覧になり、プリンタの電源を入れてください。

- ・プリンタUSBケーブルの規格は合っていますか

USB 1.1または2.0に準拠したケーブルを使用してください。プリンタUSBケーブルの規格については、『『ハードウェアガイド』の「第8章付録」をご覧ください。

- ・プリンタUSBケーブルは正しく接続されていますか

プリンタUSBケーブルが正しく接続されているか、確認してください。プリンタUSBケーブルの接続方法については、『『ハードウェアガイド』の「第2章プリンタを設置・接続する」をご覧ください。

- ・パソコンはUSBに対応していますか

デバイスマネージャでUSBコントローラが表示されるか確認してください。

お使いのパソコンがUSBに対応している場合は、「デバイスマネージャ」ウィンドウにUSBのホストコントローラと「USBルートハブ」が表示されます。



「デバイスマネージャ」ウィンドウは、次の操作で表示します。

- 2008 (R2以外) /Vista

「スタート」ボタンまたは (スタート) → 「コントロールパネル」の順にクリックします。「クラシック表示」になっていない場合は「クラシック表示」をクリックしてから、「デバイスマネージャ」をダブルクリックします。「続行するにはあなたの許可が必要です」と表示された場合は「続行」をクリックし、表示されたウィンドウで「ユニバーサルシリアルバスコントローラ」の下を確認します。

- 2003/XP

「スタート」ボタン→「コントロールパネル」→「プリンタとその他のハードウェア」の順にクリックし、「関連項目」の中から「システム」→「ハードウェア」の順にクリックして「デバイスマネージャ」を開き、「USB (Universal Serial Bus) コントローラ」の下を確認します。

- 2000

「マイコンピュータ」→「コントロールパネル」→「システム」の順にクリックし、「ハードウェア」タブを開いて「デバイスマネージャ」をクリックします。

「デバイスマネージャ」ウィンドウが開くので、「USB (Universal Serial Bus) コントローラ」の下を確認します。

対処 2 :

パソコン上のポート（USB、パラレルポートなど）を無効に設定するアプリケーション（「Portshutter」など）を使用して、印刷するポートを無効にする（遮断する）設定にしていませんか。印刷するポートが無効（遮断）設定の場合は印刷ができませんので、設定を解除してください。

パラレルインターフェースのときにプリンタが検出されない

■最初にプリンタとパソコンをパラレルインターフェースで接続したところ、「デバイスドライバーは正しくインストールされませんでした」と表示された。(7/2008 R2)

対処 :

「USB インターフェースのときにプリンタが検出されない」にある「最初にプリンタとパソコンを USB インターフェースで接続したところ、「デバイスドライバーは正しくインストールされませんでした」と表示された。(7/2008 R2)」(→ P.203) の手順をご覧になり、プリンタドライバをインストールし直してください。

■パラレルインターフェースでプリンタドライバをインストールする場合に、新しいハードウェアが検出されない。(2008 R2 以外 /Vista/2003/XP/2000)

対処 :

パソコン上のポート（USB、パラレルポートなど）を無効に設定するアプリケーション（「Portshutter」など）を使用して、印刷するポートを無効にする（遮断する）設定にしていませんか。印刷するポートが無効（遮断）設定の場合は印刷ができませんので、設定を解除してください。

プリンタを新たに追加した、またはプリンタドライバを更新した後にOSを再起動すると、すでに追加済みのプリンタについてハードウェアの検出ウィザードが表示される

■2008/Vista/2003/XPにおいて、パラレルケーブルまたはプリンタUSBケーブルで接続されたプリンタに対して、ドライバセットアップを使用してプリンタの追加を行うか、またはプリンタドライバの更新を行うと、OSを再起動した後にすでに追加済みのプリンタについてハードウェアの検出ウィザードが表示される。ウィンドウをキャンセルしても、OSを再起動するたびに同じウィンドウが表示される。

対処：

2008（R2以外）/Vista/2003/XPでは、パソコンと直接接続されたプリンタについては、必ずハードウェアの検出ウィザードが表示されます。ウィザードが表示された場合には、ウィンドウの指示に従ってもう一度プリンタの追加を行い、ウィザードを完了させてください。

- ・2008（R2以外）/Vistaの場合：「2008（R2以外）/Vistaの場合」（→P.58）の手順3以降
- ・2003/XPの場合：「2003/XPの場合」（→P.62）の手順3以降

プリンタドライバを更新した後、プリンタの「印刷設定」が保存できなくなった

■2000において、すでにインストール済みのプリンタドライバを新しいバージョンのプリンタドライバに更新すると、それ以降プリンタの「印刷設定」を変更しても、変更内容が保存されずに、初期値に戻ってしまう。

この現象は、プリンタドライバの更新を次の方法で行った場合に発生することがあります。

- ・プリンタドライバの「詳細設定」ウィンドウの「ドライバ」を別のドライバに変更した。
- ・プリンタドライバの「詳細設定」ウィンドウの「新しいドライバ」でドライバの更新を行った。

対処：

「印刷設定」が保存されなくなったプリンタのプリンタドライバを更新し直してください。更新方法については、「更新する場合」（→P.106）をご覧ください。

運用時のトラブルシューティング

プリンタの運用中に発生する問題と、その対処方法について説明します。

ネットワーク上のプリンタが検出されない、または印刷できない

■ネットワークに接続できない。

対処1：

LANケーブルやネットワークの状態を確認してください。

- ・LANケーブルが抜けている、または抜けかかっていますか。
プリンタの電源を切り、LANケーブルを差し込み直してください。

- ・ LAN ケーブルは正しく接続されていますか。
プリンタの電源を入れてから LAN ケーブルを接続すると、ネットワークで確認できないことがあります。
プリンタの電源を切り、LAN ケーブルを接続してから電源を入れ直してください。
- ・ LAN ケーブルの種類は正しいですか。
ツイストペアケーブルを使用してください。
100Mbps で使用する場合は、カテゴリー 5 またはエンハンスドカテゴリー 5 のツイストペアケーブルを使用してください。
- ・ 他のネットワーク機器が同じ IP アドレスになっていませんか。
プリンタが IP アドレスを自動取得していても、同一ネットワーク内の他のネットワーク機器が同じ IP アドレスを手動設定していると、正しくネットワークに接続できません。設定内容の一覧や他のネットワーク機器を確認し、IP アドレスを正しく設定してください。
設定内容の一覧印刷、IP アドレスの変更方法については、『ハードウェアガイド』の「第 5 章 オペレータパネルの操作」→「代表的な設定項目とその操作方法」をご覧ください。

対処 2 :

プリンタの設定を確認してください。

- ・ IP アドレスなどのネットワーク環境の設定は正しいですか。
IP アドレスなどが変更されている可能性もあります。オペレータパネルを操作し、「インフォメーションメニュー」→「セッティノイチランインサツ」で、設定内容の一覧を印刷し、次の項目を確認してください。
「IP アドレス」「サブネットマスク」「ゲートウェイアドレス」は正しく設定されていますか。
また、ネットワーク環境を移動した場合、ネットワーク機能の初期化を行った後に、ネットワークを再設定することをお勧めします。設定が異なっている場合は、正しく設定してください。
設定内容の一覧印刷、IP アドレスの変更方法については、『ハードウェアガイド』の「第 5 章 オペレータパネルの操作」→「代表的な設定項目とその操作方法」をご覧ください。
- ・ プリンタの Ethernet タイプは正しいですか。
 1. オペレータパネルの管理者用メニュー「ネットワークメニュー」→「Ethernet タイプ」を「ジドウ」にして LAN ケーブルとハブユニットを接続します。
 2. オペレータパネルを操作し、「インフォメーションメニュー」→「ネットワーク」でネットワーク情報を印刷します。
 3. Network Information の「General Information」→「Ethernet Type Status」が「OK(***)」になっていることを確認します。
「Link Fail」の場合は、手順 4 に進んでください。
 4. オペレータパネルの管理者用メニューの「ネットワークメニュー」→「Ethernet タイプ」をハブユニットの Ethernet タイプに合わせて設定し直します。
 5. 手順 2 ～手順 3 をを行い、プリンタの Ethernet タイプを正しく設定します。
- ・ IP フィルタリングによる印刷制限の設定は正しいですか。
「Printia LASER Internet Service」の「セキュリティ」カテゴリ（管理者モードのみ）→「IP フィルタリング」で設定を確認してください。
IP フィルタリングの設定については、「IP フィルタリング」（→ P.189）をご覧ください。

対処 3 :

パソコン側の TCP/IP の状態や設定を確認してください。

- ・ 2008/Vista の場合

1. 「スタート」ボタンまたは (スタート) → 「コントロールパネル」→ 「ネットワークの状態とタスクの表示」→ 「ネットワーク接続の管理」→ 「ローカルエリア接続」→ 「プロパティ」の順にクリックします。
 「続行するにはあなたの許可が必要です」と表示された場合は「続行」をクリックしてください。
 「インターネットプロトコルバージョン4 (TCP/IPv4)」が表示されていることを確認してください。表示されていない場合は、TCP/IP が組み込まれていません。
 2. 「インターネットプロトコルバージョン4 (TCP/IPv4)」が表示されている場合は、TCP/IP の設定を確認するため、「プロパティ」をクリックします。
 3. 「IP アドレス」「サブネットマスク」「デフォルトゲートウェイ」が正しく設定されているか確認します。
- ・ 2003 の場合
1. 「スタート」ボタン→ 「コントロールパネル」→ 「ネットワーク接続」→ 「ローカルエリア接続」→ 「プロパティ」の順にクリックします。
 「インターネットプロトコル (TCP/IP)」が表示されていることを確認してください。表示されていない場合は、TCP/IP が組み込まれていません。
 2. 「インターネットプロトコル (TCP/IP)」が表示されている場合は、TCP/IP の設定を確認するため、「プロパティ」をクリックします。
 3. 「IP アドレス」「サブネットマスク」「デフォルトゲートウェイ」が正しく設定されているか確認します。
- ・ XP の場合
1. 「スタート」ボタン→ 「コントロールパネル」→ 「ネットワークとインターネット接続」→ 「ローカルエリア接続」→ 「プロパティ」の順にクリックします。
 「インターネットプロトコル (TCP/IP)」が表示されていることを確認してください。表示されていない場合は、TCP/IP が組み込まれていません。
 2. 「インターネットプロトコル (TCP/IP)」が表示されている場合は、TCP/IP の設定を確認するため、「プロパティ」をクリックします。
 3. 「IP アドレス」「サブネットマスク」「デフォルトゲートウェイ」が正しく設定されているか確認します。
- ・ 2000 の場合
1. 「スタート」ボタン→ 「設定」→ 「コントロールパネル」→ 「ネットワークとダイヤルセットアップ」→ 「ローカルエリア接続」→ 「プロパティ」の順にクリックします。
 「インターネットプロトコル (TCP/IP)」が表示されていることを確認してください。表示されていない場合は、TCP/IP が組み込まれていません。
 2. 「インターネットプロトコル (TCP/IP)」が表示されている場合は、TCP/IP の設定を確認するため、「プロパティ」をクリックします。
 3. 「IP アドレス」「サブネットマスク」「デフォルトゲートウェイ」が正しく設定されているか確認します。

■ネットワーク障害が発生しネットワークに接続できない。

対処：

プリンタの Ethernet タイプが正しいか確認してください。

プリンタの Ethernet タイプの設定がハブユニットの規格と一致しない場合、ネットワーク障害の原因となります。ハブユニットの規格を調べたうえで、次のように対処してください。

- 1 LAN ケーブルを抜きます。
- 2 オペレータパネルの管理者用メニューの「ネットワークメニュー」→「Ethernet タイプ」をハブユニットの Ethernet タイプに合わせて設定し直します。
- 3 プリンタの電源を切ります。
- 4 LAN ケーブルを接続します。
- 5 プリンタの電源を入れます。

■IP アドレスが電源を入れるたびに変わってしまう。

対処：

プリンタの IP アドレスを DHCP サーバから自動取得するように設定されていませんか。プリンタの IP アドレスを自動取得している場合は、プリンタの IP アドレスがいつも同じとは限りません。

- ・プリンタに、固定の IP アドレスを手動で設定する場合は、オペレータパネルの管理者用メニュー「ネットワークメニュー」→「DHCP ジドウシュトク」を「ムコウ」に設定してから、「IP アドレス」で IP アドレスを入力してください。
IP アドレスの設定方法は、『ハードウェアガイド』の「第 5 章 オペレータパネルの操作」→「代表的な設定項目とその操作方法」をご覧ください。
- ・2003/XP/2000 の場合は、「FUJITSU LPR ユーティリティ」の「自動的に IP アドレスを再設定する」の設定を にしてください。
「自動的に IP アドレスを再設定する」については、「IP アドレスの自動再設定」(→ P.127) をご覧ください。

印刷できない

■テスト印刷ができない、あるいはどのアプリケーションからも印刷ができない。

対処 1：

プリンタの状態およびケーブル接続を確認してください。

- ・プリンタの電源が入っていますか。
- ・ケーブル類が正しく接続されていますか。
- ・プリンタがエラー状態になっていませんか。

プリンタがエラー状態になっているときは、エラーの原因を取り除き、印刷可能状態に戻してください。

- ・プリンタ切替器を使用していませんか。

プリンタとの通信が異常となったり、プリンタの故障の原因となったりするおそれがありますので、プリンタ切替器は使用しないでください。

対処 2 :

スプーラ上でプリンタまたはドキュメントが停止状態になっていないか、次の手順で確認します。

1 次の手順でプリンタフォルダを開きます。

- ・7/2008 R2 の場合

 (スタート) → 「デバイスとプリンター」をクリックします。

- ・2008 (R2 以外) /Vista の場合

「スタート」ボタンまたは (スタート) → 「コントロールパネル」の順にクリックし、「ハードウェアとサウンド」の「プリンタ」をクリックします。

- ・2003/XP の場合

「スタート」ボタン→「プリンタとFAX」の順にクリックします。

- ・2000 の場合

「スタート」ボタン→「設定」→「プリンタ」の順にクリックします。

2 「プリンタ」フォルダ内の、該当するプリンタをダブルクリックします。**3 表示されるウィンドウのタイトルバーや状態に「停止中」または「一時停止」と表示されていないか、確認します。**

停止状態のときは、「プリンタ」メニュー、および「ドキュメント」メニューの「一時停止」を解除します。

■ RAW 印刷ができない。**対処 :**

オペレータパネルを操作し、管理者用メニュー「ネットワークメニュー」→「SNMP」が「ユウコウ」になっているか確認してください。「ムコウ」の場合は「ユウコウ」に変更してください。

設定方法について詳しくは、『ハードウェアガイド』の「第 5 章 オペレータパネルの操作」をご覧ください。

■ IPP 印刷ができない、あるいはアクセス拒否になる。**対処 :**

「Printia LASER Internet Service」の設定を確認してください。

- ・「セキュリティ」カテゴリ→「プロトコル ON/OFF」→「サービス」の「IPP サービス」が「有効」になっているか確認してください。「無効」の場合は「有効」に変更してください。設定方法については、「プロトコル ON/OFF」(→ P.188) をご覧ください。

- ・「ネットワーク」カテゴリ→「IPP 設定」→「基本的な設定」の「IPP」が「有効」になっているか確認してください。

設定方法については、「設定」(→ P.183) をご覧ください。

- ・「ネットワーク」カテゴリ→「IPP 設定」→「認証の設定」は正しく設定されていますか。設定内容を確認し、正しく設定してください。

設定方法については、「認証」(→ P.184) をご覧ください。

IPP 印刷のための設定方法については、「OS 標準のインストーラでインストールする (IPP 印刷)」(→ P.42) をご覧ください。

印刷が開始されるまでに時間がかかる

■最初の1ページ目が印刷されるまでに数10秒以上かかる。

対処：

プリンタが節電状態になっていた場合は、定着器の温度が上がるまで準備中となります。節電状態に入るまでの時間を必要に応じて変更してください。

印刷結果がプリンタドライバの設定と異なる

■アプリケーションから印刷を行ったが、印刷結果がプリンタドライバで設定した内容と異なっている。

対処：

アプリケーションによっては、データ保存時に印刷に関する設定（プリンタドライバの設定を含む）を保存します。

このため、アプリケーション側から変更するまで、保存してある設定値で印刷されることがあります。また、アプリケーション側で部数や用紙サイズなどを設定するものもあります。このような場合は、「印刷設定」で設定を変更しても反映されません。

印刷する文書を開いたアプリケーション側でプリンタ設定のプロパティを開いて、設定を変更してください。

なお、プリンタドライバの設定内容については、「プリンタドライバで設定できる内容」（→ P.86）をご覧ください。

プリンタの設定情報を取得できない

■プリンタドライバの「デバイスオプション」タブ画面の「プリンタの情報を取得する」をクリックしても、プリンタの設定情報が取得できない。または、「プリンタの情報を取得する」が選択できない。

対処：

- ・オペレータパネルを操作し、管理者用メニュー「ネットワークメニュー」→「SNMP」が「ユウコウ」になっているか確認してください。「ムコウ」の場合は「ユウコウ」に変更してください。

設定方法について詳しくは、『ハードウェアガイド』の「第5章 オペレータパネルの操作」をご覧ください。

- ・「Network Extension」がインストールされているか確認してください。
「Network Extension」がインストールされていないと「プリンタの情報を取得する」は選択できません。
「Network Extension」のインストール方法については、「プリンタ情報の管理（Network Extension）」（→ P.128）をご覧ください。

「FUJITSU LPR ユーティリティ」使用時のトラブル シューティング

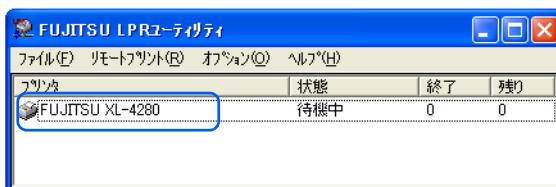
「FUJITSU LPR ユーティリティ」使用時のトラブル

■「FUJITSU LPR ユーティリティ」のメインウィンドウの「状態」欄が「未接続」になり印刷ができない。

対処 :

次の点を確認してください。

- 登録プリンタのIPアドレスは正しく設定されていますか。
メインウィンドウで、使用しているプリンタを選択してから「リモートプリントメニュー」→「プリンタの再設定」の順に選択し、「IPアドレス」が正しく設定されているか確認してください。
- メインウィンドウの「プリンタ」欄の名称と、「スタート」ボタン→「設定」→「プリンタ」(XP/2003では、「プリンタとFAX」)フォルダの名称が一致していますか。
メインウィンドウの「プリンタ」欄の名称



「プリンタ」フォルダの名称



メインウィンドウの「プリンタ」欄の名称と「プリンタ」フォルダの名称が一致していない場合は、「FUJITSU LPR ユーティリティ」で登録プリンタを削除(→P.122)し、再度プリンタの登録(→P.116)を行うか、「プリンタ」フォルダの名称をメインウィンドウの「プリンタ」欄と同じ名称に変更してください。

- 「スタート」ボタン→「設定」→「プリンタ」(XP/2003では「プリンタとFAX」)フォルダからプリンタが削除されていませんか。

「プリンタ」フォルダからプリンタが削除されている場合は、「FUJITSU LPR ユーティリティ」のプリンタも削除し、設定し直してください。

プリンタの設定方法については、「プリンタの登録」(→P.116)をご覧ください。

「FUJITSU LPR ユーティリティ」については、「「FUJITSU LPR ユーティリティ」の機能」(→P.118)をご覧ください。

- IP アドレスの検索／設定ができない。
ジョブの自動転送ができない。
プリンタのステータスが表示できない。

対処：

オペレータパネルを操作し、管理者用メニュー「ネットワークメニュー」→「SNMP」が「ユウコウ」になっているか確認してください。「ムコウ」の場合は「ユウコウ」に変更してください。

設定方法について詳しくは、『ハードウェアガイド』の「第 5 章 オペレータパネルの操作」をご覧ください。

「Printia LASER Internet Service」使用時のトラブル シューティング

「Printia LASER Internet Service」使用時のトラブル

- 「Printia LASER Internet Service」に接続できない。

対処：

次の点を確認してください。

- ・ プリンタに電源が入っていますか。
- ・ LAN ケーブルは正しく接続されていますか。
- ・ Web ブラウザに入力した URL は正しいですか。
「Printia LASER Internet Service」を表示するときの URL は「http://」 + 「プリンタの IP アドレス」または「http://」 + 「ホスト名 + ドメイン名」を指定します。

プリンタの URL に指定した IPP プリンタ名（「/」以降）は指定しないでください。

また、設定の一覧を印刷し、次の点も確認してください。

- ・ プリンタに IP アドレスが正しく設定されていますか。
URL に「ホスト名 + ドメイン名」を指定した場合は、DNS サーバの設定も正しいか確認してください。
- ・ TCP/IP 設定は「有効」になっていますか。
「無効」の場合は、プリンタのオペレータパネルの操作で「有効」に変更してください。
- ・ Web 設定は有効になっていますか。
オペレータパネルを操作し、管理者用メニュー「ネットワークメニュー」→「WEB/IPP」が「ユウコウ」になっているか確認してください。「ムコウ」の場合は「ユウコウ」に変更してください。

設定方法について詳しくは、『ハードウェアガイド』の「第 5 章 オペレータパネルの操作」をご覧ください。

■「ステータス更新」が機能しない。

各カテゴリでメニューの項目を選択しても、情報の画面が更新されない。

対処：

- ・ Web ブラウザで、表示を更新してください。
また、使用しているパソコンの OS や Web ブラウザが適切かどうかを確認してください。
- ・ Web ブラウザが JavaScript の使用を禁止する設定になっていないか確認してください。
- ・ 設定の変更後、「送信」をクリックする前に他のカテゴリやメニューをクリックしていませんか。
設定を変更した場合は、その画面で「送信」をクリックしてください。また、設定中に他のカテゴリやメニューに切り替えると切り替え前の設定値は反映されませんのでご注意ください。設定の変更については、「設定の変更（管理者モードのみ）」（→ P.139）をご覧ください。

■パスワードを忘れて、設定を変更できない。

対処：

どうしてもパスワードを思い出せない場合は、プリンタネットワーク機能の初期化を行ってください。

ただし、この場合はネットワークに関する設定がすべてご購入時の状態に初期化されます。ネットワークの設定を初期化する前に、設定内容の一覧を印刷し、現在の設定内容を確認しておくことをお勧めします。

ネットワーク機能の初期化について詳しくは、『ハードウェアガイド』の「第1章 お使いになる前に」→「各部の名称と機能」の「TEST スイッチ」をご覧ください。

メールに関するトラブル

■メールがエラーとなり送信できない。

対処：

次の点を確認してください。

- ・ SMTP サーバが正常に作動していますか。
ネットワーク管理者に確認してください。
- ・ SMTP サーバの IP アドレスが正しく入力されていますか。
「Printia LASER Internet Service」で正しい IP アドレスを入力してください。
- ・ 送信する通知項目が正しく設定されていますか。
「Printia LASER Internet Service」で、メールで通知したい項目をチェックしてください。
- ・ 送信先メールアドレスが正しく入力されていますか。
「Printia LASER Internet Service」で、正しい送信先を指定してください。

「Printia LASER Internet Service」のメールに関する設定については、「Email」（→ P.171）をご覧ください。

エラー情報

「Printia LASER Internet Service」利用時に表示されるメッセージについて説明します。

トップページにおけるエラー情報、およびステータスウィンドウにおける表示メッセージは、エラーと警告に分けられます（本情報は、E-Mail サービスで通知されるステータス情報と同一です）。

トップページのエラー情報

- ・エラー発生時：赤色のメッセージを表示
- ・警告発生時：黄色のメッセージを表示

ステータスウィンドウの表示メッセージ（管理者モード）

ステータスウィンドウでは下記のとおりエラーランプが点滅します。点滅しているランプをクリックするとメッセージが表示されます。

- ・エラー発生時：エラーランプが点灯
- ・警告発生時：エラーランプが点滅

これらのメッセージは英語で表示されますが、内容は次の表のとおりです。また、メッセージは優先度の高いものから表示されますので、優先度の低いメッセージは、優先度の高いメッセージの発生要因が解除されるまで表示されないことがあります。

優先度は次の表の順に従います。

対処方法について詳しくは、『ハードウェアガイド』をご覧ください。

表：「エラー情報」欄のメッセージ一覧

種別	表示メッセージ	メッセージの意味／対処
エラー	Service Call Required	プリンタに異常が発生しています。プリンタの電源を切り、入れ直してください。それでも復旧しない場合は、ハードウェア修理相談センターへご連絡ください。
エラー	Cover Open for Upper Cover	プリンタのトップカバーが開いています。印刷するときは、トップカバーを閉めてください。
エラー	Cover Open for Rear Cover	プリンタのリアカバーが開いています。印刷するときは、リアカバーを閉めてください。
エラー	Drum Missing	ドラムカートリッジが正しく取り付けられていません。ドラムカートリッジを取り付け直してください。
エラー	Improper Toner Lock Lever Position	トナーカートリッジのロックレバーの位置が正しくありません。トナーカートリッジを取り付け直してください。
エラー	Drum Life Error	ドラムカートリッジの交換時事です。新しいドラムカートリッジと交換してください。 トップカバーを開閉してメッセージが消える場合は、そのまま使用してください。
エラー	Paper Feed Jam	用紙排出部、定着器付近での紙詰まりです。トップカバーを開けて、詰まった用紙を取り除いてください。
エラー	Paper Input Jam	給紙口付近での紙詰まりです。トップカバーを開けて、詰まった用紙を取り除いてください。

表：「エラー情報」欄のメッセージ一覧

種別	表示メッセージ	メッセージの意味／対処
エラー	Paper Size Error for MP Tray	給紙トレイにセットされている用紙のサイズが、プリンタドライバ側の設定値と異なっています。 用紙の排出途中で本メッセージが表示され、プリンタ内に用紙が残っている場合は、用紙を取り除いてから「sss」に表示されているサイズの用紙をセットしてください。 用紙が排出された場合は、「sss」に表示されているサイズの用紙をセットし、トップカバーを開閉してください。
エラー	Paper Size Error for Cassette1	カセット 1（標準の給紙カセット）にセットされている用紙のサイズが、プリンタドライバ側の設定値と異なっています。 用紙の排出途中で本メッセージが表示され、プリンタ内に用紙が残っている場合は、用紙を取り除いてから「sss」に表示されているサイズの用紙をセットしてください。 用紙が排出された場合は、「sss」に表示されているサイズの用紙をセットし、トップカバーを開閉してください。
エラー	Paper Size Error for Cassette2	カセット 2（オプションの拡張給紙ユニット）にセットされている用紙のサイズが、プリンタドライバ側の設定値と異なっています。 用紙の排出途中で本メッセージが表示され、プリンタ内に用紙が残っている場合は、用紙を取り除いてから「sss」に表示されているサイズの用紙をセットしてください。 用紙が排出された場合は、「sss」に表示されているサイズの用紙をセットし、トップカバーを開閉してください。
エラー	Toner Sensor Error	トップカバーを開閉してみて、メッセージが消える場合は問題ありません。メッセージが消えない場合は、トナーセンサーに異常が発生しています。ドラムカートリッジが正しく取り付けられているか、確認してください。
エラー	Drum/Toner Not Installed	ドラムカートリッジとトナーカートリッジが取り付けられていない、またはトナーカートリッジが不良です。 ドラムカートリッジとトナーカートリッジを取り付け、それでもエラーとなる場合は、サプライ品のトナーカートリッジに交換してください。
エラー	Incompatible Toner	使用できないトナーカートリッジが取り付けられています。弊社が推奨するトナーカートリッジに交換してください。
エラー	Toner Out	トナーカートリッジの交換時期です。新しいトナーカートリッジと交換してください。 トップカバーを開閉してメッセージが消える場合は、そのまま使用してください。
エラー	Memory Over Flow	メモリ不足です。「オンライン」スイッチを押してエラーを解除し、解像度を下げてから印刷してください。
エラー	Paper Cassette1 Open	カセット 1（標準の給紙カセット）が正しく取り付けられていません。カセット 1 を取り付けてください。

表：「エラー情報」欄のメッセージ一覧

種別	表示メッセージ	メッセージの意味／対処
エラー	Paper Out for MP Tray	給紙トレイの用紙がありません。給紙トレイに用紙をセットしてください。
エラー	Paper Out for Cassette1	カセット1（標準の給紙カセット）の用紙がありません。カセット1に用紙をセットしてください。
エラー	Paper Out for Cassette2	カセット2（オプションの拡張給紙ユニット）の用紙がありません。カセット2に用紙をセットしてください。
エラー	Size Mismatch for Cassette1	カセット1（標準の給紙カセット）の用紙サイズの設定値が、プリンタドライバ側とオペレータパネル側で一致していません。「リセット」スイッチを押してジョブをキャンセルするか、「sss」に表示されているサイズの用紙をセットして「オンライン」スイッチを押してください。エラー解除後、プリンタドライバ側とオペレータパネル側の用紙サイズの設定値を見直してください。
エラー	Size Mismatch for Cassette2	カセット2（オプションの拡張給紙ユニット）の用紙サイズの設定値が、プリンタドライバ側とオペレータパネル側で一致していません。「リセット」スイッチを押してジョブをキャンセルするか、「sss」に表示されているサイズの用紙をセットして「オンライン」スイッチを押してください。エラー解除後、プリンタドライバ側とオペレータパネル側の用紙サイズの設定値を見直してください。
エラー	Paper Request for MP Tray	給紙トレイに用紙をセットしてください。
エラー	Cancel Job Request	印刷ジョブのキャンセルを確認中です。
警告	Invalid Data	無効なデータを受信しました。
警告	Storage Error	フラッシュメモリーアクセスエラーが発生しています。
警告	Drum Life Warning	ドラムカートリッジの交換時期が近づいています。
警告	Drum Life Error	ドラムカートリッジの交換時期です。新しいドラムカートリッジと交換してください。
警告	Toner Sensor Warning	トナーセンサーに異常が発生しています。ドラムカートリッジを取り付け直してください。それでもメッセージが消えない場合は、プリンタの電源を切り、入れ直してください。
警告	Toner Out	トナーカートリッジの交換時期です。新しいトナーカートリッジと交換してください。
警告	Toner Low	トナーが残り少なくなっています。新しいトナーカートリッジを準備してください。
警告	Printer Life	本製品が寿命に達しました。
警告	Printer Near Life	本製品の寿命が近づいています。

2 ソフトウェアに関する留意事項

ここでは、本製品添付のソフトウェアをご使用になる場合の留意事項について説明します。

Windows をアップグレードする場合

Windows をアップグレードする場合、XL プリンタドライバおよび XL プリンタ関連ソフトウェアをあらかじめ削除（アンインストール）してください。そしてアップグレード完了後、各ソフトウェアを再インストールしてください。

削除（アンインストール）を行わずに Windows をアップグレードした場合に発生する可能性がある問題、および対処方法は、次のとおりです。

■プリンタドライバ

プリンタドライバがインストールされた状態で Windows のアップグレードを行うと、Windows 添付のドライバに置き換わる、およびアップグレード前のドライバが登録されたままになることがあります。

この状態では、XL-4280 プリンタドライバが提供している機能が使用できない、または正しく印刷が行えないなどの現象が発生する場合があります。

プリンタドライバを削除し、インストールし直してください。

プリンタドライバの削除については、「削除する場合」（→ P.106）をご覧ください。

プリンタドライバのインストール方法については、次の項目をご覧ください。

- ・「ネットワークを利用したプリンタの接続」（→ P.15）
- ・「ネットワークを利用しないプリンタの接続」（→ P.53）

その他の留意事項

インストール、アンインストール時の注意事項

◎「Printia LASER プリンタユーティリティ」に格納されている各種ソフトウェアをインストールまたはアンインストールするときは、管理者権限でログオンしてください。

一般ユーザーでログオンした場合は、正しくインストールまたはアンインストールできないことがあります。

一般ユーザーでインストールまたはアンインストールして正常に動作しなくなった場合は、管理者権限でログオンし、同一フォルダに上書きインストール後、再度操作してください。

クラスタ環境について

クラスタ環境での動作は保証していません。

3 Citrix 製品、および Windows ターミナルサービス環境での利用について

XL-4280 プリンタ ドライバは、「Citrix XenDesktop」「Citrix Presentation Server」(MetaFrame)、および Windows ターミナルサービス環境下で使用できます。

動作確認環境などは随時更新されます。最新の情報については、富士通製品情報ページ (<http://www.fmworld.net/biz/printer/support/metaframe/>) の「Citrix 製品、Windows ターミナルサービス対応状況」をご覧ください。

なお、上記 URL は、このマニュアル発行時点のものです。

プリンタ接続形態

プリンタマッピングにより自動作成されるプリンタへ印刷を行う環境での利用が可能です。この場合、あらかじめクライアント環境の端末にプリンタケーブルや、ネットワークで直接接続されたプリンタを定義しておく必要があります。

その他の留意事項

マッピングプリンタへの印刷中止操作は、ターミナルウィンドウではなくクライアント端末にインストールしているプリンタの印刷キューから行ってください。

9

第9章

用語解説およびお試しソフトウェア の概要

ここでは、用語解説および、お試し版のソフトウェアの概要を説明します。

1 用語解説	222
2 PrintBarrier の概要	225
3 RepoAgent の概要	226
4 かんたんバーコード Lite の概要	228

1 用語解説

本製品に関連する用語、またはこのマニュアル内に登場する用語の意味について説明します。

■ DHCP (Dynamic Host Configuration Protocol)

IP アドレスの自動割り付けシステムです。クライアントが TCP/IP 通信を行うときに、必要に応じてサーバから IP アドレスをもらい、通信終了後はサーバに IP アドレスを戻します。

■ DNS (Domain Name System)

ホスト名から IP アドレスを取得できるようにするサービスを提供するシステムです。

■ EMF (Enhanced Meta File)

プリンタに依存しない中間データ形式です。この形式は印刷データよりサイズが小さいため、印刷を実行してから処理がアプリケーションに戻るまでの時間を短縮できます。

■ HTTP (HyperText Transfer Protocol)

インターネット上の WWW サーバからデータを送受信するために使用される通信プロトコルです。

HTML (HyperText Markup Language) 文書や、文書に関連付けされた画像や音声ファイルなどをやり取りすることができます。IETF (Internet Engineering Task Force) によって RFC として規格化されています。XL シリーズの IPP 対応機種では、HTTP/1.1 をサポートしています。

■ IPP (Internet Printing Protocol)

RFC として規格化されたインターネット経由での印刷をサポートした印刷制御プロトコルです。

Printianavi ネットワークポートの接続モードが IPP の場合に使用しています。ファイル転送のプロトコル HTTP (HyperText Transfer Protocol) を使用しており、LAN を超えた環境でもアクセスできることが特長です。XL シリーズでサポートしている IPP は、標準の IPP を拡張することで「Printianavi」を使用した双方向通信が可能となっています。

■ LPR (Line Printer Remote)

TCP/IP 標準の印刷制御プロトコルです。2008/Vista/2003/XP/2000/NT では、UNIX 用印刷サービスまたは TCP/IP 印刷サービスとして標準添付されています。ただし、双方向通信はサポートしていないため、LPR 印刷では Printianavi 機能は使用できません。

■ MIB (Management Information Base)

SNMP では、ネットワーク上の各種接続機器の動作状況を監視、管理するための動作状況に関するデータを MIB (Management Information Base : 管理情報ベース) といいます。

本製品は MIB-II および PrinterMIB をサポートしています。◎「Printia LASER プリンタユーティリティ」には PrinterMIB に対応した ASN.1 形式の「XLprtmb.my」が「MIB」ディレクトリに格納されています。これを SNMP 管理ソフトにインストールして使用してください。

■ RAW 印刷

2008/Vista/2003/XP/2000 に実装されている標準 TCP/IP ポートモニタにおける RAW プロトコル印刷をサポートします。

ただし、双方通信はサポートしていないため、RAW 印刷では Printianavi 機能は使用できません。本製品では、ポート番号を 9100 に固定しています。

■ RFC (Request For Comments)

インターネットの研究開発機関 IETF (Internet Engineering Task Force) がとりまとめている文書群を指します。一般的には TCP/IP の規格書として知られています。

■ SNMP (Simple Network Management Protocol)

SNMP とは、ネットワーク上の各種接続機器を管理するためのインターネット標準のプロトコルです。

ネットワーク上の各種接続機器が SNMP をサポートしていれば、ワークステーションで動作している汎用の SNMP 管理ソフトから、SNMP メッセージを使用することでその接続機器の設定情報である MIB (Management Information Base : 管理情報ベース) を読み込んだり、逆にそれを設定したりすることで接続機器の集中管理や、接続機器の非同期に起こるエラー発生とその内容を監視することが可能となります。

- SNMP メッセージ

SNMP によるエージェントの管理は次の 5 種類のメッセージを使って行われます。

なお、本製品では SetRequest はサポートしていません。

表：SNMP メッセージの種類

メッセージ種別	説明	メッセージの送信方向
GetRequest	オブジェクトの値の読み出し要求	マネージャ→エージェント
GetNextRequest	オブジェクトの連続した値の読み出し要求	マネージャ→エージェント
SetRequest	オブジェクトの値の書き込み要求	マネージャ→エージェント
GetResponse	読み出し・書き込み要求に対する応答	エージェント→マネージャ
Trap	例外事象の通知	エージェント→マネージャ

■プロキシサーバ（Proxy Server）

インターネットとの接続時にセキュリティを確保するために設置されるサーバで、ネットワーク内のコンピュータを代理して外部へのアクセスを行う機能をもちます。

ファイアウォールによって外部から守られたネットワーク環境においては、ネットワーク内部から外部へのアクセスを行えないという問題があります。この問題を解決するために、プロキシサーバは、外部へのアクセス要求を受け付け、その作業を代理で行います。この処理によって、内部から外部へのアクセスが行えるようになると共に、ネットワーク内部のセキュリティを確保することが可能となっています。

また、セキュリティ機能以外にもプロキシサーバの中には、WWW アクセス時の HTML データをキャッシュする機能をサポートするものもあり、同じ WWW サーバへアクセスがあつた場合はキャッシュしているデータを返すことで、WWW アクセスを高速に行うことができるようになります。

2 PrintBarrier の概要

「PrintBarrier」を使用すると、印刷機能をもつアプリケーションであれば、種類を問わず、印刷データを利用したさまざまな機能を利用できるようになります。

「PrintBarrier」による印刷機能を利用することにより、印刷コストの削減と、効率的な印刷を実現できます。「PrintBarrier Standard」（クライアント製品）の機能に加え、「PrintBarrier Enterprise」（サーバ製品）を利用することで印刷管理も可能です。

特長

■ 印刷コストの削減

- ・プレビュー上で詳細確認と不要なページのカット
- ・縮小印刷による印刷用紙の削減
- ・印刷データのファイル保存
- ・印刷枚数制限（Enterprise）

■ 印刷セキュリティの強化

- ・ヘッダー／フッター／背景の追跡情報印刷
- ・管理者設定による追跡情報の強制印字（Enterprise）
- ・ログ収集／レポート出力（Enterprise）

動作環境

対応 OS	: Enterprise…2003/2000 Server／Standard…Vista/XP/2000
メモリ	: 512MB 以上（推奨）
ハードディスク	: 空き容量 Enterprise…2GB 以上／Standard…300MB 以上

「PrintBarrier お試し版」の機能制限

- ・PrintBarrier Standard のすべての機能が使用できます。Enterprise 機能は含みません。
- ・プレビュー左下に「お試し版を利用して作成した」旨のメッセージが表示されます。
- ・プレビュー表示 30 回で製品購入をうながすメッセージが表示されます。
- ・対応 OS は、Vista/XP/2000 になります。

「PrintBarrier」についてのお問い合わせ先

お問い合わせ先 : 株式会社富士通アドバンストエンジニアリング

お問い合わせ用 URL : <http://jp.fujitsu.com/group/fae/contact/>

製品情報 URL : <http://www.infobarrier.com/>

お問い合わせ先は、このマニュアル発行時点のものです。

3 RepoAgent の概要

「RepoAgent」は、ビジネス帳票を作成、印刷するためのソフトウェアです。ワープロを使用する感覚で、さまざまなビジネス帳票をビジュアルに作成できます。また、帳票の印刷はアプリケーションから制御できます。

特長

■ 帳票印刷プログラムの生産性を大幅に向上

ワープロを使用する感覚で手軽に帳票設計ができ、帳票印刷プログラムの生産性を大幅に向上します。また、運用中に会社のロゴを変更するといった作業も、帳票印刷プログラムを変更することなく対応できます。

■ 多彩な帳票設計

次の多彩な表現手段の提供により、複雑な帳票も簡単に設計できます。
罫線、網かけ、文字装飾、バーコード（11種）、画像、データ内容に応じた小計／見出し／改ページの自動挿入など

■ 容易なアプリケーション連携

アプリケーション側では、帳票に埋め込むデータをCSVテキスト形式で出力し、「RepoAgent」を呼び出すだけで帳票印刷を実現できます。CSVテキストは Unicode にも対応しています。また、アプリケーションからの呼び出しインターフェースには、コマンド、API、ActiveX コントロール、Java クラスの4種類を用意しています。お使いの開発環境や運用形態に応じて選択できます。

動作環境

対応 OS	: Vista/2003/XP/2000
対応パソコン	: FMV シリーズおよび PC/AT 互換機
メモリ	: 64MB 以上
ディスプレイ	: 解像度 800 × 600 以上 (1024 × 768 以上を推奨)
ハードディスク	: 空き容量 300MB 以上
プリンタ	: Windows から印刷できるプリンタ (バーコード印刷時は印刷解像度 300dpi 以上を推奨)

「RepoAgent お試し版」の機能制限

- ・お試し版で作成したレポート定義ファイルは、「RepoAgent」では使用できません。
- ・用紙の背景に「お試し版を利用して作成した」旨のメッセージが表示されます。

「RepoAgent」についてのお問い合わせ先

お問い合わせ先 : 株式会社富士通北陸システムズ
電話番号 : 076-244-9575
FAX : 076-241-4590
E-Mail : repoagent@cs.jp.fujitsu.com
URL : <http://jp.fujitsu.com/fjh/services/package/repoagent/>
電話受付時間 : 月～金、9:00～17:30
祝日・年末年始などの休業日は除きます。

お問い合わせ先は、このマニュアル発行時点のものです。

4 かんたんバーコード Lite の概要

「かんたんバーコード Lite」は、パソコンでバーコードを簡単に作成するためのソフトウェアです。

特長

次のバーコードを作成できます。

表：バーコードの種類

バーコード種別	説明
JAN 標準	国際的規格の POS シンボルです。多くの商品に使用されています。
JAN 短縮	JAN の短縮版です。標準版を印刷できないような小さな商品向けです。
NW-7	英数字が表現でき、コンピュータ機器などの特殊商品に使用されています。
カスタマ	平成 10 年から導入されている郵便番号用です。
Code 3 of 9	英数字が表現でき、主に工業用として使用されています。
Industrial 2 of 5	古くから工業用として使用されている数字専用のバーコードです。
Interleaved 2 of 5	Industrial 2 of 5 と同様に工業用として使用されている数字専用のバーコードです。データ圧縮機能があります。
UPC-A	アメリカやカナダなどで広く使用されている POS シンボルです。
UPC-E	UPC-A の短縮版です。UPC-A を印刷できないような小さな商品向けです。
QR コード（モデル 1）	多くの業界で使用されている、高速読み取りを重視した 2 次元コードです。
QR コード（モデル 2）	モデル 1 よりも大量のデータに対応できる QR コードです。
QR コード（マイクロ QR）	モデル 1、モデル 2 よりもバーコードの面積を小さくできる QR コードです。ただし、表現できるデータ量は少なくなります。

動作環境

対応 OS : Vista/2003/XP/2000
対応パソコン : FMV シリーズおよび PC/AT 互換機
メモリ : 32MB 以上 (推奨)

「かんたんバーコード Lite」についてのお問い合わせ先

お問い合わせ先 : 株式会社富士通北陸システムズ
電話番号 : 076-244-9575
FAX : 076-241-4590
E-Mail : fjh-barcode@cs.jp.fujitsu.com
URL : <http://jp.fujitsu.com/fjh/services/package/barcode/>
電話受付時間 : 月～金、9:00～17:30
祝日・年末年始などの休業日は除きます。

お問い合わせ先は、このマニュアル発行時点のものです。

Memo

索引

C

- Citrix Presentation Server(MetaFrame) 220
- Citrix XenDesktop 220

D

- DHCP 222
- DNS 222

E

- Email 通知
 - 設定 171
 - 通知する内容の設定 174
- EMF 222

F

- FUJITSU LPR ユーティリティ 13
 - インストール 13, 114
 - 機能 118
 - 削除 127

H

- HTTP 222

I

- IPP 印刷
 - 概要 16, 222
 - 設定 (2003/XP/2000) 48
 - 設定 (2008/Vista) 42
 - プリンタの設定 183
- IP アドレス
 - 設定 19, 168

L

- LPR 印刷
 - 概要 16, 222
 - 設定 (2003/XP/2000) 35
 - 設定 (2008/Vista) 28

M

- MIB 223

N

- Network Extension 14
 - インストール 128, 14
 - 機能 129
 - 削除 130
- N-up 印刷 91, 95

P

- PrintBarrier 225
- Printia LASER Internet Service 131
 - DNS サーバ設定 170
 - Email 171
 - HEX ダンプ 166
 - IPP 183
 - IP フィルタリング 189
 - IP フィルタリングの設定例 192
 - LAN の規模の設定 198
 - SNMP 181
 - TCP/IP 168
 - Trap 182
 - USB 164
 - 一般ネットワーク設定 168
 - 一般プリンタ設定 160
 - 印刷位置 161
 - 印刷品質 161
 - 印刷方法 161
 - 印刷メニュー 161
 - インターフェースメニュー 164
 - カテゴリ 147
 - 画面の構成 135
 - 画面を開く 133
 - 管理者モードとユーザー mode の切り替え 137
 - 起動 133
 - 再起動 / 初期化 197
 - 準備 133
 - 障害情報 174
 - 初期値 140
 - ジョブリスト 185
 - ステータス 148
 - 設定印刷 166
 - 設定できる項目 140
 - 設定 (IPP) 183
 - 設定 (SNMP) 181
 - 送信設定 171
 - 動作環境 132
 - 認証 (IPP) 184
 - ネットワーク詳細情報 156
 - ネットワーク情報 155
 - パスワード設定 196
 - パラレル 165
 - プリンタ構成メニュー 162
 - プリンタ詳細情報 153
 - プリンタ情報 152
 - プリンタステータス 149
 - プリンタの設定変更 139
 - プロトコル ON/OFF 188
 - 用紙メニュー 162
 - リンク 199
 - リンク編集メニュー 199
- Printia LASER プリンタユーティリティ 10

R

RAW 印刷	223
概要	16
設定 (2003/XP/2000)	35
設定 (2008/Vista)	28
RepoAgent	226
RFC	223

S

SNMP	181, 223
------	----------

U

USB インターフェース	54
--------------	----

W

Web サーバ機能	132
-----------	-----

X

XL-4280 プリンタ ドライバ	12
-------------------	----

あ行

アンインストール	
プリンタ ドライバ	106
「イメージ」タブ	104
「印刷オプション」タブ	97
印刷する	82
印刷設定の開き方	86
印刷方法	16
印刷を中止する	84
インストール	
FUJITSU LPR ユーティリティ	114
Network Extension	128
ネットワーク関連のソフトウェア	22
プラグアンドプレイ	55
プリンタ ドライバ (IPP 印刷時 -2003/XP/2000)	48
プリンタ ドライバ (IPP 印刷時 -2008/Vista)	42
プリンタ ドライバ (RAW 印刷 /LPR 印刷 -2003/XP/2000)	35
プリンタ ドライバ (RAW 印刷 /LPR 印刷 -2008/Vista)	28
お気に入り	91

か行

拡大 / 縮小印刷	97
かんたんバーコード Lite	228
管理者モード	137
切り替え	137
更新	
プリンタ ドライバ	106

さ行

削除

FUJITSU LPR ユーティリティ	127
Network Extension	130
プリンタ ドライバ	106
スタンプ印刷	100
「設定」タブ	88

た行

「デバイスオプション」タブ	105
トナーセーブ	99

な行

任意の用紙サイズを設定する	92
ネットワーク関連のソフトウェア	13
インストール	22

は行

パラレルインターフェース	54
プラグアンドプレイ	55
プリンタ 共有の設定	
クライアント側の設定	75
サーバ側の設定	71
プリンタ ドライバ	
N-up 印刷	95
アンインストール	106
「イメージ」タブ	104
「印刷オプション」タブ	97
印刷設定	86
インストール (IPP 印刷時 -2003/XP/2000)	48
インストール (RAW 印刷 /LPR 印刷 -2003/XP/2000)	35
インストール (RAW 印刷 /LPR 印刷 -2008/Vista)	28
拡大 / 縮小印刷	97
更新	106
削除	106
スタンプ印刷	100
「設定」タブ	88
設定内容	87
「デバイスオプション」タブ	105
任意の用紙サイズを設定する	92
バージョン	112
バージョンアップ	106
プロパティ	86
プロキシサーバ	224
プロパティの開き方	86
ポートの作成	
RAW 印刷 /LPR 印刷 の詳細設定 (2003/XP/2000)	35
RAW 印刷 /LPR 印刷 の詳細設定 (2008/Vista)	
28	

や行

ユーザー モード	137
切り替え	138
ユーザ 定義 サイズ	92

Printia LASER XL-4280

ソフトウェアガイド

B5WY-1461-02 Z2-00

発行日 2010年8月

発行責任 富士通株式会社

- このマニュアルの内容は、改善のため事前連絡なしに変更することがあります。
- このマニュアルに記載されたデータの使用に起因する第三者の特許権およびその他の権利の侵害については、当社はその責を負いません。
- 無断転載を禁じます。

FUJITSU